

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第108集

# 牧内第2遺跡

Makiuchi2 Site

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財調査報告書16

2005

宮崎県埋蔵文化財センター

# 序

宮崎県教育委員会では、東九州自動車道（都農～西都間）建設予定地にかかる埋蔵文化財の発掘調査を平成11年度から実施しております。本書は、その発掘調査報告書であります。

本書に掲載した児湯郡高鍋町所在の牧内第2遺跡は高鍋町大字上江に位置します。今回の調査では、後期旧石器時代の礫群、縄文時代草創期の陥し穴、早期の集石遺構を検出しました。また本遺跡では、後期旧石器時代のナイフ形石器や角錐状石器、剥片尖頭器等の石器、また縄文時代草創期から早期にかけての貝殻刺突文土器や石鏃等の遺物が出土しました。中でも出土した土器片は、貝殻文系の土器の出現を解明する上で貴重な資料です。

本書が、学術資料としてだけでなく、学校教育や生涯学習の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する認識と理解の一助になれば幸いです。

最後に、調査にあたって御協力いただいた関係諸機関・地元の方々、並びに御指導・ご助言を賜った先生方に対し、厚く御礼申し上げます。

平成17年3月

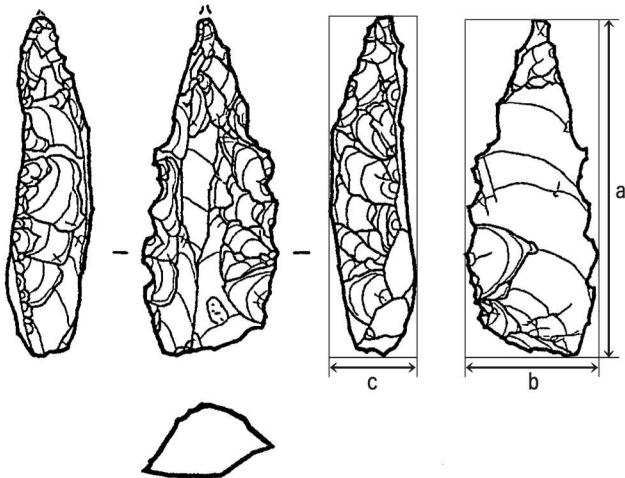
宮崎県埋蔵文化財センター  
所長 宮園淳一

## 例　　言

1. 本書は、平成13年度に実施した東九州自動車道（都農～西都）建設に係る埋蔵文化財包蔵地牧内第2遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は日本道路公団から委託を受けて宮崎県教育委員会が平成13年8月23日から平成14年3月29日まで実施した。
3. 本書で使用した位置図は国土地理院発行の5万分の1を、周辺地形図については日本道路公団作成の地形図を基に作成した。
4. 測量・空中写真・理化学的分析等は次の機関に委託した。  
地形測量・グリッド杭設定：タイユー測量設計  
空中写真：九州航空株式会社  
テフラ分析・植物珪酸体：古環境研究所  
石器実測委託：九州文化財研究所・大成エンジニアリング
5. 現地での実測および写真撮影等の記録は、永山博一、加藤学、金丸史絵、草薙良雄、安楽哲史が行った。
6. 本書で用いた標高は海拔高であり、方位は座標北（G. N.）を基本とし、位置図等の一部に磁北（M. N.）を使用した。
7. 土器の色調および土層については農林省農林水産技術会議事務局監修「新版標準土色帖」に準拠した。
8. 本書使用の遺物実測図および製図は、加藤が行ったほか、整理作業員が補助した。
9. 出土遺物写真は谷口武範が撮影した。
10. 本書に使用した略記号は次のとおりである。  
S C • • 土坑 S H • • ピット S I • • 集石遺構
11. 本書の執筆は加藤が行い、金丸琴路、谷口が校正・編集した。
12. 出土遺物、その他の諸記録は宮崎県埋蔵文化財センターで保管している。

## 凡　　例

1. 石器の計測方法  
a = 長さ　　b = 幅　　c = 厚さ
2. 石器実測図の中の節理面は一点鎖線、自然面はドット、現代の傷等については無表記で示す。
3. 石材の分類については確証がもてない部分もあるので本書では行っていない。
4. 遺構・遺物については第IV章第3節の『遺構・遺物の分類』を参考されたい。



# 本文目次

第I章	はじめに	
第1節	調査に至る経緯	1
第2節	調査の組織	1
第II章	遺跡の環境	2
第III章	調査の経過と方針	
第1節	確認調査の概要	4
第2節	発掘調査の経過	6
第3節	整理作業及び報告書作成	8
第IV章	調査の概要	
第1節	調査の経過	8
第2節	基本層序	10
第3節	遺構と遺物	13
第4節	第1文化層の遺構と遺物	15
第5節	第2文化層の遺構と遺物	26
第6節	第3文化層の遺構と遺物	65
第7節	細石器文化の遺物	72
第8節	縄文時代早期の遺構と遺物	74
第V章	自然科学分析	
第1節	牧内第2遺跡の土層とテフラ	79
第2節	牧内第2遺跡における植物珪酸体分析	85
第VI章	まとめ	90

## 挿 図

第1図 牧内第2遺跡周辺の遺跡位置図	3
第2図 牧内第2遺跡周辺地形図	5
第3図 第1回確認調査（町道以北） 調査区及びトレンチ配置図	5
第4図 第2回確認調査（町道以南） 調査区及びトレンチ配置図	5
第5図 牧内第2遺跡周辺地形及び 調査区範囲	9
第6図 牧内第2遺跡グリッド配置図	9
第7図 基本土層柱状図	10
第8図 土層確認のための壁・ トレンチ配置図	11
第9図 T 2 9 南壁土層断面図	11
第10図 T 3 0 南壁土層断面図	11
第11図 T 2 8 北壁土層断面図	11
第12図 T 4, A-A' 西壁土層断面図	11
第13図 第1文化層 調査範囲及び遺構・ 礫分布図	16
第14図 第1文化層調査範囲及び遺物・ 礫分布図	19
第15図 第1文化層出土礫分布図	20
第16図 第1遺物包含層出土礫接合状況図	20
第17図 第1文化層遺物分布図	21
第18図 第1文化層チャート製遺物分布図	21
第19図 第1文化層水晶製遺物分布図	22
第20図 第1文化層ホルンフェルス製 遺物分布図	22
第21図 第1文化層頁岩製遺物分布図	23
第22図 第1文化層流紋岩製遺物分布図	23
第23図 第1文化層出土遺物	24
第24図 第2文化層 A区遺構分布図	26
第25図 第2文化層 B区遺構分布図	27
第26図 磫群1実測図	29
第27図 磫群2実測図	29
第28図 磫群3実測図	34
第29図 磫群4実測図	35
第30図 磫群5実測図	35
第31図 磫群6実測図	36
第32図 J～L-6～8 グリッド 礫接合状況図	37
第33図 磫群7実測図	38

## 目 次

第34図 磫群8実測図	38
第35図 第2文化層 遺物分布図	44
第36図 第2文化層製品1(ナイフ形石器・角錐状 石器・スクレイパー) 分布図	45
第37図 第2文化層製品2(二次加工剥片・敲石) 分布図	46
第38図 第2文化層製品3(剥片・碎片・石核) 分布図	47
第39図 ナイフ形石器・角錐状石器実測図	48
第40図 角錐状石器・剥片尖頭器・ スクレイパー実測図	49
第41図 二次加工剥片・敲石実測図	50
第42図 剥片・碎片・石核 実測図	51
第43図 第2文化層石材別(ホルンフェルス) 分布状況図	53
第44図 第1石器ブロック分布状況図	54
第45図 第2文化層接合資料1実測図	55
第46図 第2～5石器ブロック分布状況図	56
第47図 第2文化層接合資料2実測図	57
第48図 第2文化層石材別(流紋岩) 分布状況図	58
第49図 第2文化層石材別(頁岩) 分布状況図	59
第50図 第6石器ブロック状況図	60
第51図 第2文化層接合資料3・4実測図	65
第52図 第3文化層遺物分布図	66
第53図 第3文化層製品1 (ナイフ形石器・角錐状石器・スクレイパー) 分布図	67
第54図 第3遺物文化層実測図	68
第55図 第3文化層製品2(二次加工剥片・敲石) 分布図	69
第56図 一括遺物実測図	73
第57図 S C 1 出土遺物実測図	74
第58図 繩文時代草創期～早期遺構 遺物分布図	75
第59図 S C 1 遺構実測図	77
第60図 S I 1 遺構実測図	77
第61図 繩文時代草創期～早期遺物実測図	79
第62図 A区深掘りトレンチ土層柱状図	83
第63図 A区深掘りトレンチ火山ガラス比	

ダイヤグラム	83
第64図 A区における植物珪酸体分析結果	88

## 表 目 次

第1表 トレンチにおける遺構・遺物出土状況	4
第2表 旧石器時代第1文化層グリッドごとの 検出礫の個数と重量	15
第3表 第1文化層礫組成表 1	15
第4表 第1文化層礫組成表 2	15
第5表 第1文化層出土礫計測表	17
第6表 第1文化層遺物個数及び重量	18
第7表 第1文化層磨石・敲石統計	18
第8表 第1文化層石器組成表	18
第9表 第1文化層出土遺物計測表	28
第10表 第2文化層A区グリッド別礫個数	28
第11表 磫群における礫組成表	28
第12表 第2文化層B区グリッド別礫個数	28
第13表 磫群2における礫組成表	30
第14表 磫群3における礫組成表	30
第15表 磫群4における礫組成表	30
第16表 磫群5における礫組成表	30
第17表 磫群6における礫組成表	31
第18表 磫計測表	31
第19表 磫完形度一覧表	31
第20表 石材別構成礫組成表	31
第21表 磫群7における礫組成表	32
第22表 磫群8における礫組成表	32
第23表 磫完形度一覧表	32
第24表 磫群計測表	32
第25表 VII層出土礫計測表 (1)	39
第26表 VII層出土礫計測表 (2)	40
第27表 VII層出土礫計測表 (3)	41
第28表 VII層出土礫計測表 (4)	42
第29表 第2文化層石器別組成表	44
第30表 第2遺物包含層石器別数量表	52
第31表 第2文化層接合資料計測表	54
第32表 第2文化層接合資料2計測表	56
第33表 第2文化層接合資料3計測表	58
第34表 第2文化層接合資料4計測表	60
第35表 第2文化層出土遺物計測表 (1)	62
第36表 第2文化層出土遺物計測表 (2)	62

第37表 第2文化層出土遺物計測表 (3)	62
第38表 第2文化層出土遺物計測表 (4)	63
第39表 第2文化層出土遺物計測表 (5)	64
第40表 第3文化層石器別組成表	66
第41表 第3文化層出土遺物計測表 (1)	67
第42表 第3文化層出土遺物計測表 (2)	69
第43表 第3文化層石材別数量表	70
第44表 第3文化層出土遺物計測表 (3)	71
第45表 第3文化層一括石器計測表	72
第46表 縄文時代早期石器組成表	76
第47表 土器観察表	78
第48表 縄文時代草創期～ 早期出土遺物計測表	78
第49表 A区トレンチ29の 火山ガラス比分析結果	82
第50表 折率測定結果	82
第51表 区トレンチ29における火山ガラス の主成分化学組成分析結果	82
第52表 植物珪酸体分析結果	88

## 図 版 目 次

植物珪酸体の顕微鏡写真	89
図版1 遺跡遠景 遺跡調査区	93
図版2 北壁土層断面 B区西側土層断面	94
図版3 西側土層断面および礫検出状況 第IX層礫検出状況	95
図版4 第IX層礫検出状況	96
図版5 S I 3 検出状況 S I 4 検出状況	97
図版6 第V層 遺物検出状況	98
図版7 S C 1 土層断面 S C 1 完掘状況	99
図版8 出土遺物 (1)	100
図版9 出土遺物 (2)	101
図版10 出土遺物 (3)	102
図版11 出土遺物 (4)	103
図版12 出土遺物 (5)	104
図版13 出土遺物 (6)	105

# 第Ⅰ章 はじめに

## 第1節 調査に至る経緯

東九州自動車道は、北九州を起点とし福岡、大分、宮崎、鹿児島4県の東海岸部を南北に走る約436kmが予定され、宮崎県では延岡～清武間が平成元年に基本計画が決定された。西都～清武間については平成7年度から発掘調査が開始され、平成12年3月25日に清武JCT～宮崎西IC、平成13年3月31日に宮崎西IC～西都ICまでの供用が開始された。また、門川～西都間59kmは、平成8年12月国土開発幹線自動車道建設審議会において整備計画区間に決定した。そのうち都農～西都間約25kmについて、平成9年12月に建設大臣（現国土交通大臣）より日本道路公団へ施行命令が発令された。

一方、県教育委員会では、平成6年度に延岡～西都間の分布調査を実施した。さらに整備区間決定後、都農～西都間を対象として詳細な分布調査を行い、79遺跡896,000m<sup>2</sup>の埋蔵文化財包蔵地の所在を確認した。そして用地買収の進捗に合わせて平成11年度から日本道路公団九州支社と宮崎県教育委員会との間で委託契約を結び、宮崎県埋蔵文化財センターが東九州自動車道（都農～西都間）の建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うこととなった。

児湯郡高鍋町大字上江字牧内の工事区内に牧内第2遺跡がある。本遺跡は牧内第1遺跡と音明寺第1遺跡の中間に位置する。本調査に先立ち、2回にわけて、確認調査を行った。第1次確認調査は、3,705m<sup>2</sup>を対象に平成12年8月4日～8月11日に実施し、調査区を横断する町道より北側の区域について調査を行った。さらに調査対象面積4,300m<sup>2</sup>に対し第2次確認調査を平成13年6月4日～6月27日に実施し、その結果、町道以南については4,300m<sup>2</sup>を、町道以北については町道沿い1,000m<sup>2</sup>を、合わせて5,500m<sup>2</sup>について本調査が必要となった。公団と協議の結果、記録保存のための本調査を平成13年8月23日から平成14年3月29日まで実施した。

## 第2節 調査の組織

牧内第2遺跡の調査組織は次の通りである。

### 宮崎県埋蔵文化財センター

所長	矢野 剛	(平成13年度)
	米良 弘康	(平成14・15年度)
	宮園 淳一	(平成16年度)
副所長	岩永 哲夫	(平成13～16年度)
	菊池 茂仁	(平成13年度)
	大蔭 和博	(平成14～16年度)
調査第一課長	面高 哲郎	(平成13年度)
	児玉 章則	(平成14・15年度)
	高山 富雄	(平成16年度)

### 主幹兼調査第二係長

長津 宗重	(平成13～16年度)
調査第一係長 谷口 武範	(平成13～16年度)
主幹兼総務係長 石川 恵史	(平成15・16年度)
総務係長 亀井 維子	(平成13年度)
	野邊 文博 (平成14年度)

### 調査担当

主査 加藤 学	
主査 永山 博一	
調査員 金丸 史絵	
調査指導 小畑 弘己 (熊本大学)	
	泉 拓良 (京都大学)
	本田 道輝 (鹿児島大学)
	田崎 博之 (愛媛大学)
	柳沢 一男 (宮崎大学)
	広瀬 和雄 (国立歴史民俗博物館)
	加藤 真二 (文化庁)
	橘 昌信 (別府大学)
調査協力 一ツ瀬土地改良区	

## 第Ⅱ章 遺跡の環境

### 【地理的環境】

高鍋町は宮崎県のほぼ中央部・宮崎平野の北側の一角を占める。東は単調で屈曲のない日向海岸の中央部に当たり、日向灘に面している。西は茶臼原で西都市と同じく中原・百合野原へと続く台地で木城町と接している。北は川南原で川南町と、南は水谷原・新田原で新富町と接している。また北西部には台地を二分する小丸川が流れている。

牧内第2遺跡は、宮崎県児湯郡高鍋町大字上江字牧内に所在する。本遺跡は、町の南西部に位置し、小丸川両岸に発達する三財原段丘面の中西部標高約93～95mに位置する。三財原段丘面は、新富町祇園原・畦原・三財原・追分・高鍋町市の本・中尾・牛牧にかけて広がる。また西側に市の山がそびえ、北に宮田川の支流小並川、南に湯風呂川に挟まれている。

本遺跡は、北東・南東方向に緩やかに下っている。現在は圃場整備により削平されているが、旧地形では西側にそびえる山の裾野が広がっていたと考えられる。なお、本遺跡の中央を東西に分断するように町道が走る。

隣接する牧内第1遺跡との境に沢が確認され、南側には谷が入り込み、この谷つながりで音明寺第1遺跡が立地する。周辺では、段丘面を利用して稻作、煙草・甘藷等を栽培する畑作が行われている。なお、本遺跡も以前は庭木苗・甘藷を栽培する畑地であった。

### 【歴史的環境】

「牧内」という地名を調べると、高鍋町大字上江には、牛牧・牧の内等‘牧’の文字が付く地名が多い。文献を紐解くと延喜式等の奈良・平安時代の記述によると日向の国（中でも現在の児湯郡）は全国有数の牛・馬の供給地であった史実が掲載されている。江戸時代の藩政策により「牧」が近辺に開かれると推察され、この地域では、段丘面を利用した牛・馬の飼育が行われていたことが推察される。本遺跡では、今回の調査において主に旧石器時代、縄

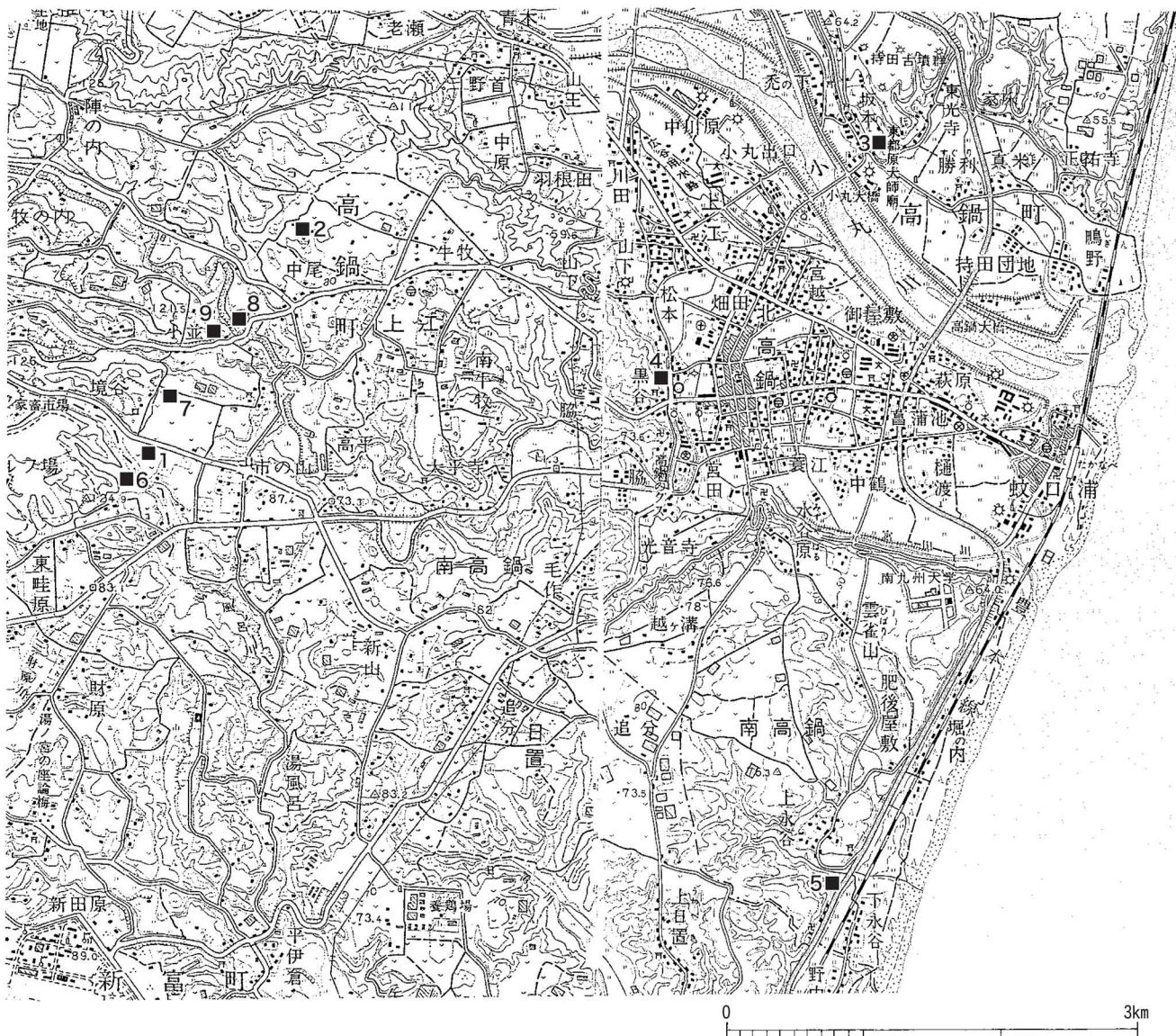
文時代草創期・早期の遺構・遺物が確認されている。高鍋町の遺跡を調べると本遺跡周辺では、過去発掘調査が行われていないことなどから、今後東九州自動車道建設に伴う発掘調査において何らかの成果が得られるものと思われる。

#### ○旧石器時代

北牛牧第1遺跡（第1図2）では、始良丹沢火山灰層直下の暗褐色土より集石遺構が検出されている小林軽石層から始良丹沢火山灰層において尖頭器、スクレイパー、ナイフ形石器が出土している。石材は、いずれも暗青色の頁岩である。小丸川左岸の持田中尾遺跡では、横剥ぎ剥片を使用したいわゆる瀬戸内技法の流れをくむナイフ形石器が出土している。以下東九州自動車道建設に伴う発掘調査を実施した遺跡について述べる。本遺跡南側に位置する音明寺第1遺跡では、小林軽石層から礫群、陥し穴、始良丹沢火山灰層礫群、土坑・ピットが検出されている。本遺跡北側に位置する牧内第1遺跡では、小林軽石層からピット群、始良丹沢火山灰層上層及び下層の暗褐色土から礫群が出土している。唐木戸第4遺跡では、小林軽石層において礫群が9基出土している。遺物では、角錐状石器をはじめ多くの石器が出土している。

#### ○縄文時代早期

本遺跡東部に位置する大戸ノ口第2遺跡では、早期の早水台式、田村式、手向山式、円筒形の押型文土器、吉田式、前平式等の貝殻条痕文土器、撚糸文系の塞ノ神式土器、楕円押型文、高山寺式、織維土器が出土している。また妻道南遺跡では、貝殻条痕文土器が出土している。以下東九州自動車道建設に伴う発掘調査を実施した遺跡について述べる。高鍋町の小並第1遺跡では、貝殻刺突文を施す平桙式が出土している。



1 牧内第2遺跡 2 北牛牧第1遺跡 3 持田中尾遺跡 4 大戸ノ口第2遺跡 5 妻道南遺跡  
6 音明寺第1遺跡 7 牧内第1遺跡 8 唐木戸第4遺跡 9 小並第1遺跡

※ 1 6～9は東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う発掘調査による遺跡

第1図 牧内第2遺跡周辺の遺跡位置図 (S=1/500,00)

（参考文献）

「持田中尾遺跡」	高鍋町教育委員会	1982
「妻道南遺跡」	高鍋町教育委員会	1986
「高鍋町史」	高鍋町	1987
「高鍋町遺跡詳細分布調査」	高鍋町教育委員会	1988
「大戸ノ口第2遺跡発掘調査報告書」	高鍋町教育委員会	1989
「中尾牛牧地区遺跡発掘調査報告書」	高鍋町教育委員会	2000
「土地分類調査 妻高鍋」	宮崎県	

## 第Ⅲ章 調査の経過と方針

### 第1節 確認調査の概要

本遺跡の確認調査は、町道を境に北については平成12年8月4日より8月11日に、南については平成13年6月4日より6月27日まで平成12年度及び13年度に2回に分けて実施した。

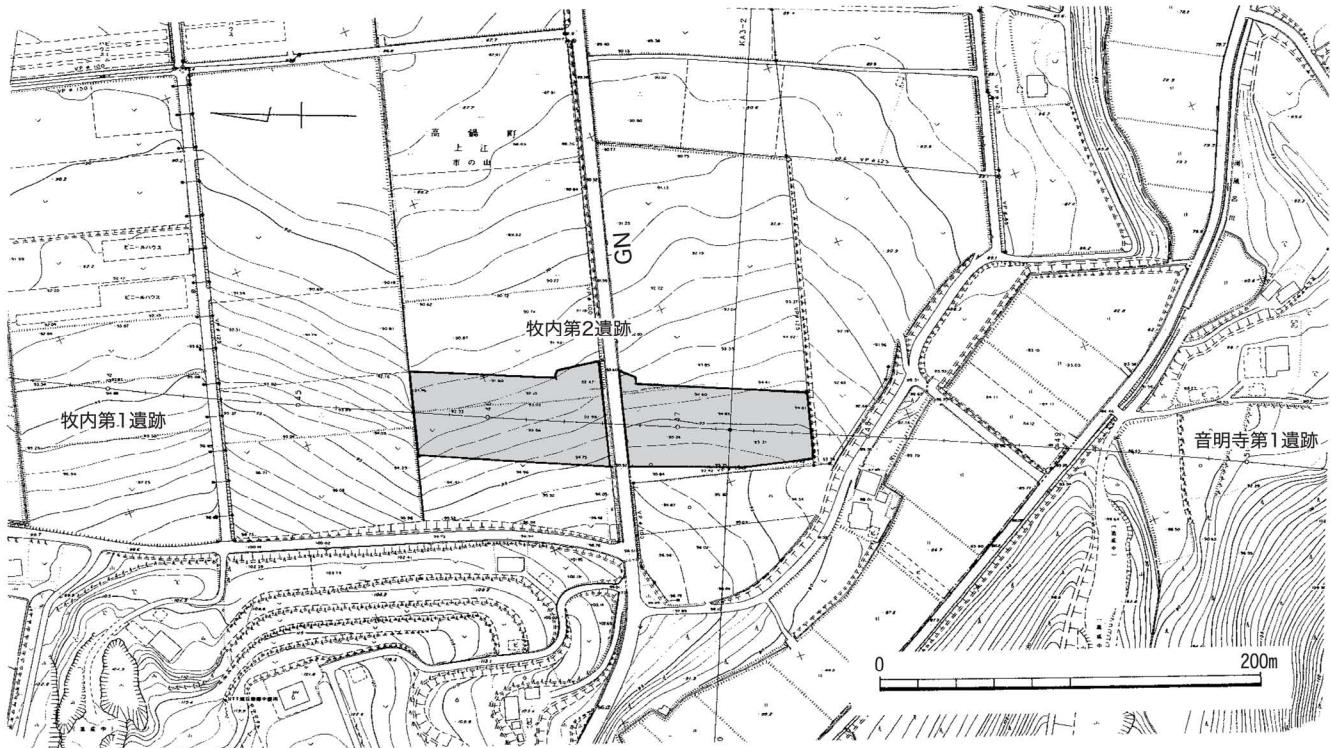
本遺跡町道以北については、牧内第1遺跡と隣接しているものの遺跡一帯が、圃場整備を受け攪乱が1mに及んでいる点や遺跡全体における旧地形が、西から東へ傾斜していることが予想された。確認調査では2×2mのトレンチを27箇所設定した。T24では、始良Tn火山灰層直上より焼石が7個と炭化物(約5mm)が数点検出された。その他のトレンチでは遺構・遺物とも確認できなかった。町道南部の調査対象区は北から南方向に傾斜しており、谷を挟んで音明寺第1遺跡の対岸にあたる。確認調査では2×2mのトレンチを14箇所設定し、重機で表土を除去しながらトレンチを拡げていく手法で掘り下げを行った。各トレンチでの出土状況は、表1のとおりである。なお、トレンチの位置・名称については

第4図牧内第2遺跡確認調査トレンチ配置図を参照されたい。

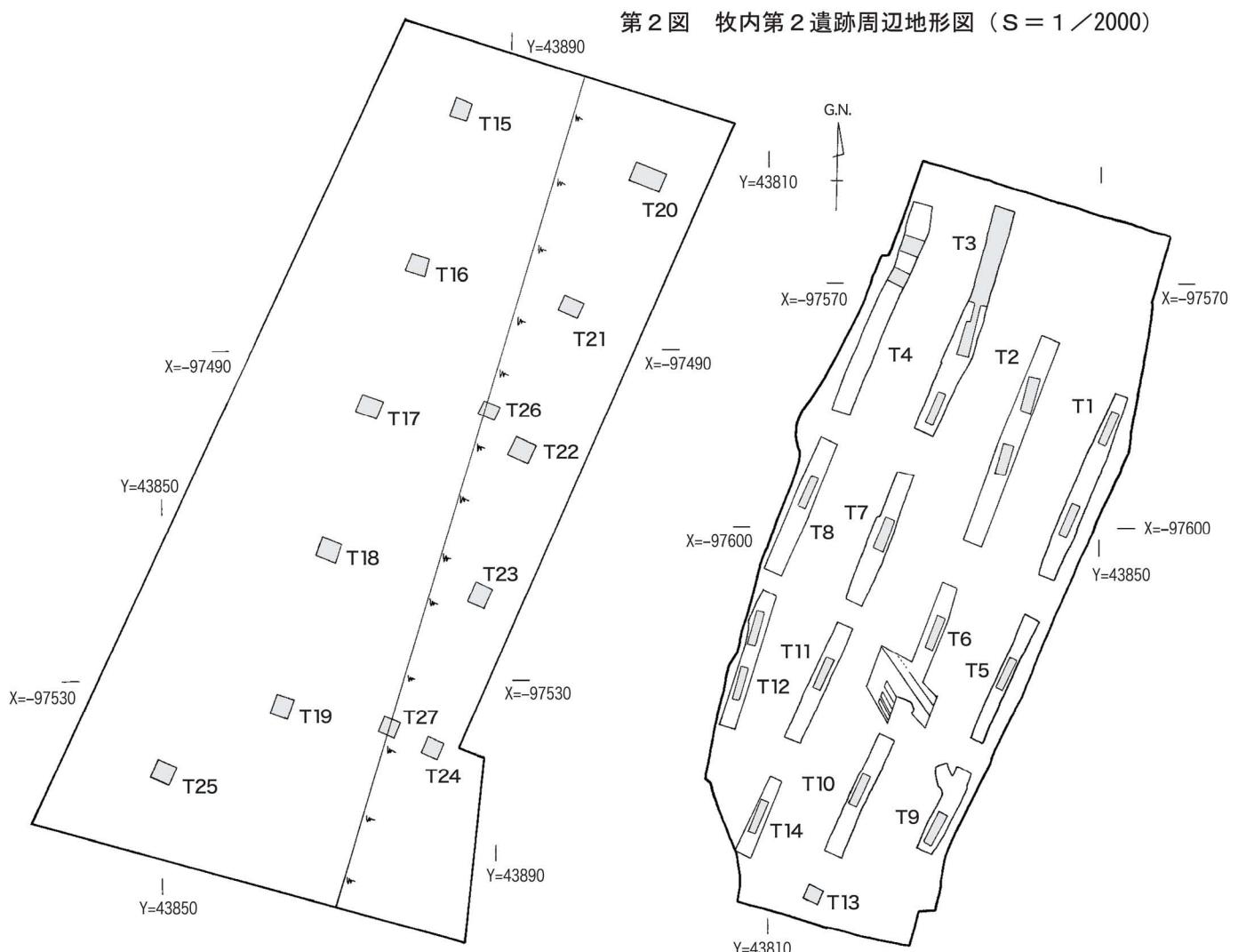
調査の結果を踏まえ、検討した結果、町道以北に出土した礫を礫群と認定し、検出されたT24を中心に町道沿い1,000m<sup>2</sup>を本調査対象地とし、それより北側については調査の結果次第で拡張するかどうか判断することとした。また町道以南については、確認調査対象とした4,500m<sup>2</sup>において本調査を実施する。遺物の出土状況から遺物包含層は、縄文時代早期(MB0)、草創期(ML1)、小林軽石層(Kr-KB)、暗褐色土(MB1)の4層を考え、アカホヤ火山灰降下以降の遺構・遺物についてはこれまでに確認されていないが、残存区域がT6付近に限られていることや隣接する畠地で須恵器片が1点出土したこともあり、表土除去時にアカホヤ上面で遺構・遺物の確認し調査を進め、始良Tnを火山灰層より下の層についてはかなりの深度におよぶため、本調査時にトレンチを設定し、その調査状況を確認して調査面積・調査方法を決定することとした。

トレンチ名	層序	遺構・遺物	層序	遺構・遺物	層序	遺構・遺物	層序	遺構・遺物	層序	遺構・遺物	備考
T 1											遺構・遺物なし
T 2 北	Kr-Kb	焼礫1点	ML2	焼礫2点	MB1	礫1点					
T 2 南	クロニガ	ナイフ形石器1点	Kr-Kb	黒曜石剥片碎片7点	Kr-Kb	剥片2点	Kr-Kb	剥片2点	Kr-Kb	礫1点	
T 3 南	層不明	碎片1点	層不明	礫1点							
T 4 北	Kr-Kb	焼礫3点	Kr-Kb	チャート碎片1点							
T 4 南	Kr-Kb	碎片1点	Kr-Kb	焼礫1点							
T 5	ML2	焼礫1点									
T 6	K-Ah	溝状遺構4条	Kr-Kb	礫1点	MB1	礫1点					
T 7	MBO	剥片5点	MBO	礫4点	MB1	礫群1基					
T 8	層不明	敲石1点									
T 9	MBO	焼礫1点	MBO	礫1点	Kr-Kb	礫1点	MB1	礫1点			
T 10	ML2	礫1点									
T 11	MBO	剥片2点	MBO	礫3点	MB1	剥片1点	MB1	礫2点	MB1	焼礫1点	
T 12北	MB1	剥片1点	暗褐色ローム	剥片1点							
T 12南	MBO	礫1点	Kr-Kb	剥片1点	MB1	焼礫1点					
T 13											遺構・遺物なし
T 14	MBO	礫(大型)1点	Kr-Kb	礫1点							
T 25	ML2	礫7点									

表1 トレンチにおける遺構・遺物出土状況図



第2図 牧内第2遺跡周辺地形図 ( $S = 1/2000$ )



第3図 第1回確認調査（町道以北）  
調査区及びトレンチ配置図 ( $S = 1/200$ )

第4図 第2回確認調査（町道以南）  
調査区及びトレンチ配置図 ( $S = 1/200$ )

## 第2節 発掘調査の経過

先ず町道より便宜的に北の調査区をA区、南の調査区をB区とした。確認調査の結果から、縄文時代早期・後期旧石器時代の文化層が予想されたので、東九州自動車道の発掘の際に行われる25%掘りにより調査を行うことを調査員の間で確認した。調査に先立ち、本調査を行う際の最大の懸案である排土の処理について協議し、A区とB区の北半分を先に調査を行うこととした。

調査は、先ず重機により表土を除去した。調査前はこの付近は畠地であったため、調査区の大部分はアカホヤ火山灰層より上層はすでに削平されており表土下すぐに暗褐色土（ML 1）が確認された。その後、遺構・遺物の全体の広がりや集中区を早期に

把握するため10mグリッドを四分割した内の一区画を掘削していくいわゆる25%掘りで調査を進めた。そして、遺物・遺構の出土状況に応じて掘り下げる面積を拡げた。平行して町道沿いに3つの先行トレーナーを設定し、層の残存状況を確認した。さらに姶良丹沢火山灰層より下の層についても、 $5 \times 2.5\text{m}$ のトレーナーを設定し、遺物・遺構の把握に努めた。排土の運搬は、町道を横断して行うため、時間がかかり、掘り下げを断続的に中断する場面もあった。また土器集中区をはじめに遺構でないか確認する等確認作業に時間がかかった。特に風倒木や樹根の確認に時間を費やした。反省する点は多々あるが、予定通り調査が終了できた。調査終了後、排土を使って埋め戻しを行った。



遺跡遠景（南より）

## 日誌抄

- 2001 709 事務所等の設置場所の確認。
- 2001 823 事務所等設置。B区北側表土除去。
- 2001 905 土止めの設置。安全対策。
- 2001 907 A B区精査。グリッド杭設置。
- 2001 919 B区土器片出土。ピット1基出土。
- 20011004 F 5 グリッドにおいて石鏃出土。
- 20011011 土器集中区周辺写真撮影。
- 20011012 黒曜石製の細石刃出土。
- 20011015 A B区VIa層上面までの掘り下げ完了。
- 20011018 重機によりVIa層を除去。
- 20011109 ML 2よりナイフ形石器、細石刃出土。
- 20011115 I 7 J 7 グリッド剥片・角錐状石器出土。
- 20011128 J 7 グリッドよりナイフ形石器出土。
- 20011220 調査区南側より25%掘りを行う。
- 20011225 M 6 M 7 M 8 グリッドより剥片出土。
- 20011226 K 7 グリッドより角錐状石器出土。
- 2002 318 MB 1 検出の礫群実測。
- 2002 117~23 小林軽石層での掘り下げ。
- 2002 128 小林軽石面精査。
- 2002 207 空中写真撮影。
- 2002 208 始良Tn火山灰層下の遺構・遺物の有無を確認するトレンチを23箇所設置。
- 2002 212 MB 1より散礫検出。
- 2002 213 MB 1のL 7 K 8 グリッドより散礫。
- 2002 223 MB 2を25%掘り。敲石、剥片出土。
- 2002 225 P 7 P 8 P 9 グリッド散礫検出。
- 2002 226 L 7 K 8 グリッドの散礫の拡がり確認。
- 2002 304 MB Iより下層の層序確認の先行トレンチ設置。
- 2002 307 長崎大学長岡先生来訪。
- 2002 308 MB 1 コンター実測を行う。
- 2002 312 MB 1 検出の礫群の拡がりを見る。  
SC 1 検出。
- 2002 327 MB 1 検出の礫群実測完了。排土運搬。
- 2002 328 整地完了。遺物・道具運搬。

## 第3節 整理作業及び報告書作成

遺物の整理作業は平成14・15年度に行った。平成14年度は、まず遺物の洗浄をしながら、同時に遺物の種類の量の分析を行い、注記では、どの部分に注記を行うかという視点で遺物を観察した。そして剥離面と自然面のちがい、石器製作技法等を理解しながら石器について理解を深めた。「小さい遺物に注記を行う時、何を優先させるか」等の問い合わせに本質を理解していないため答えを見つけるのに時間がかかり、作業が止まってしまったこと等がある。また写真撮影との兼ね合いで本来注記する場所にできず、書きにくい場所に無理して注記を行った時もあり反省すべき点である。本遺跡ではナイフ形石器・角錐状石器の製品等が比較的まとまって400点ほど出土したため、石器の接合を中心に行った。石器について先ず質・色・触感等から同一石材を特定し、同一石材と思われる石材同士をまとめ接合を行った。初めは順調に作業が進んだが、10日を経過した頃から接合例が確認できない日々が続いた。堆積岩については、埋まった状態によっては、色・触感が違っても接合することを確認した。土器については、土器片の角の摩耗が激しく数例の接合を確認するに止まった。実測は石器については委託に、土器については口縁部を中心に選定・実測した。

平成15年度は、石器接合資料の選定、遺物の実測・トレースを行った。先ず、接合資料は数多くあったが、そのうち素材剥片を抽出した3つの接合資料を選んだ。実測については業者に委託した。その他の遺物については整理作業員の協力のもと実測を行った。石鏃の剥離面の確認が難しく確認作業に苦労した。

## 第IV章 調査概要

### 第1節 調査の経過

本遺跡における旧石器文化は、第1遺物包含層（始良Tn火山灰降下以前のIX層上部）と第2遺物包含層（始良Tn火山灰降下後から小林軽石火山灰降下以前）そして小林軽石層降灰前後第3遺物包含層と3つの文化に分けられる。以下それぞれの文化層ごとに列挙する。

牧内第2遺跡は、調査区を東西に横切る町道が走る。調査対象地の内便宜的にこの町道より北側をA区（1,245m<sup>2</sup>）南側をB区（4,205m<sup>2</sup>）とした（第5図）。現地での記録図面作成のため、国土座標（XY座標）に乘じた10mグリッドを設置した

排土置き場を確保するため前章で述べたとおり最初にA区とB区北半分の調査を行い、そして次にB区南半分の調査を行った。表土除去後トレンチをA区に1箇所B区に2ヶ所設置し層の残存状況を確認した。（第8図）アカホヤ火山灰より上層、そして下層の黒褐色土はそのほとんどが削平されていたが、その下の層は、良好な状態で残存していた。以下層ごとに、調査の経過を述べる。

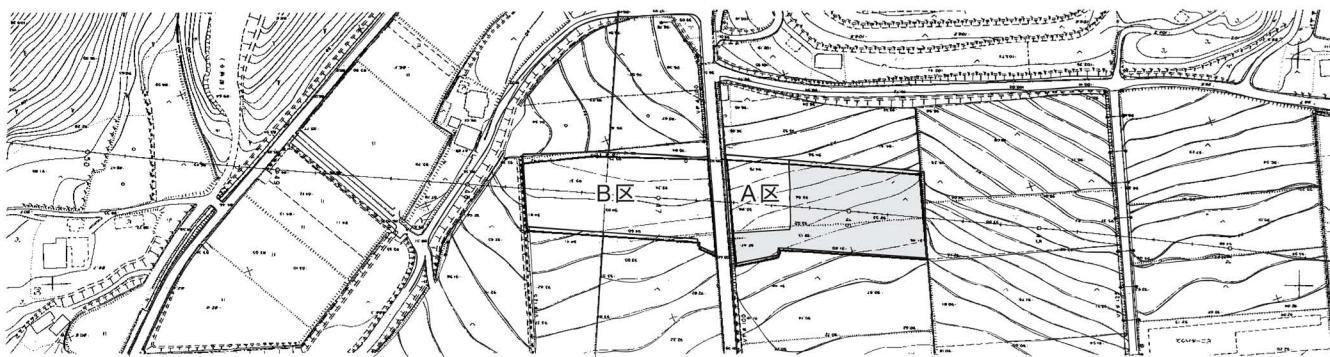
はじめに重機で表土を除去した。重機で10cmほど掘り下げると確認調査時にB区中央部に一部アカホヤ火山灰層が残存していた。そこで人力によりアカホヤ火山灰面で精査し、溝状遺構を検出した。先ず検出状況を写真に撮るために、検出面を精査していたところ埋土中より現代の遺物が出土したため、現代の遺構と認定し、写真撮影だけにとどめた。

次にB区に設定したトレンチ30を掘り下げ時に、MB0において土器片約200点、炭化物が出土した。出土地点が集中していた点、土器片が同一個体である可能性が強いため掘り下げ範囲を拡げ、遺構の有無の確認を行った。周辺よりピット3基、風倒木が確認されたが、それ以外の遺構は確認できなかった。遺物としては前述した土器片の他石鏃が出土した。なお出土した土器は、隆帶紋に貝殻刺突文が施され、ML1中～下層で出土した。

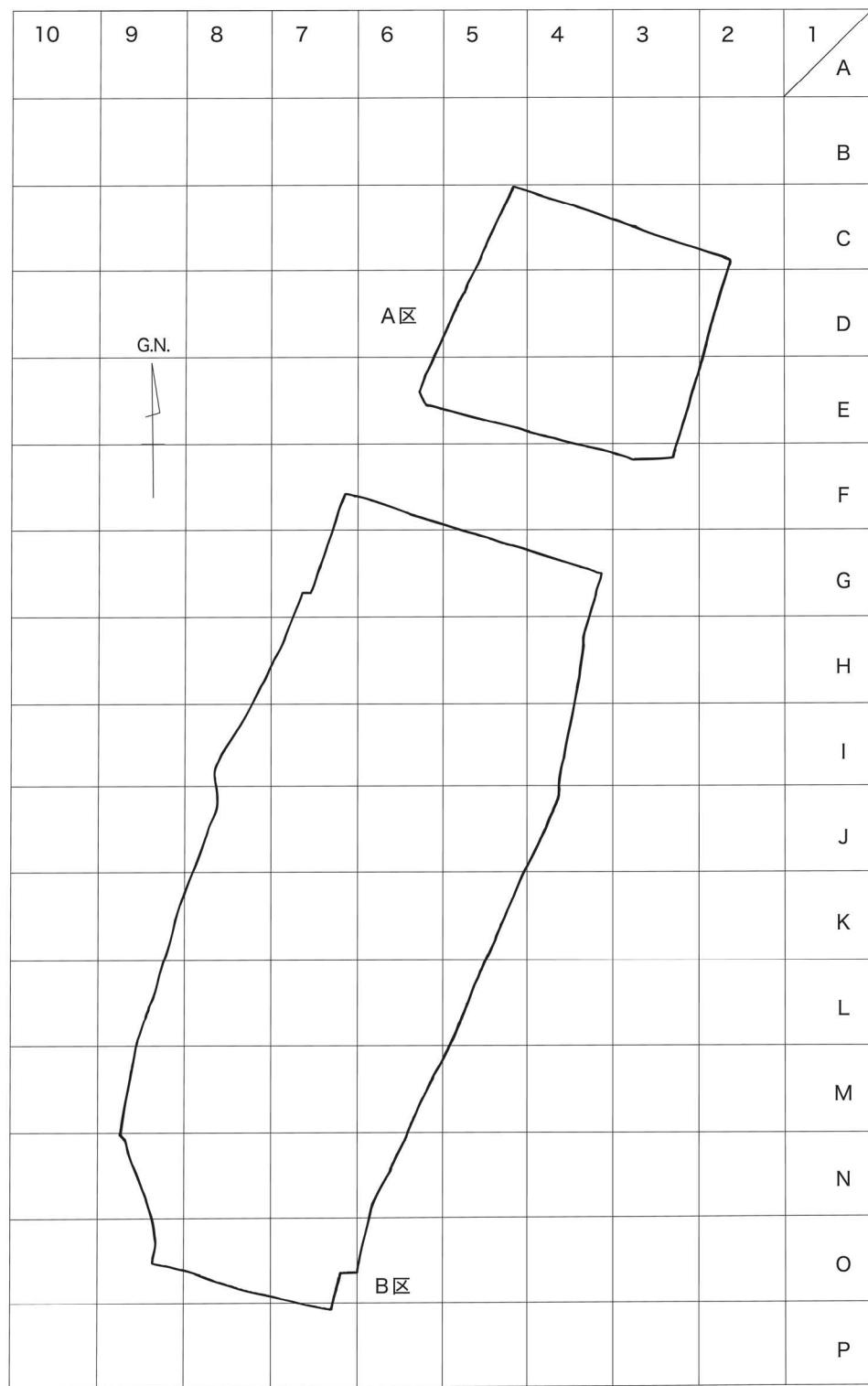
また出土箇所より薩摩火山灰層と思われる火山灰

が水平分布していたことから土器の使用時期の参考資料として自然科学分析（火山灰分析）を委託した。小林軽石層から始良Tn火山灰層（土壤化）にかけての旧石器時代の層はA・B区ともに25%掘りにより調査を進め、小林軽石層上部にかけて遺構は検出できなかつたが、遺物では、ナイフ形石器角錐状石器、ラウンドスクレイパー等が出土した。小林軽石層下部から始良Tn火山灰層（土壤化）にかけての旧石器時代の層は、A・B区ともに25%掘りにより調査を進めた。小林軽石層において遺構は、確認できず、遺物として角錐状石器、ナイフ形石器、二次加工剥片、スクレイパー、剥片等を出土した。製品が出土するため遺物出土箇所を中心に捻り鎌等で細かく掘り下げを行つたが、剥片・碎片はほとんど確認できなかつた。小林軽石層下であるMB1下部では小規模な礫群の拡がりを検出した。その結果、確認したところ礫約300点・石器約120点が混在する礫群となつた。石器としては角錐状石器、ナイフ形石器、スクレイパー、大小剥片等がある。検出された礫は熱により赤変したものがまとまっており、可能な限り周辺にまで調査範囲を広げ確認を行つた。その過程の中で小林軽石層下部において土坑（陥し穴）が1基検出された。埋土上層は小林軽石層のブロックが含まれており、埋土中から剥片が1点出土した。

AT層下位についてA区については、確認調査の結果を踏まえ掘り下げを行わなかつた。B区については、調査区内に26箇所のトレンチを設定し掘り下げを行つた。その結果遺構として73点の礫が広範囲に確認された。また遺物として剥片・磨石・敲石が出土した。また、遺物出土箇所が南東に下る微傾斜地であることも判明した。その下の層についてはA・B区とともに一部深掘りをし、層序を確認するとともに遺構、遺物がないことを確認して調査を終了した。



第5図 牧内第2遺跡周辺地形及び調査区範囲



第6図 牧内第2遺跡グリッド配置図

## 第2節 基本層序

牧内第2遺跡の基本層序を第7図に示した。本遺跡は、元来丘陵地の緩傾斜面に立地している。主な遺構・遺物包含層は第V a層（縄文時代草創期・早期）、第V b・VI a層（後期旧石器時代第3文化層）、第VI b～VII a層（後期旧石器時代第2文化層）、第IX-a層（後期旧石器時代第1文化層）である。

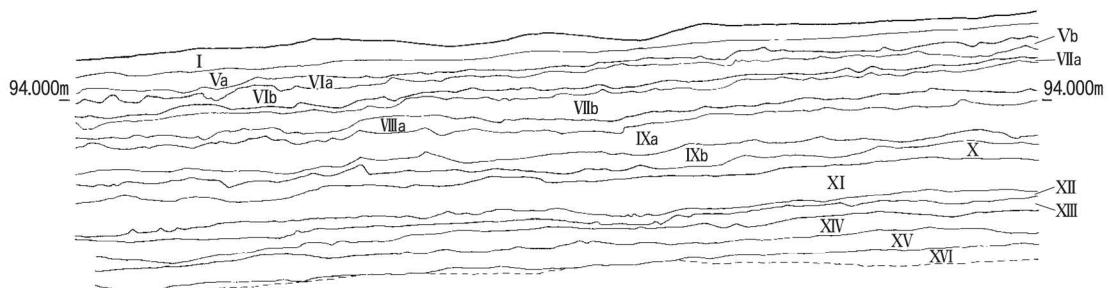
第V a層では薩摩火山灰に類似した火山灰が確認でき、出土した縄文土器の時期決定の指標になると考えられる。第VII a層下部には礫・石器が集中して

出土した。第VII b層は、A区でしか認められなかつた。

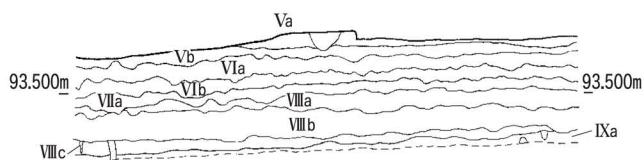
第VIII a層は、調査区全体で見られるが、第VIII b・c層については、B区の調査区東部でしか残存していなかった。IX層は、褐色粒の数の量によって分層した。なお第VIII b～第X a層以下の層序からは遺構・遺物は確認できなかった。なお、A区トレンチ28及びB区トレンチ30についての自然科学分析を第V章に掲載した。参考されたい。

包含層	層序	呼称	
	I	第I層 表土（耕作土）	
	II	第II層 黒色土	(Hue10YR3/1) アカホヤ火山灰層混じり
	III K-Ah	第III層 明黄褐色土	(Hue10YR6/8) アカホヤ火山灰層
縄文早期遺物包含層	IV MB0	第IV層 黒褐色土	(Hue10YR2/2)
	V-a ML1	第V-a層 暗褐色土	(Hue10YR3/4)
後期旧石器	V-b Kr-Kb	第V-b層 暗褐色土	(Hue10YR3/3)
第3文化層	VI-a Kr-Kb	第VI-a層 褐色土	(Hue10YR4/4) 小林軽石層パミス大
後期旧石器	VI-b Kr-Kb	第VI-b層 褐色土	(Hue10YR3/4) 小林軽石層パミス小
第2文化層	VII-a MB1	第VII-a層 暗褐色土	(Hue10YR3/4)
	VII-b ML2	第VII-b層 暗褐色土	(Hue10YR3/2) 黄褐色粒子を含む。
	VIII-a AT	第VIII-a層 黄褐色土	(Hue10YR5/6) 始良Tn火山灰層 土壌化
	VIII-b AT	第VIII-b層 黄褐色土	(Hue10YR5/8) 始良Tn火山灰層 斑文あり
	VIII-c AT	第VIII-c層 明黄褐色土	(Hue10YR6/6) 始良Tn火山灰層 二次堆積層
後期旧石器1文化層	IX-a MB2	第IX-a層 暗褐色土	(Hue10YR3/4)
	IX-b	第IX-b層 暗褐色土	(Hue10YR1/5)
	IX-c	第IX-c層 暗褐色土	(Hue10YR1/4)
	X	第X層 赤褐色ローム	(Hue5YR4/8)
	X I	第XI層 赤褐色土	(Hue5YR5/8) アワオコシ
	X II	第XII層 明褐色土	(Hue7.5YR5/8) アワオコシとイワオコシ
	X III	第XIII層 明赤褐色土	(Hue5YR5/8) イワオコシ
	X IV	第XIV層 褐色土	(Hue10YR4/6) 磯層

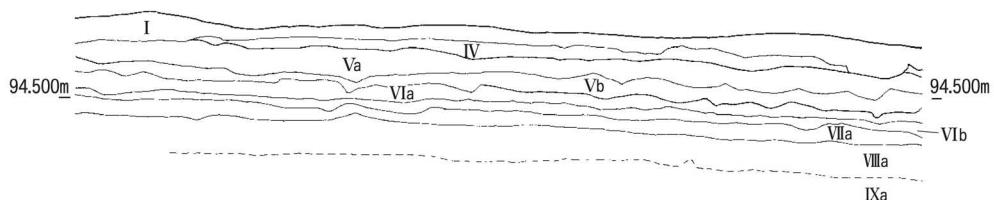
第7図 基本土層柱状図



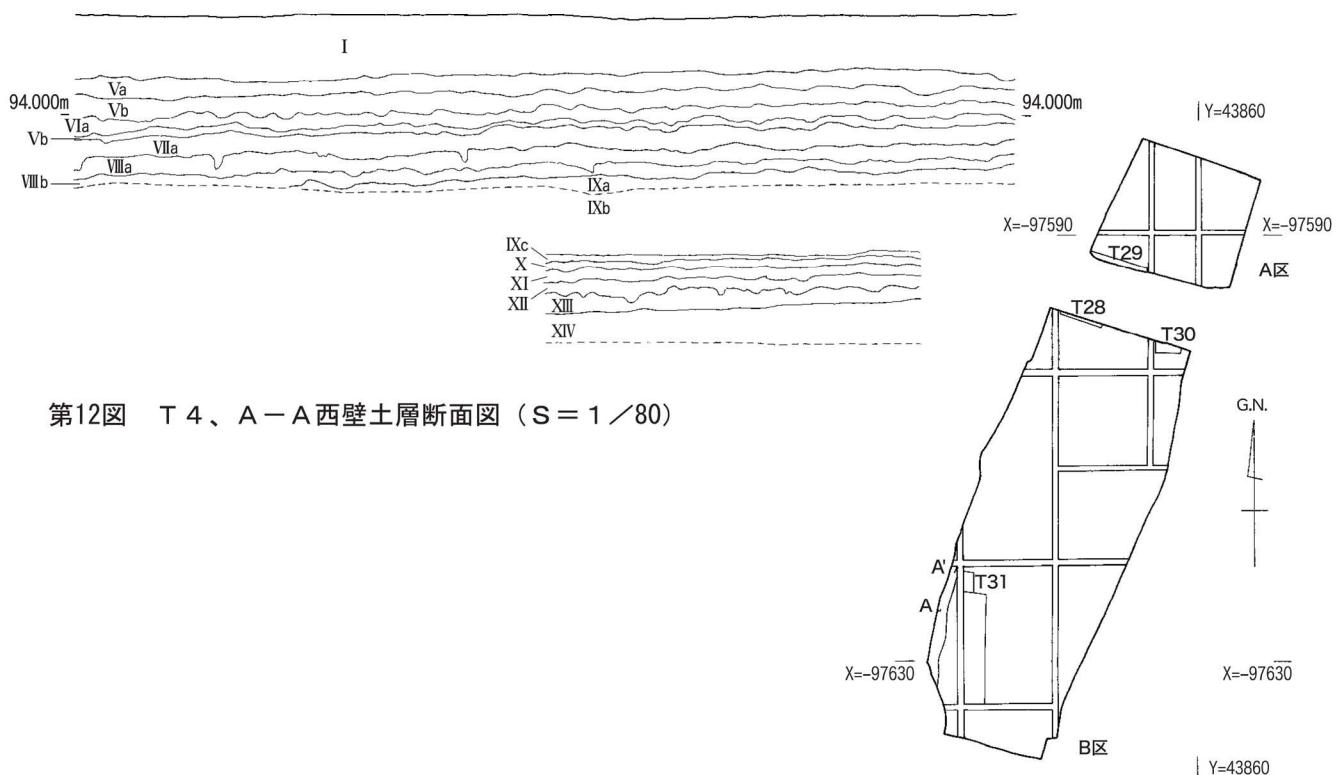
第9図 T 29南壁土層断面図 ( $S = 1/80$ )



第10図 T 30南壁土層断面図 ( $S = 1/80$ )



第11図 T 28北壁土層断面図 ( $S = 1/80$ )



第8図 土層確認のための壁・トレンチ配置図

## A区トレント28南壁

第I 层	表土		耕作土。アカホヤが攪乱を受けて点在している。
第V-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	やや硬質。粘性なし。0.3mm以下の白色・半透明粒が見られる。
第V-b層	暗褐色土	(Hue10YR3/3)	やや硬質。粘性なし。白色粒を含む。
第VI-a層	褐色土	(Hue10YR4/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックの中に0.1cm以下の橙色・白色の粒子が密集している。
第VI-b層	褐色土	(Hue10YR3/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックと0.1cm以下の白色粒がわずかに残る。
第VII-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	やや軟質。粘性がある。
第VII-b層	暗褐色土	(Hue10YR3/2)	やや軟質。粘性がある。VII a層とVIII a層が混在している。
第VIII-a層	褐色土	(Hue10YR5/6)	始良丹沢火山灰層。粘性があり軟質。橙色と白色の微細粒を含む。
第VIII-b層	黄褐色土	(Hue10YR5/6)	始良丹沢火山灰層。粘性がなくさらさらしている。0.3cm以下の丸い斑文がある。
第VIII-c層	明黄褐色土	(Hue10YR6/8)	始良丹沢火山灰層。粘性がなくさらさらしている。0.3mm以下の黄橙色・半透明粒を含む。
第IX-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	硬質。粘性なし。白色・黄橙色の軽石粒を含む。褐色粒の混じる割合は、20%である。
第IX-b層	暗褐色土	(Hue10YR1/5)	硬質。粘性なし。白色・黄橙色の軽石粒を含む。褐色粒の混じる割合は、25%である。
第IX-c層	暗褐色土	(Hue10YR1/4)	硬質。粘性なし。白色・黄橙色の軽石粒・黄色粒を含む。褐色粒の混じる割合は、15%である。
第X 層	赤褐色ローム	(Hue5YR4/8)	やや軟質。粘性あり。5mm程の黄橙色軽石粒混じる。
第XI 層	赤褐色土	(Hue5YR5/8)	やや軟質。粘性あり。アワオコシ層。褐灰色粒の混じる割合15%である。
第XII 層	明褐色土	(Hue7.5YR5/8)	やや軟質。粘性あり。アワオコシとイワオコシの混じる層。5mm程の黄橙色粒、2mm程の黒色粒、3mm程の黄色粒を含む。
第XIII 層	明赤褐色土	(Hue5YR5/8)	やや軟質。粘性あり。イワオコシ層。1cm程の黄橙色粒を含む。
第XIV 層	褐色土	(Hue10YR4/6)	礫層。

## B区トレント29北壁

第I 层	表土		耕作土。アカホヤが攪乱を受けて点在している。
第IV層	黒褐色土	(Hue10YR3/4)	やや硬質。0.2mm以下の白色・透明光沢粒を含む。0.1mm以下の白色・半透明粒が見られる。
第V-a層	暗褐色土	(Hue10YR2/3)	やや硬質。粘性なし。0.3mm以下の白色・半透明粒が見られる。
第V-b層	暗褐色土	(Hue10YR3/3)	やや硬質。粘性なし。白色粒を含む。
第VI-a層	褐色土	(Hue10YR4/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックの中に0.1cm以下の橙色・白色の粒子が密集している。
第VI-b層	褐色土	(Hue10YR3/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックと0.1cm以下の白色粒がわずかに残る。
第VII-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	やや軟質。粘性がある。
第VIII-a層	褐色土	(Hue10YR5/6)	始良丹沢火山灰層。粘性があり軟質。橙色と白色の微細粒が見られる。
第VIII-b層	黄褐色土	(Hue10YR6/8)	始良丹沢火山灰層。粘性がなくさらさらしている。0.3cm以下の丸い斑文がある。

## B区トレント30南壁

第V-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	やや硬質。粘性なし。0.3mm以下の白色・半透明粒を含む。
第V-b層	暗褐色土	(Hue10YR3/3)	やや硬質。粘性なし。白色粒を含む。
第VI-a層	褐色土	(Hue10YR4/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックの中に0.1cm以下の橙色・白色の粒子が密集している。
第VI-b層	褐色土	(Hue10YR3/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックと0.1cm以下の白色粒がわずかに残る。
第VII-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	やや軟質。粘性がある。
第VIII-a層	褐色土	(Hue10YR5/6)	始良丹沢火山灰層。粘性があり軟質。橙色と白色の微細粒が見られる。
第VIII-b層	黄褐色土	(Hue10YR5/8)	始良丹沢火山灰層。粘性がなくさらさらしている。0.3cm以下の丸い斑文がある。

## B区西壁 A ~ A'

第I 层	表土		耕作土。アカホヤが攪乱を受けて点在している。
第V-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/3)	やや硬質。粘性なし。0.3mm以下の白色・半透明粒が見られる。
第V-b層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	やや硬質。粘性なし。白色粒を含む。
第VI-a層	褐色土	(Hue10YR4/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックの中に0.1cm以下の橙色・白色の粒子が密集している。
第VI-b層	褐色土	(Hue10YR3/4)	小林軽石を含む層。硬質。粘性なし。暗褐色のブロックと0.1cm以下の白色粒がわずかに残る。
第VII-a層	暗褐色土	(Hue10YR4/3)	やや軟質。粘性がある。
第VII-b層	暗褐色土	(Hue10YR3/2)	やや軟質。粘性がある。VII a層とVIII a層が混在している。
第VIII-a層	褐色土	(Hue10YR5/6)	始良丹沢火山灰層。粘性があり軟質。橙色と白色の微細粒を含む。
第VIII-b層	黄褐色土	(Hue10YR5/6)	始良丹沢火山灰層。粘性がなくさらさらしている。0.3cm以下の丸い斑文がある。
第VIII-c層	明黄褐色土	(Hue10YR6/8)	始良丹沢火山灰層。粘性がなくさらさらしている。0.3mm以下の黄橙色・半透明粒を含む。
第IX-a層	暗褐色土	(Hue10YR3/4)	硬質。粘性なし。白色・黄橙色の軽石粒を含む。褐色粒の混じる割合は、20%である。

## B区西壁

第IX-c層	暗褐色土	(Hue10YR1/4)	硬質。粘性なし。白色・黄橙色の軽石粒・黄色粒を含む。褐色粒の混じる割合は、15%である。
第X 層	赤褐色ローム	(Hue5YR4/8)	やや軟質。粘性あり。5mm程の黄橙色軽石粒混じる。
第XI 层	赤褐色土	(Hue5YR5/8)	やや軟質。粘性あり。アワオコシ層。褐灰色粒の混じる割合15%である。
第XII 層	明褐色土	(Hue7.5YR5/8)	やや軟質。粘性あり。アワオコシとイワオコシの混じる層。5mm程の黄橙色粒、2mm程の黒色粒、3mm程の黄色粒を含む。
第XIII 層	明赤褐色土	(Hue5YR5/8)	やや軟質。粘性あり。イワオコシ層。1cm程の黄橙色粒を含む。
第XIV 層	褐色土	(Hue10YR4/6)	礫層。

## 第3節 遺構と遺物

### 1 文化層・遺物包含層の設定

第IV章第2節で述べた遺構検出状況及び遺物の出土状況をまとめると以下のようになる。

- V a 層…土器約200点がB区北部より集中して出土する。石鏃剥片が点在する。遺構としてはピットが3基、土坑1基、集石遺構1基が検出された。調査区が南北に下る傾斜地であるため、角錐状石器等も検出されたが、土器片、石鏃、石鏃と同じ石材の剥片を中心に文化層としてとらえた。
- V b～VI a 層…攪乱中より細石刃、細石刃核が数点出土している。角錐状石器・ナイフ形石器、スクレイパー等が出土している遺構はなし。調査区が南北に下る傾斜地である点、各層とも遺物の出土状況が疎であり、間に無為物層が存在しなかった点から、V b 層～VI a 層を1つの文化層としてとらえた。
- VI b～VII b 層…角錐状石器・ナイフ形石器等約300点の石器、約400点以上の礫が出土している。調査区が南北に下る傾斜地である点、VII b 層を除き、各層とも遺物の出土状況が疎であり、VI b 層～VII b 層から出土した石器でのみ接合資料が存在した点から、VI b 層～VII b 層を1つの文化層としてとらえた。
- IX a 層…磨石・敲石、剥片が出土している。始良T n 火山灰降下以前の文化層。約60点の礫と約40点の石器が確認された。出土地点はB区南部に点在している。

以下の結果を受け、旧石器時代の文化層を下記のとおり設定した。

第1文化層	… IX a 層
第2文化層	… VI b 層～VII b 層
第3文化層	… V b 層～VI a 層

### 2 遺構・遺物の分類

本報告書では、遺物・遺構を以下の通り定義づける。

#### (1) 遺構

○集石遺構…縄文時代早期の遺構。長軸、短軸ともにそれぞれ1～1.5mの範囲に密に礫が集まっている遺構と定義づける。礫の赤化度、礫の大きさそして掘り込みや炭化物の有無等により、動植物を調理する機能を有する調理場跡や炉跡、集石遺構の為の礫をストックしていた準備礫、不要になった廃棄礫等に分類できる。

○礫群…旧石器時代の遺構。構成する礫が離れすぎず広がっており、礫間の距離が0～30cm程度であり、礫の拡がりが一定のまとまりを保っている遺構。構成礫は、拳大の大きさを基本とし、礫の赤化度、炭化物・掘込みの有無等人為的に礫を集め、使用した痕跡が見られる。

○散礫…礫間の距離が30cm以上あり、礫の拡がりにまとまりが見られず、構成礫の大きさにもばらつきがある。人為的に石を集めた形跡もなく使用した痕跡も見られない。なお、本遺跡では20m四方に約300点の散礫が検出された。この礫は緩やか傾斜を下るように広がりをみせる。この散礫の中に熱により赤変した礫が集中した箇所が数箇所確認された。この数箇所については、例外的に礫群として扱うこととした。

○ピット・土坑…本遺跡ではピットが3基、土坑が1基検出されている。ピットについては、検出プランの直径が30cm以下のものを土坑とする。ピットは掘り込みが円柱状に掘り込んであり、それ以外の形状が土坑である。年代測定については、検出面の層序・埋土中の遺物等から判断した。

## (2) 遺物

### ○磨石・敲石

I類…円礫を用い、側縁部にあばた状の敲打痕を部分的に残し、緩やかな多面体を呈する。

II類…円形の扁平礫を用い、表裏面に平坦面を残す。

III類…円形または棒状の礫の一端もしくは両端に剥離面もしくは敲打痕を部分的に残す。

IV類…平坦面ではなく自然礫の可能性がある。

礫の分類で円礫・亜円礫に属する。

### ○石鏸

I類 正三角形

- ① 基部が平基になる。
- ② 基部にU字、V字状の抉りを入れ、脚部をつくりだしている。

II類 二等辺三角形

- ① 基部が平基になる。
- ② 基部中央に浅い抉りがある。

III類 欠損品

### ○ナイフ形石器

I 二側縁加工ナイフ A縦長剥片素材

- ① 基部が極端に丸みを帯びる・通常のブランディングを施す。
- ② 一側縁加工+基部加工により刃部をつくりだす。
- ③ 二側縁加工

II 一側縁加工ナイフ A縦長剥片素材

### ○角錐状石器

I 紡錘形 A縦長剥片

- ① 一面加工
- ② 二面加工

II 菱形 A縦長剥片

- ① 一面加工
- ② 二面加工

III矮小 A縦長剥片 角錐状で黒曜石製

## 第4節 第1文化層の遺構・遺物

B区に26箇所のトレンチを設定し、掘り下げを行った。そして遺物の出土状況に応じて掘り下げ部分を拡張した（第13図）。その結果、散礫（礫総数62点）と43点の石器が確認された。

### (1) 遺構

#### 散 磫

B区南端において礫が62点出土した。礫が検出されたグリッドを見ると、東西に隣接するL 8・L 9が12個、M 8・M 9が28個、N 8・N 9が6個、O 7・O 8が16個となっている。したがって20m×40mの範囲に62個の礫が集中している。またこの範囲の中でも北端と南端に礫が集中し、礫が傾斜に沿って南東方向に下っているのが見られる（第13図）。炭化物や掘り込みは確認できなかった。個々の礫に目を向けると円礫（亜円礫を含む）と角礫（亜角礫を含む）の数はほぼ同数である（表3）。熱により赤変した礫はない。構成礫では、ホルンフェルスが圧倒的に多く、次いで尾鈴山酸性岩・砂岩・石英班岩と続く（表4）。礫の接合関係では、L 9・M 8・O 7・8グリッド内で距離にして0～20cm以内に位置する礫と礫が接合している。一例だけ14m離れた礫が接合したものがある。礫が集中している箇所は、長軸6～8m、短軸1.6～2.4m程拡がっている。また熱により赤変した礫も1点のみである。礫の計測値についてもバラツキがみられる。

これらのことから人為的に礫を持ち込んだ可能性は高いが、意図的に配置された状況ではない。本調査区IX a層が北西から南東に下る傾斜地ではあるため、東西の延長に遺物・遺構が拡がる可能性はある。

区	個数・重量 グリッド	個 数 (個)	重 量 (g)
	L 8	1	2,000
B	L 9	11	5,645
	M 8	17	5,992
	M 9	11	4,082
	N 8	5	528
	N 9	1	7,200
	O 7	5	5,733
	O 8	11	16,018
	総 計	62	47,198

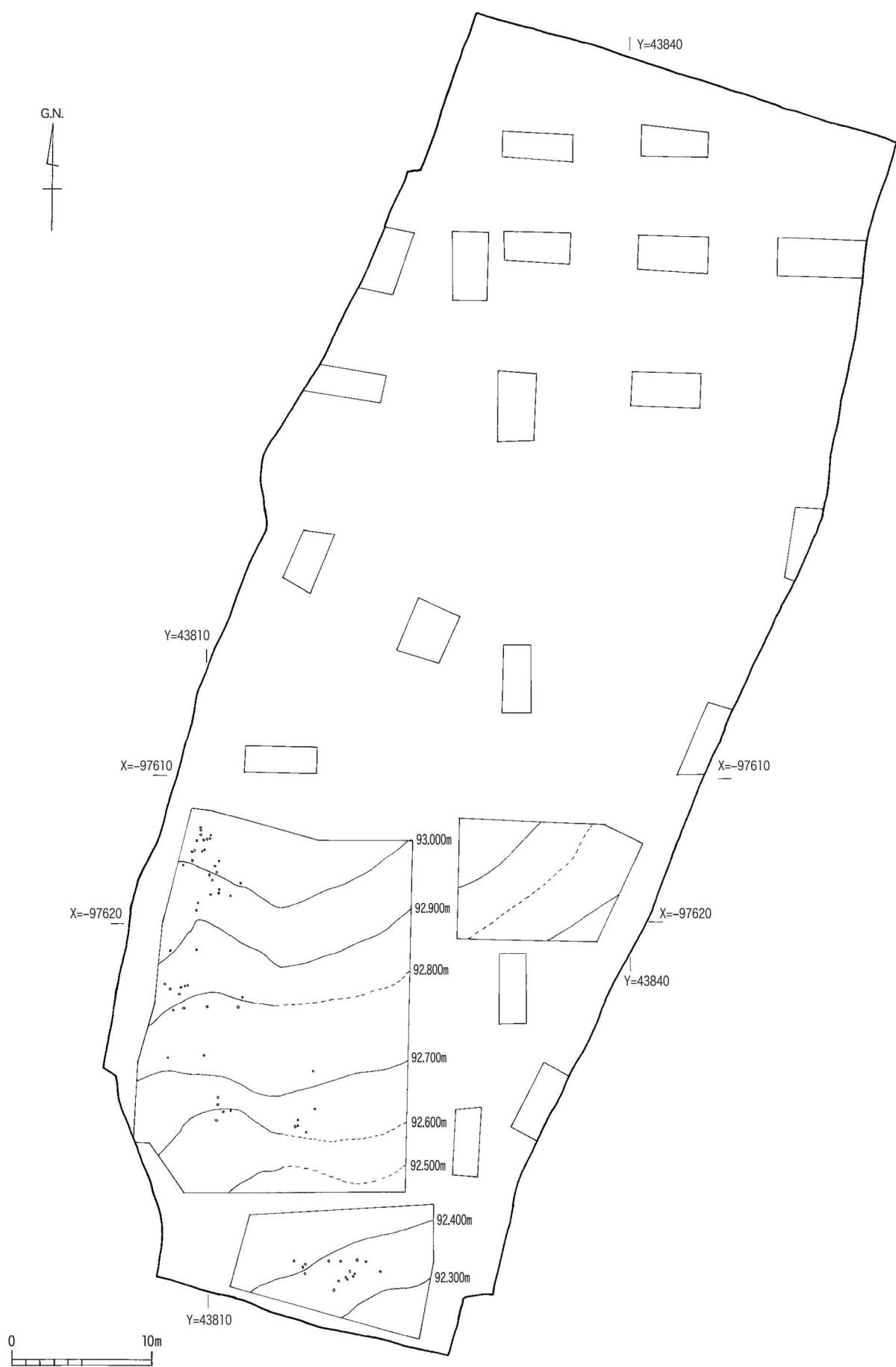
表2 第1文化層グリッド別の個数と重量

区	礫の種類	個 数 (個)	礫の割合 (%)	赤化度 (%)	付着物
B	円 磫	6	9.7	0	なし
	亜円礫	24	38.7	0	なし
	角 磫	1	1.6	0	なし
	亜角礫	31	50.0	0	なし
	総 計	62	100.0	0	

表3 第1文化層 磫組成表1

区	石材 礫の種類	ホルン フェルス	尾 鈴 山 酸 性 岩	砂 岩	頁 岩	チャート	流 紋 岩	石英斑岩	総 計
B	円 磫	4				1		1	6
	亜円礫	21	1	1			1		24
	角 磫	1							1
	亜角礫	25	3	1	1			1	31
	総 計	51	4	2	1	1	1	2	62

表4 第1文化層 磫組成表2



第13図 第一文化層調査範囲及び出土礫分布図 ( $S = 1/400$ )

注記番号	区	グリッド	層	種類	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
9001	B	O8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	11.1	13.5	5	787	-97645.5	43815.9	92.186	
9002	B	O8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	7.7	6.3	5.7	368	-97644.9	43816.74	92.164	
9003	B	O8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	20	13.4	8	1306	-97644.4	43816.7	92.206	
9004	B	O8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	14.8	11.1	9.6	2200	-97644.3	43816.75	92.189	
9006	B	O8	IXa	亜角礫	尾鈴山系酸性岩	22	14.7	8.3	3042	-97644	43818.5	92.21	
9007	B	O8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	14.4	11.1	8.2	1968	-97644.1	43819.3	92.221	
9008	B	O8	IXa	円 磨	ホルンフェルス	17.3	18.4	9.2	4000	-97646.1	43818.8	92.154	
9009	B	O8	IXa	亜角礫	尾鈴山系酸性岩	12.9	6	5.3	432	-97645.4	43819.18	92.179	
9010	B	O8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	10.2	9	6.6	394	-97645.3	43819.6	92.199	
9011	B	O8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	12.6	9.4	4.3	346	-97645.2	43819.67	92.202	
9012	B	O7	IXa	亜角礫	尾鈴山系酸性岩	15.3	11.8	7.3	1070	-97645.1	43810.12	92.223	
9013	B	O7	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	5.9	2.9	3.3	51	-97644.9	43810.3	92.422	
9014	B	O8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	12.5	8.9	8.3	1175	-97643.9	43819.94	92.22	
9015	B	O7	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	16.7	14.4	8.5	2482	-97643.9	43810.4	92.229	
9016	B	O7	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	16	11.2	7.4	1492	-97644	43811.06	92.267	
9017	B	O7	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	13.2	9.1	7.8	638	-97644.6	43812.06	92.059	
9018	B	N8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	7.1	4.7	4.2	169.1	-97629.9	43815.8	91.713	
9019	B	N8	IXa	亜円礫	砂岩	4.8	5.8	4.5	111.9	-97630	43815.8	91.74	
9020	B	N8	IXa	円 磨	ホルンフェルス	5.6	5.1	4.7	201.4	-97630.4	43816.52	91.738	
9022	B	N8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	3.7	3	0.9	12	-97630.9	43816.34	92.518	
9023	B	N8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	5	2.7	2.5	34	-97631.7	43815.2	91.763	
9025	B	L8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	17.8	11.1	8.7	2000	-97619.5	43816.68	92.847	
9026	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	13.8	8.1	7.7	1094	-97620.1	43817.45	92.842	
9027	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	11.6	10.6	5.3	871.1	-97613.4	43808.7	93.093	
9028	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	10.5	12.4	9	1597	-97613.6	43808.68	93.065	
9029	B	L9	IXa	円 磨	ホルンフェルス	5.2	4.9	3.2	106.7	-97614	43808.71	93.059	
9030	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	10.6	5.4	4.4	255	-97614.3	43808.85	93.061	
9031	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	6.5	3.5	3.9	95	-97615.1	43808.4	93.028	
9032	B	L9	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	12.2	10.4	6.6	997	-97615.1	43808.84	93.047	
9033	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	5.5	7.4	7.9	402.4	-97615	43808.93	93.041	
9034	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	5.4	4.6	3.3	85	-97614.2	43809.3	93.078	
9035	B	L9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	6.1	5.7	4.3	223.8	-97614.1	43809.43	93.053	
9036	B	L9	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	11.2	9.2	6.7	874	-97614.1	43809.4	93.019	
9037	B	L9	IXa	亜角礫	砂岩	5.7	5	4	137.5	-97614.2	43809.53	93.041	
9038	B	M9	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	9	5.7	3.8	163	-97625.8	43809.82	93.044	熱による赤化
9039	B	M9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	5.5	5.6	3.3	80.2	-97626.1	43809.15	93.044	
9041	B	M8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	4.7	2.6	2.5	22	-97626.3	43811.33	93.033	
9042	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	6.6	5.5	5.8	260	-97626.7	43811.48	92.988	
9043	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	7.3	5.9	4.7	254.3	-97626.8	43811	92.999	
9044	B	M8	IXa	角 磨	ホルンフェルス	3.3	2.8	1.8	18.8	-97627.3	43811.13	93.033	
9046	B	M8	IXa	亜角礫	頁岩	5.4	5.1	4.6	191.8	-97628.3	43811.03	92.951	
9047	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	10.6	5.1	2.3	129	-97627.4	43812.46	92.963	
9048	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	4	3.5	1.6	28.1	-97628.8	43813.18	92.987	
9049	B	M8	IXa	円 磨	チャート	7.7	5.5	3.7	223.8	-97629.3	43810.15	92.918	
9051	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	4	3.4	1.1	12	-97630.5	43809.83	92.768	
9052	B	M8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	15.1	6.8	5.2	696	-97625.5	43812.24	92.748	
9053	B	M9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	13.8	4.9	6.5	467	-97626.2	43811.96	92.723	
9055	B	M9	IXa	亜角礫	石英斑岩	7.2	4.9	4.4	193.1	-97626.2	43809.7	92.742	
9056	B	M9	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	14.3	11.5	7	1340	-97626.1	43808.32	92.774	
9058	B	M9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	11.1	7.9	6.5	639	-97625.3	43807.74	92.737	
9060	B	M9	IXa	亜円礫	流紋岩	5.1	5.1	4	217.2	-97624.5	43806.71	92.752	
9061	B	M9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	8	3.4	3.4	123	-97626.4	43807.32	92.742	
9063	B	M9	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	11.3	9.2	3.8	293	-97629.6	43809.54	92.623	
9064	B	M9	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	10.6	8.5	2.4	211	-97629.6	43809.56	92.618	
9065	B	M9	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	12	6.9	4	355.7	-97633.4	43808.15	92.552	
9066	B	N9	IXa	亜円礫	尾鈴山系酸性岩	26.5	21.4	10.5	7200	-97633.3	43808.4	92.528	
9067	B	M8	IXa	円 磨	ホルンフェルス	12.5	8	5.8	449	-97634.2	43810.43	92.458	
9068	B	M8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	17.7	10	5.6	1440	-97633.7	43810.86	92.464	
9070	B	M8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	6	5.3	3.1	160	-97633.4	43811.25	92.446	
9071	B	M8	IXa	亜円礫	ホルンフェルス	9.6	5.9	4.2	367.4	-97633	43810.5	92.472	
9072	B	M8	IXa	亜角礫	ホルンフェルス	5.9	5	2.8	116.6	-97632.6	43810.52	92.508	
9073	B	M8	IXa	亜円礫	石英斑岩	16	7.7	2.7	529	-97632.5	43810.51	92.509	

表5 第1文化層出土礫計測表

## (2) 遺物

### 石 器

ここではB区姶良丹沢火山灰層下のIXa層(MB2)で出土した磨石・敲石・剥片・調整剥片について扱う。磨石・敲石の分類については、第3節2「遺構・遺物の分類」(2)を、出土地点は第17~22図を参照されたい。

#### 調整剥片 (第23図1)

1は緑色チャートの縦長剥片を素材としている。L8グリッドで出土している。上面に加工を施し短小な横長の形状を呈している。加工目的は不明であるが、加工を施した痕跡が見受けられるため調整剥片とした。

#### 剥 片 (第23図2~11)

2~5はチャート製で、2・3・5は緑色、4は灰色を呈す。緑色チャートはIXa層でのみ出土している。出土地点はM8・L8・L9グリッドである。6・7・8・9は水晶製剥片である。

器種	個数	総重量(g)
調整剥片	1	1.5
剥片	33	927
敲石	6	1,002.4
磨石	3	853.8
总数	43	2784.7

表6 第1文化層出土個体数および重量

10は素材剥片となり得る縦長剥片である。表面上部、裏面左側縁部に加工を施している。IXa層では、他の層で多く出土している頁岩・流紋岩製の石器がほとんど出土していない。ホルンフェルスは20点出土している(表8参照)。しかし砂岩系ホルンフェルスが多く、素材剥片となり得る剥片はほとんど出土しなかった。石器集中区は存在しなかった。

#### 磨石・敲石 (第23図12)

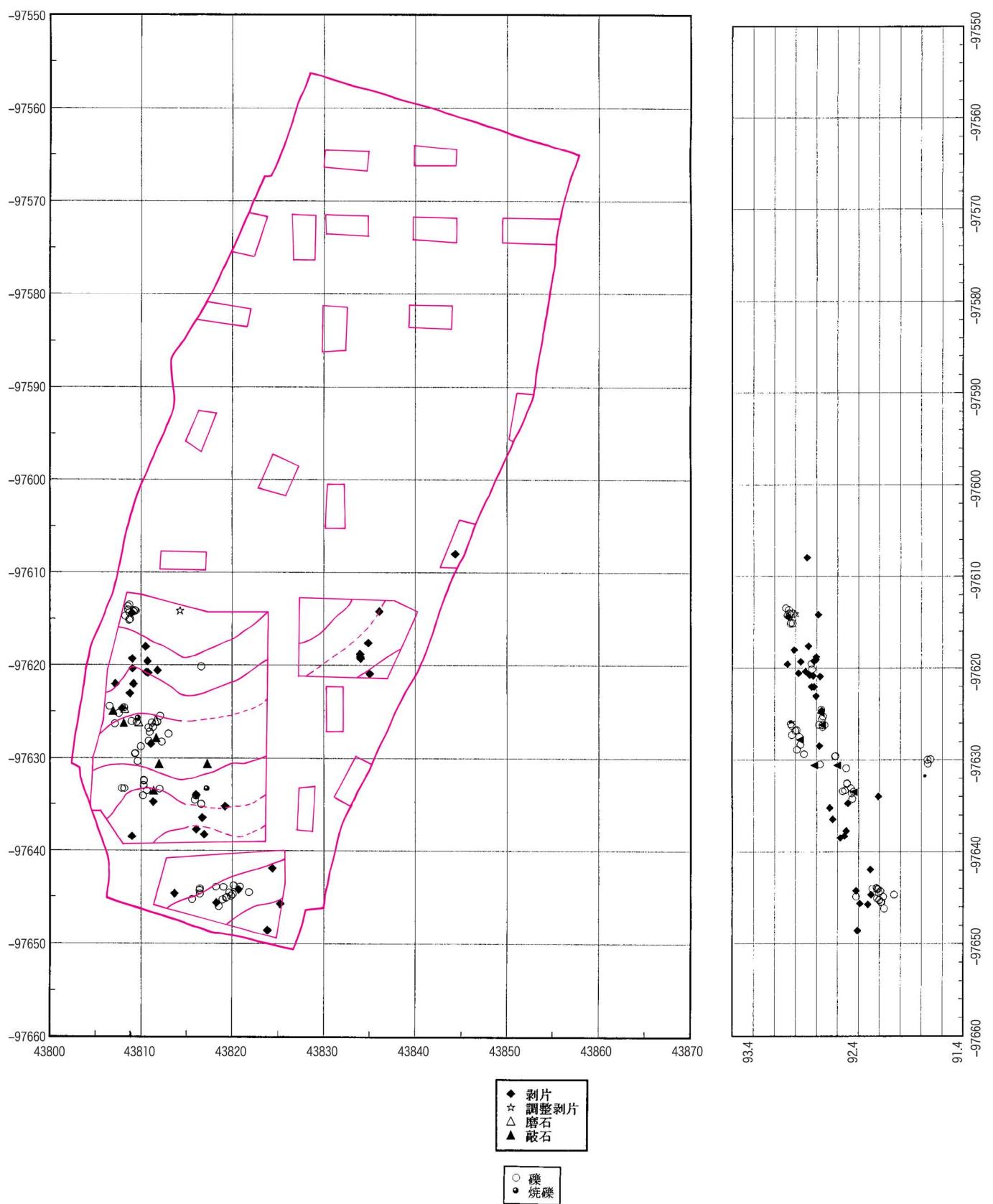
M8グリッドで出土した。近辺で緑色チャート剥片が出土している。III類に属する。棒状円礫を使用している。長軸端部に敲打痕を部分的に残す。石材はホルンフェルスである。大変脆い石材を使用しているため、固くない物を加工することを目的に使用していたと考えられる。なお、磨石は明確な使用痕が確認できる製品が出土しなかったため、実測図は掲載していない。IXa層での磨石・敲石の石材は、全部砂岩系ホルンフェルスあるいは砂岩である(表8参照)。

分類	石材	個数 (個)	総重量 (g)	備考
II類	ホルンフェルス	3	853.8	
III類	ホルンフェルス	4	768.6	
	砂岩	2	233.8	
IV類	ホルンフェルス 流紋岩・頁岩・ 砂岩等	32	3886.4	一括遺物含む
総計		41	5912.6	

表7 第1文化層磨石・敲石統計

区	石材 器種	ホルン フェルス	砂 岩	流 纹 岩	黒曜石	水 晶	頁 岩	チャート	総 計
B	調整剥片							1	1
	磨石	3							3
	敲石	4	2						6
	剥片	13		5	1	4	6	4	33
	総計	20	2	5	1	4	6	5	43

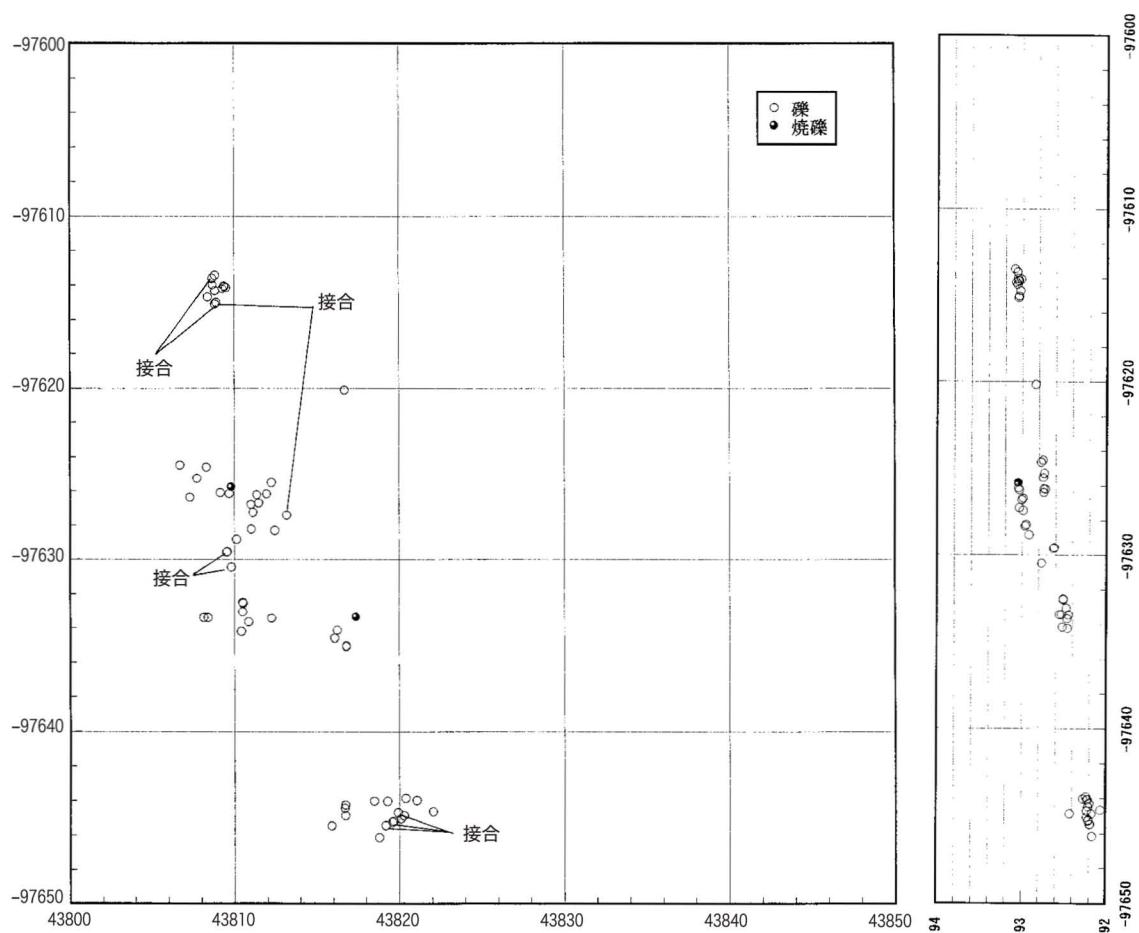
表8 第1文化層石器組成表



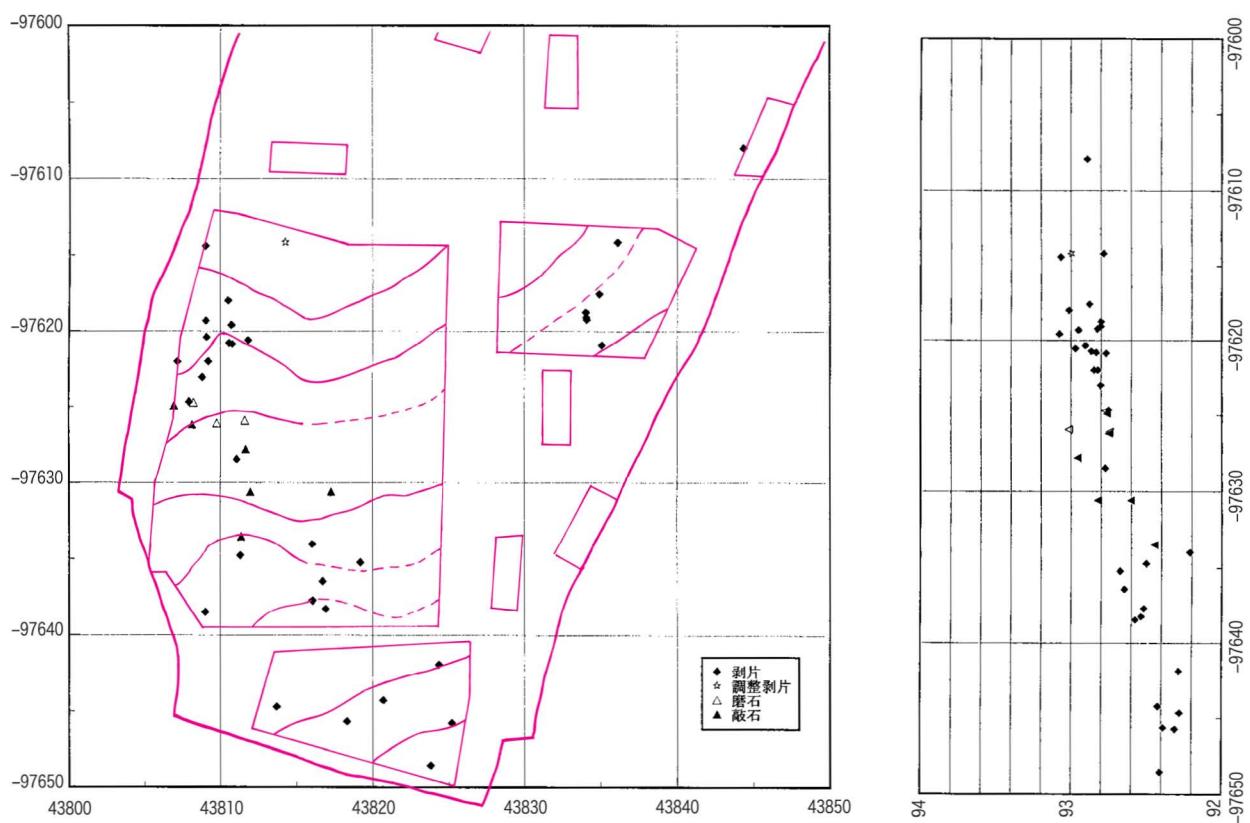
第14図 第1文化層調査範囲及び遺物・礫分布図



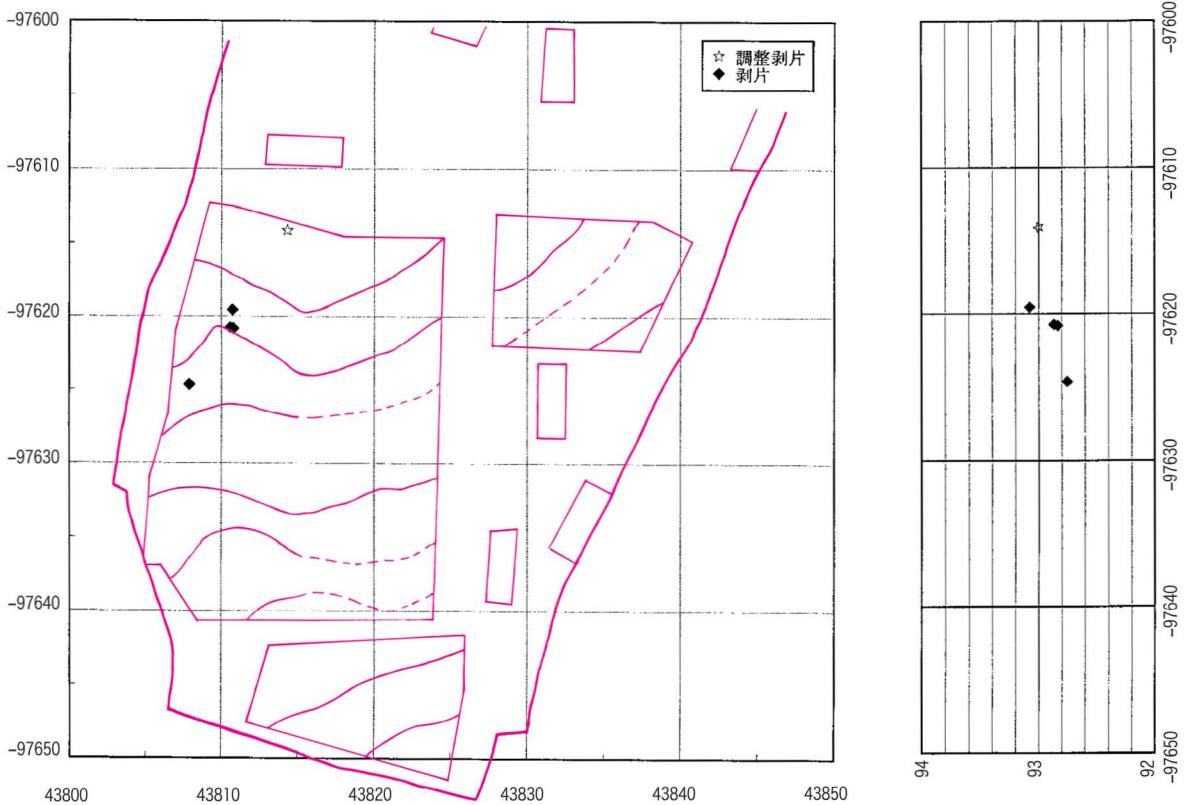
第15図 第1文化層礫分布図



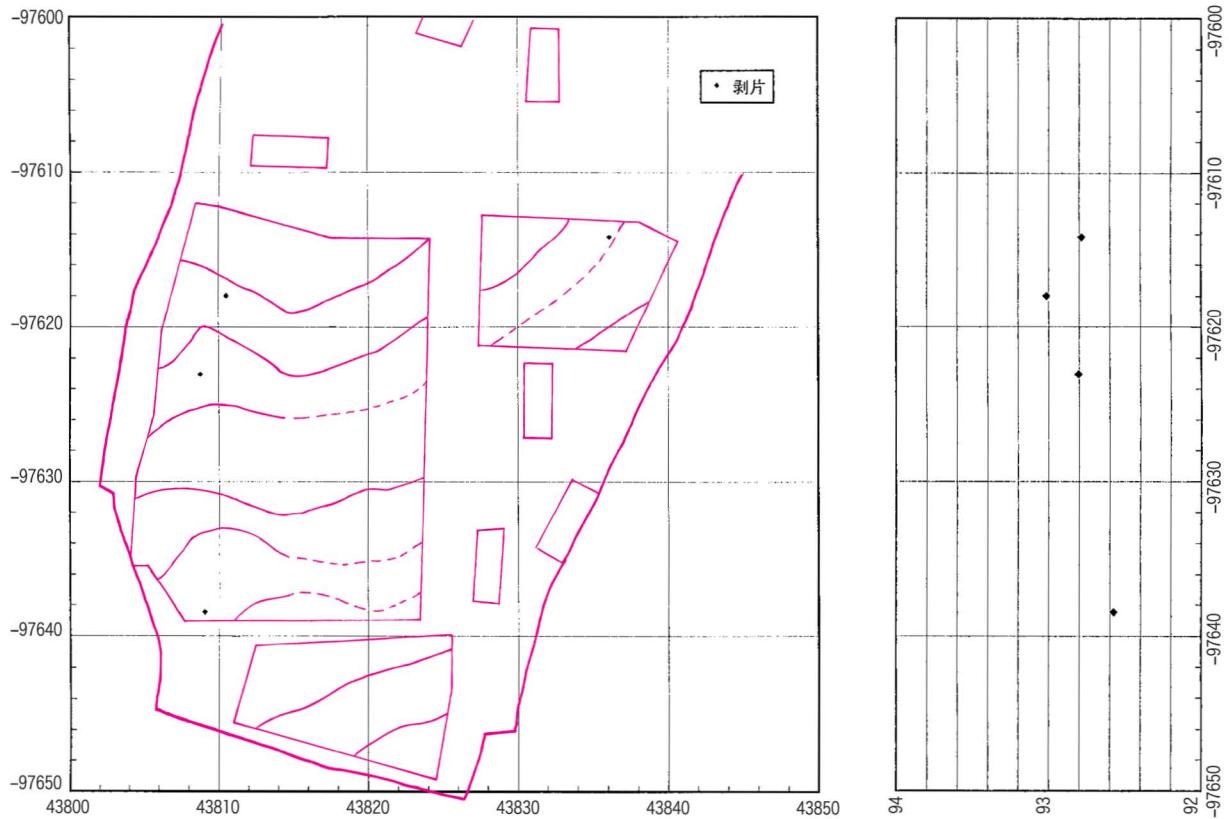
第16図 第1文化層出土礫接合状況図



第17図 第1文化層遺物分布図



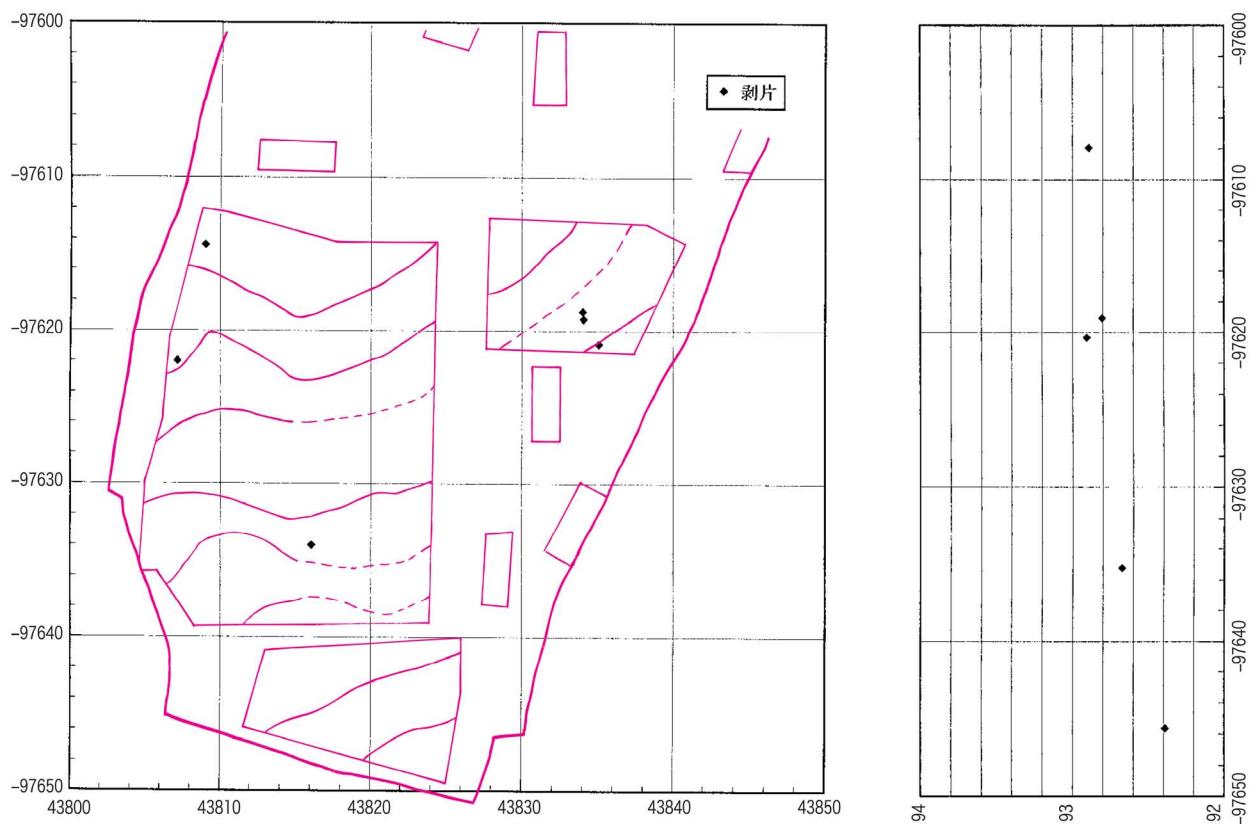
第18図 第1文化層チャート製遺物分布図



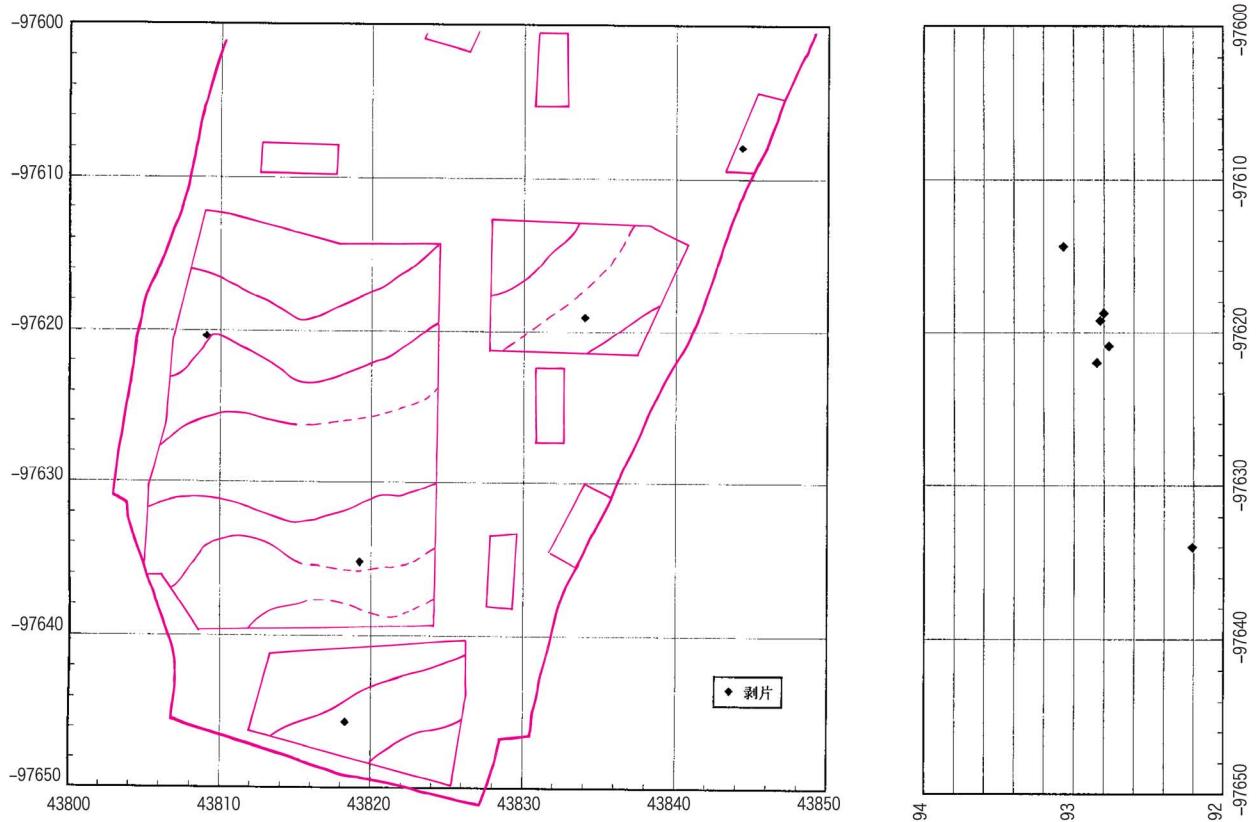
第19図 第1文化層水晶製遺物分布図



第20図 第1文化層ホルンフェルス製遺物分布図



第21図 第1文化層頁岩製遺物分布図



第22図 第1文化層流紋岩製遺物分布図



第23図 第1文化層出土遺物 (1~11 S=2/3 12 S=1/2)

### (3) 小 結

本遺跡IXa層は北西から南東方向にかけて緩やかに下って堆積している。礫の接合の項目で述べたが、ほとんどが隣接する礫同士の接合である現状を踏まえ礫・石器の位置は、ほぼ原型を留めていると思われる。IXa層で出土した礫は人為的に持ち込まれた礫と考えられ、礫の入手経路については、当時の川の大きさ・位置は不明であるが、段丘礫、河原石を使用していたと思われる。なお、礫の熱による赤変や掘り込み等は確認できなかった。が、磨石・敲石が出土し、さらにその近辺より剥片が数点出土している点から人々がわずかな時間であっても生活を営

んだ可能性は高い。また、緑色チャートについては近隣の牧内第1遺跡、音明寺第1遺跡の暗褐色ローム(MB2)でも出土しており、他の層から出土していないことから、この地域では、この時期に限定され使用されていた石材の可能性がある。今後近隣の遺跡の調査報告が進む中で少しづつ解明できると思われる。水晶についても同様である。

自然科学分析(植物桂酸体)によるとこの当時の植生から温暖な気候であった可能性が高く、人の狩猟活動は盛んであったと考えられる。したがって周辺の遺構・遺物の拡がりについては、今後の発掘調査に期待したい。

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
1	484	B	L8	IXa	石器	調整剥片	緑色チャート	2.33	0.7	0.63	1.5	-97614.153	43814.286	93	
2	485	B	M8	IXa	石器	剥片	緑色チャート	3.7	4.2	1.1	11.4	-97620.839	43810.771	92.834	
3	497	B	M9	IXa	石器	剥片	緑色チャート	3	3.42	0.65	5.9	-97624.658	43807.901	92.752	
4	502	B	L8	IXa	石器	剥片	緑色チャート	4.6	2.7	1.7	12.5	-97619.58	43810.728	93.078	
5	486	B	M8	IXa	石器	剥片	緑色チャート	2.1	1.6	0.55	1.2	-97620.767	43810.565	92.866	
6	494	B	L8	IXa	石器	剥片	水晶	2.7	2.35	1	4.9	-97617.986	43810.521	93.015	
7	501	B	K6	IXa	石器	剥片	水晶	1.4	1.75	0.55	1	-97614.175	43836.098	92.785	
8	487	B	N9	IXa	石器	剥片	水晶	1.35	0.7	0.55	0.5	-97638.457	43809.01	92.575	
9	477	B	M9	IXa	石器	剥片	水晶	1.65	1.6	0.7	1.4	-97623.026	43808.78	92.805	
10	510	B	L9	IXa	石器	剥片	頁岩	7	5.3	2.2	58	-97614.397	43809.023	93.069	
11	461	B	K5	IXa	石器	剥片	流紋岩	5.2	3.72	1	7.9	-97607.953	43844.339	92.891	
12	9050	B	N8	IXa	石器	敲石	ホルンフェルス	12.6	5.2	4	350.7	-97630.6	43812	92.823	
	500	B	M6	IXa	石器	剥片	頁岩	4.5	3.1	1.5	25.1	-97620.91	43835.056	92.768	
	512	B	M9	IXa	石器	剥片	頁岩	5	4.3	2.2	39.1	-97622.007	43807.151	92.848	
	514	B	L6	IXa	石器	剥片	頁岩	3.5	2.4	1.1	12.2	-97619.232	43834.06	92.826	
	516	B	L6	IXa	石器	剥片	頁岩	4.6	4.8	1.3	33.5	-97618.753	43834.003	92.802	
	9005	B	N7	IXa	石器	剥片	頁岩	7.4	6.7	1.9	141.9	-97634	43816.06	92.212	
	459	B	M8	IXa	石器	剥片	黒曜石	1.1	0.8	0.5	0.1未	-97620.58	43811.813	92.972	
	9045	B	M8	IXa	石器	敲石	砂岩	6.7	3.9	3.3	89.3	-97627.8	43811.66	92.958	
	9069	B	M9	IXa	石器	敲石	砂岩	7.3	4	4	144.5	-97633.5	43811.4	92.446	
	465	B	N8	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	5.5	4.4	1.4	30.6	-97634.745	43811.343	92.502	
	488	B	O8	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	5.6	4.9	1.3	17.8	-97644.674	43813.698	92.281	
	489	B	O7	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	6.1	4	1.3	24.8	-97641.896	43824.355	92.287	
	493	B	O7	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	6.6	4.9	2.3	43.3	-97645.744	43825.213	92.311	
	496	B	P7	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	8.5	5.6	2.4	94.2	-97648.553	43823.809	92.411	
	498	B	M9	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	7	4.6	3.3	158.7	-97622.006	43809.183	92.823	
	503	B	N8	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	4.3	2.6	1.4	13.8	-97636.438	43816.728	92.647	
	504	B	O7	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	4.1	3.9	0.8	9.7	-97644.239	43820.687	92.424	
	505	B	N8	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	4.3	2.9	0.6	9.4	-97637.704	43816.068	92.519	
	506	B	N8	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	5.6	1.7	1.3	13.1	-97638.241	43816.928	92.536	
	509	B	L6	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	3	2.5	0.6	6.5	-97617.56	43834.889	92.878	
	511	B	L9	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	6.2	4	1.8	45.6	-97619.306	43809.043	92.952	
	513	B	M8	IXa	石器	剥片	ホルンフェルス	3.6	2.1	0.6	4.2	-97628.465	43811.075	92.773	
	9024	B	M7	IXa	石器	敲石	ホルンフェルス	6.2	5	2.3	84.5	-97630.6	43817.3	92.603	
	9040	B	M8	IXa	石器	磨石	ホルンフェルス	9.3	5.6	3.1	224.7	-97625.94	43811.6	93.017	
	9054	B	M9	IXa	石器	磨石	ホルンフェルス	7.9	7.4	3	252.5	-97626.1	43809.74	92.742	
	9057	B	M9	IXa	石器	磨石	ホルンフェルス	10.1	5.9	5.1	376.6	-97624.7	43808.2	92.773	
	9059	B	M9	IXa	石器	敲石	ホルンフェルス	6.7	5.6	4.1	201.3	-97624.9	43806.9	92.761	
	9062	B	M9	IXa	石器	敲石	ホルンフェルス	8	4	3.2	132.1	-97626.2	43808.1	92.747	
	436	B	O8	IXa	石器	剥片	流紋岩	8.4	4.4	1.5	33	-97645.645	43818.295	92.389	
	476	B	M9	IXa	石器	剥片	流紋岩	4.6	6.2	1.8	47.6	-97620.375	43809.072	92.906	
	515	B	L6	IXa	石器	剥片	流紋岩	1.7	1.6	0.6	1.9	-97619.073	43834.029	92.805	
	517	B	N8	IXa	石器	剥片	流紋岩	7.7	2.55	1.3	16.2	-97635.223	43819.216	92.675	

表9 第1文化層出土遺物計測表

## 第5節 第2文化層の遺構と遺物

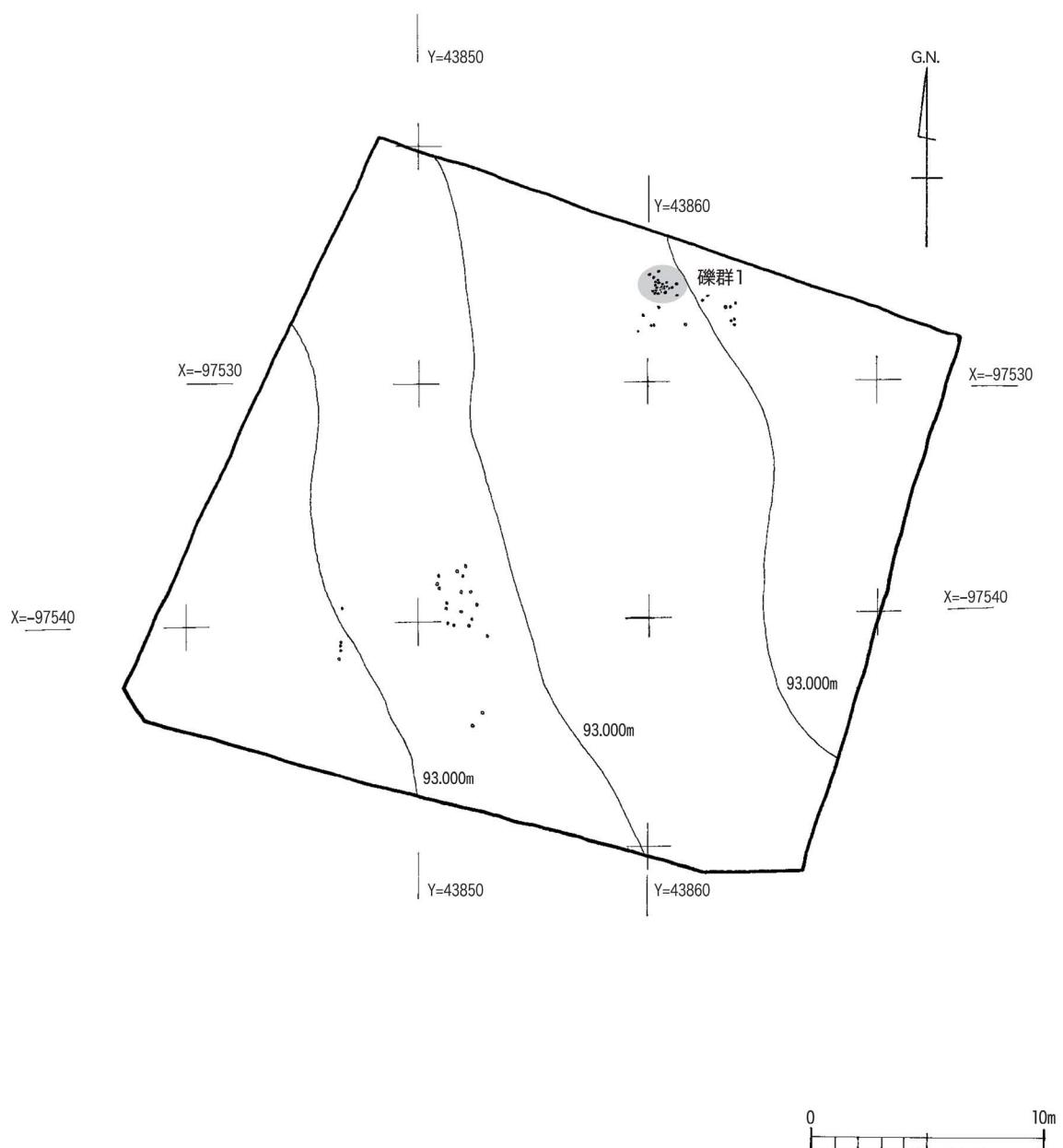
第2文化層では下記の特徴が見られた。

- 小林軽石降下以前の層であり、遺物が散漫な出土状況であるが、姶良Tn火山灰層直上10~15cmより局的に密に出土する。
- 散礫と遺物が混在しており、接合資料も出土している。
- 散礫の中に礫が集中し、火による赤化した礫、ナイフ形石器等の製品が数多く出土し、人々の生活

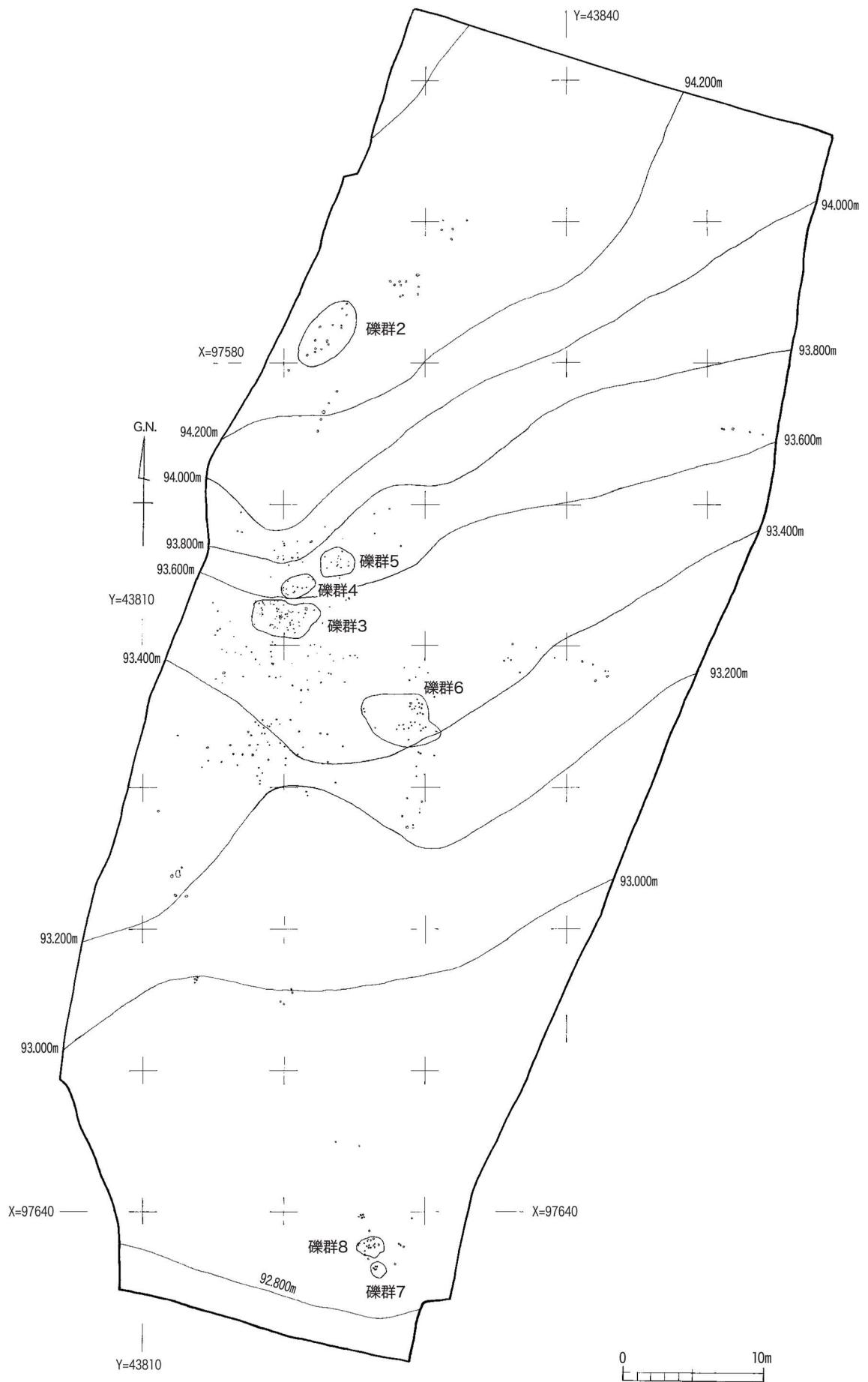
した形跡が見られる(表26)。

- 礫・遺物の出土地点が緩やかに下る傾斜に沿うように拡がりを見せている。

この特徴を受け、この遺物包含層のA・B区の礫については、動いてる可能性は否定できないながらも、散礫の中に特に礫が集中している8箇所については、生活痕が残る箇所と判断し、礫群として取り扱う。



第24図 第2文化層A区遺構分布図



第25図 第2文化層B区遺構分布図 ( $S = 1/4000$ )

第2文化層では後述する礫群3～6とその付近の礫を除いて礫を持ち帰っていない。したがってそれ以外の礫については、調査中に知り得たデータを基に記述する。

### (1) 遺構

A区では北部55個、南部で23個の礫を検出した。構成礫としては砂岩・ホルンフェルスが多く見られた。礫が南北離れた箇所で検出されたため、その間を掘り下げたが、礫の拡がりは確認できなかった。北部では23個の礫のうち、熱により赤変したと見られる礫が3個検出されたが、まとまりをなさなかつた。グリッド別の礫個数を見るとC3グリッドに礫が1番集中している。

B区では約400個の礫が出土している。構成礫としてはホルンフェルス、砂岩、尾鈴山酸性岩が多く見られる(表20参照)。礫が出土しているグリッドはH7・J7・J8・K7・K8である。標高93～94m付近である。ここは熱により赤変した礫が検出されたり、遺物と礫が混在して検出されている。このうち3ブロックについては人類の生活痕の残る可能性がある場所として礫群として取り扱う。

### 礫群1

北部55個の礫のうち、41個の礫がC3～C4グリッドに集中している。礫は南東方向に下る傾斜に沿って展開するが、掘り込みではなく、礫についている付着物も確認できなかった。礫が比較的集中している箇所にある32個のうち16個が赤変して表11礫群1における礫組成表いる。また32個のうち、完形度においてAが5個Bが21個、Cが6個であった(表11参照)。

礫の構成を見ると石材ではホルンフェルス、砂岩が中心である。全体で見ると赤変している礫の割合は47%である。完形度を見るとAランクが8個(全体の19.5%)、Bランクは27個(全体の6.4%)そしてCランクが6個(15.1%)である。

礫群の長軸は390cm短軸280cmである(表24参照)。このうち礫が密集している箇所の長軸は100cm、短軸は90cmである。重量についてはデータがない。

\*礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をC

とする。

区	グリッド	個 数	赤化礫(個)	赤化度(%)	備 考
A	C 3	53	17	32.1	赤化度(%)
	C 4	2			赤化度(%)
	D 4	12	7	25	
	E 4	6			
	D 5	1	1	100	
	E 5	4	2	50	
総 計		78	22	28	

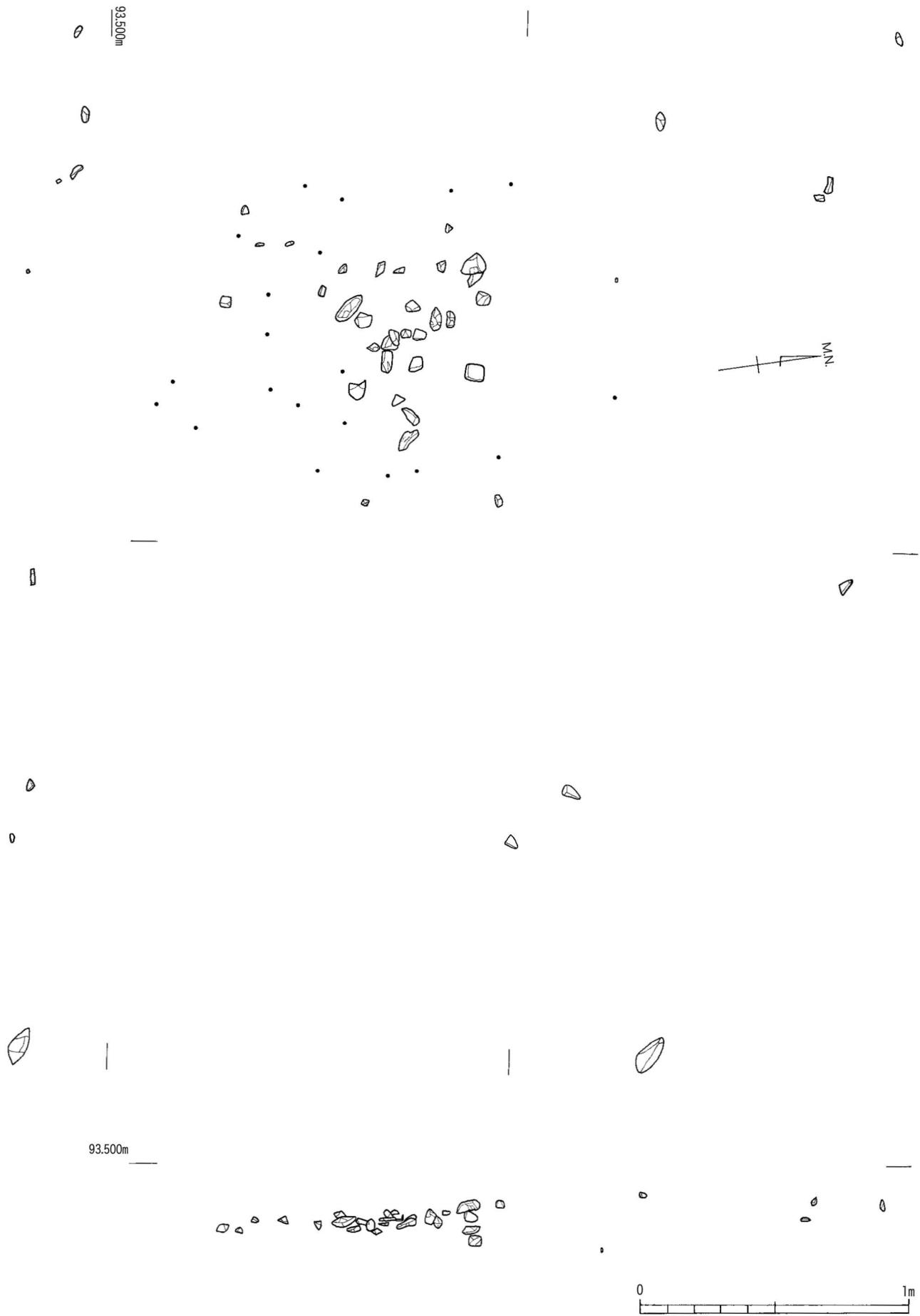
表10 第2文化層グリッド別礫の個数

礫の種類	個 数 (個)	赤化した礫の 個数(個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	0	0	0
亜 圓 級	8	4	50
角 級	9	1	11.1
亜 角 級	24	12	50.0
総 計	41	17	41.5

表11 級群における礫組成表

区	グリッド	個数	赤化礫(個)	赤化度(%)	備 考
B	G 6	2	0	0	
	H 6	3	0	0	
	H 7	24	0	0	
	I 4	5	0	0	
	I 7	6	0	0	炭化物が点在
	J 7	55	32	58.2	炭化物が点在
	J 8	85	57	67.1	
	K 5	6	0	0	
	K 6	9	3	0	
	K 7	70	44	62.9	
	K 8	68	32	47.1	
	L 7	11	0	0	
	L 8	6	3	50	
	M 7	2	0	0	
	M 8	6	0	0	
	N 7	2	0	0	
	O 7	34	8	23.5	
総 計		394	176	44.7	

表12 第2文化層グリッド別礫個数



第26図 磯群1実測図 ( $S = 1/20$ )

## 礫群2

H 7 グリッドに24個の礫が集中している。標高92mの比較的平坦な箇所に位置している。掘り込み、熱により赤変した礫、炭化物は確認できなかった。使用されていた石材は、ホルンフェルス、砂岩である。礫群の長軸は400cm、短軸は300cmとかなり広範囲に分散している。完形度を見るとAランクが1個（全体の6.7%）、Bランクを見ると12個（全体の80%）、Cランク 2個（全体の約1.3%）である。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

## 礫群3

I 7～J 7 グリッドに73個の礫が集中している。標高93.6mの緩やかな傾斜地に位置する。掘り込みは確認できなかった。熱により赤変した礫の集中が見られる箇所がある。礫群の長軸は440cm、短軸は260cmと広範囲に分散している。石材はホルンフェルス、砂岩、尾鈴山酸性岩等である。完形度を見るとAランク 4点（全体の約6.1%）、Bランク47点（全体の約71.2%）、Cランク15点（全体の約22.7%）である。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

## 礫群4

I 7～J 7 グリッドに14個の礫が出土した。標高93.6mの緩やかな傾斜地に位置する。掘り込み炭化物は確認できなかった。熱により赤変した礫が点在している。一部隣接したものもあるが、まとまりをなすほどはない。礫群の長軸は180cm、短軸は、120cmである。石材は、ホルンフェルスと砂岩である。完形度を見るとAランク 1点（全体の約7.1%）、Bランク 9点（全体の64.3%）、Cランク 4点（28.6%）である。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

礫の種類	個 数 (個)	赤化した礫の 個数 (個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	0	0	0
亜 圓 級	3	0	0
角 級	5	0	0
亜 角 級	7	0	0
総 計	15	0	0

表13 級群2における礫組成表

礫の種類	個 数 (個)	赤化した礫の 個数 (個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	6	5	83.3
亜 圓 級	18	14	77.8
角 級	15	11	73.3
亜 角 級	27	18	66.7
総 計	66	48	72.7

表14 級群3における礫組成表

礫の種類	個 数 (個)	赤化した礫の 個数 (個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	0	0	0
亜 圓 級	2	1	50.0
角 級	6	3	50.0
亜 角 級	5	2	40.0
総 計	14	6	42.9

表15 級群4における礫組成表

礫の種類	個 数 (個)	赤化した礫の 個数 (個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	1	0	0
亜 圓 級	3	0	0
角 級	5	0	0
亜 角 級	5	0	0
総 計	14	0	0

表16 級群5における礫組成表

## 礫群5

I 7 グリッドに14個の礫が検出され、標高93.6mの緩やかな傾斜地に位置する。掘り込み、炭化物、熱により赤変した礫は確認できなかった。礫は長軸は175cm、短軸は150cmの範囲に拡がる。石材はホルンフェルスと石英斑岩、完形度はBランク4個（全体の28.6%）Cランク10個（全体の71.4%）出土している。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

## 礫群6

H 8 ~ I 8 グリッドに36個の礫が検出された。標高93.4mの緩やかな傾斜地に位置する。掘り込み、炭化物、熱により赤変した礫は確認できなかった。長軸175cm、短軸150cmに拡がる。石材はホルンフェルスと石英斑岩、完形度はAランク2個（全体の5.6%）Bランク24個（全体の66.7%）Cランク10個（全体の27.8%）出土している。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

各礫群ごとの個々の礫の計測値の平均を比較してみた（表18参照）。その結果礫群3、礫群6の値と比較して礫群4、礫群5の値は小さい。構成礫については、ホルンフェルスが圧倒的に多く、砂岩・尾鈴山酸性岩の順である。礫の割面については、熱により赤変したものが一部あるが、明確な遺物はあまりない。接合関係をみると礫群のまとまりを越えて接合関係が見られる。10m以上離れた礫が接合する例もある一方で、隣接する礫が5個前後接合する例もあった。

礫の種類	個数 (個)	赤化した礫の 個数 (個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	5	5	100.0
亜 円 級	11	7	63.6
角 級	5	5	100.0
亜 角 級	15	11	73.3
総 計	36	28	77.8

表17 級群6における礫組成表

遺構名	平均最大長 (cm)	平均最大幅 (cm)	平均最大厚 (cm)	平均重量 (g)
礫群3	6.52	4.52	2.85	191.85
礫群4	4.32	2.85	1.73	18.51
礫群5	5.59	4.16	2.51	59.38
礫群6	6.85	5.23	3.13	202.65

表18 級計測表

遺構名	完形度 ランク	個数 (個)	構成礫におけ る割合(%)
礫群3 (73個)	A	4	6.1
	B	47	71.2
	C	15	28.6
礫群4 (14個)	A	0	0
	B	4	28.6
	C	10	71.4
礫群5 (14個)	A	0	0
	B	4	28.6
	C	10	71.4
礫群6 (36個)	A	2	5.6
	B	24	66.7
	C	10	27.8

表19 級完形度一覧表

区	石材 礫の種類	ホルン フルス	頁 岩	流紋岩	砂 岩	尾鈴山系 酸性岩	石英斑岩	総 計
B	円 級	16	1			1	3	21
	亜 円 級	55		1	8	4		68
	角 級	49			13		3	65
	亜 角 級	109			5	9	5	128
	総 計	229	1	1	26	14	11	282

表20 石材別構成礫組成表

### 礫群7

O 7グリッドで34個の礫を検出した。うち6個の礫が橢円形を描くように検出された。標高92.8mの緩やかな傾斜地で検出された。掘り込み、炭化物、赤変した礫は検出されなかった。使用されている礫はホルンフェルス・尾鈴山酸性岩である。長軸54cm短軸33cmと小ぶりである。完形度を見るとAランクは2個（全体の33.3%）、Bランク4個（全体の66.7%）である。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

### 礫群8

O 7グリッドで34個の礫を検出した。うち17個の礫がまとまって標高92.8mの緩やかな傾斜地で検出された。掘り込み、炭化物、熱により赤変した礫は検出されなかった。使用されている礫は、ホルンフェルス・砂岩・尾鈴山酸性岩である。長軸は153cm、短軸は88cmである。完形度を見るとAランクは3個（全体の17.6%）Bランク14個（全体の82.4%）である。

※礫の種類は円礫、亜円礫、角礫、亜角礫から選んだ。

※完形度については80%以上をA50%以上をB50%未満をCとする。

O 7グリッドの34個の礫は掘り込み、炭化物、熱により赤変した礫も見られず、破碎礫も見られない。接合関係は確認できなかったが、完形度の高い礫が多い。礫のまとまりも比較的密な状態であるが、明確な生活痕は確認できなかった。なお、礫のデータについては、表24「礫群計測表」を参照されたい。

礫の種類	個数 (個)	赤化した礫 の個数(個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	0	0	0
亜 円 級	3	0	0
角 級	0	0	0
亜 角 級	3	0	0
総 計	6	0	0

表21 級群7における礫組成表

礫の種類	個数 (個)	赤化した礫 の個数(個)	赤化した礫 の割合(%)
円 級	0	0	0
亜 円 級	6	0	0
角 級	0	0	0
亜 角 級	11	0	0
総 計	17	0	0

表22 級群8における礫組成表

遺構名	完形度 ランク	個数 (個)	構成 級における割合(%)
礫群7 (6個)	A	2	33.3
	B	4	66.7
	C	0	0
礫群8 (17個)	A	3	17.6
	B	14	82.4
	C	0	0

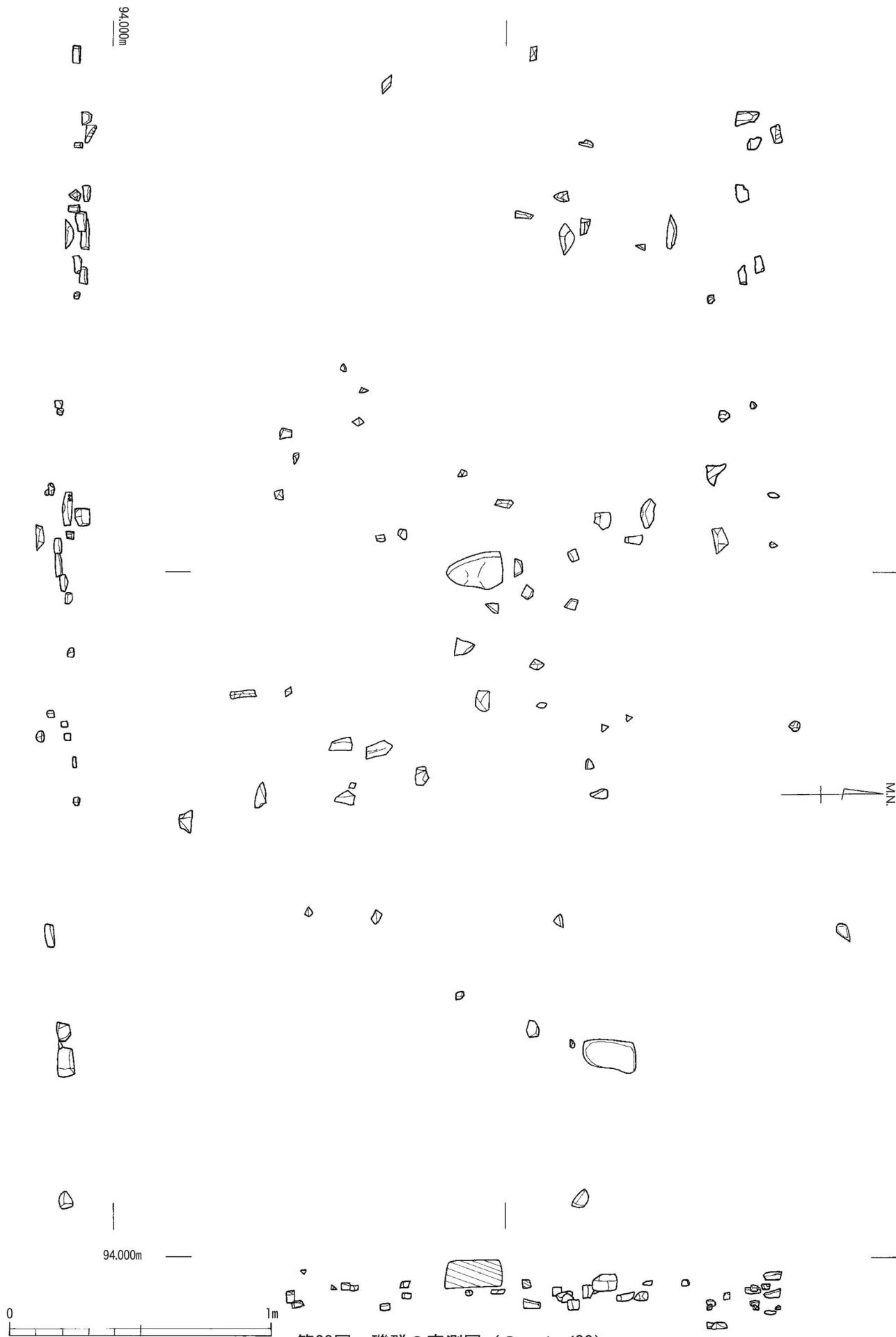
表23 級完形度一覧表

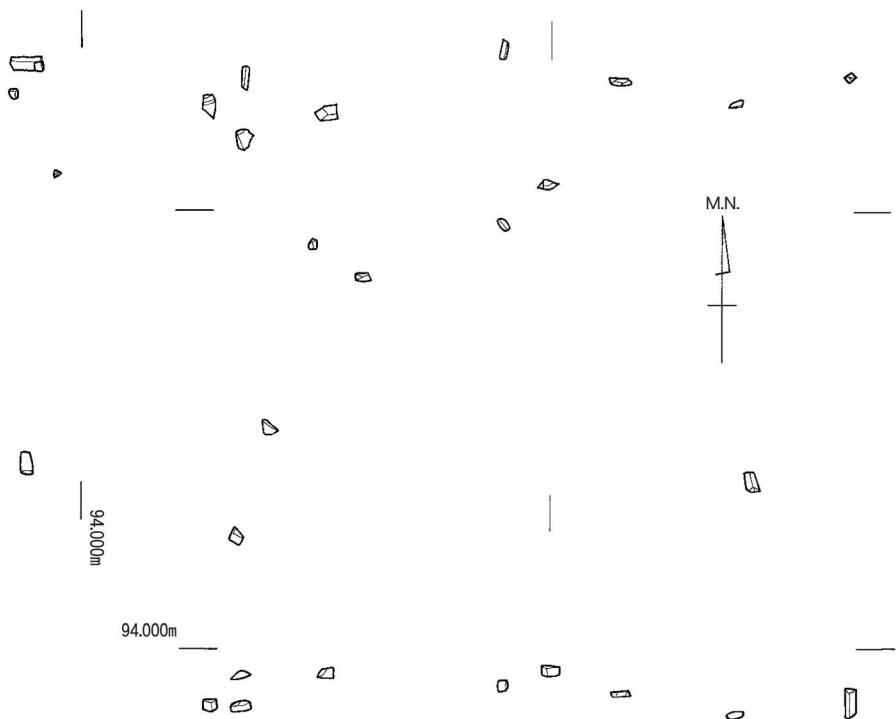
遺構番号	グリッド名	検出面	長径 (cm)	短径 (cm)	掘込の 有無	個数 (個)	円礫 (個)	亜円礫 (個)	角礫 (個)	亜角礫 (個)	赤化度 (%)	炭化物 の有無	備考
礫群1	C3～C4	VIIa層	390	280	なし	41	0	8	9	24	41.5	有り	
礫群2	H 7	VIIa層	400	300	なし	15	0	3	5	7	0	なし	
礫群3	I7～J7	VIIa層	440	260	なし	66	6	18	15	27	72.7	有り	
礫群4	I7～J7	VIIa層	180	120	なし	13	0	2	6	5	42.9	なし	
礫群5	I 7	VIIa層	175	150	なし	14	1	3	5	5	0	なし	
礫群6	H8～I8	VIIa層	425	196	なし	36	5	11	5	15	77.8	なし	
礫群7	O 7	VIIa層	54	33	なし	6	0	3	0	3	0	なし	
礫群8	O 7	VIIa層	158	88	なし	17	3	5	2	7	0	なし	

表24 級群計測表

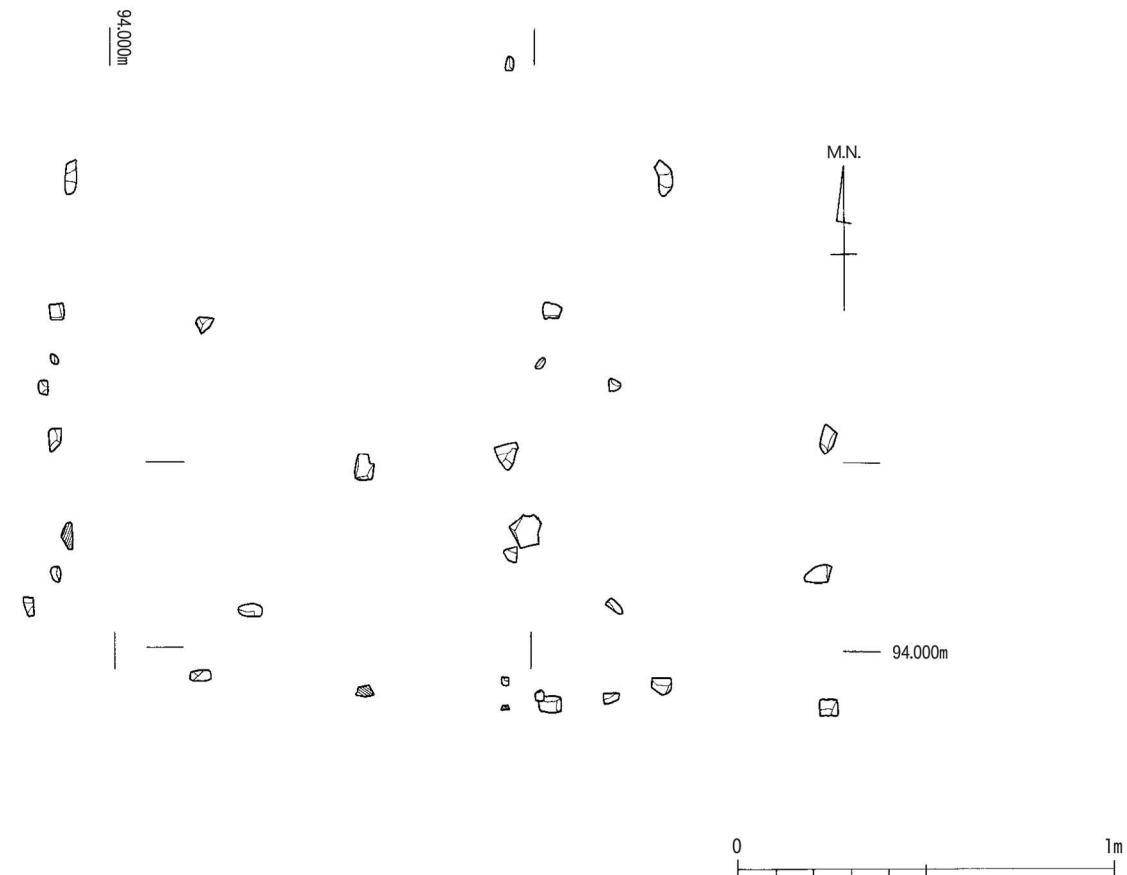


第27図 碓群2実測図 ( $S = 1/20$ )

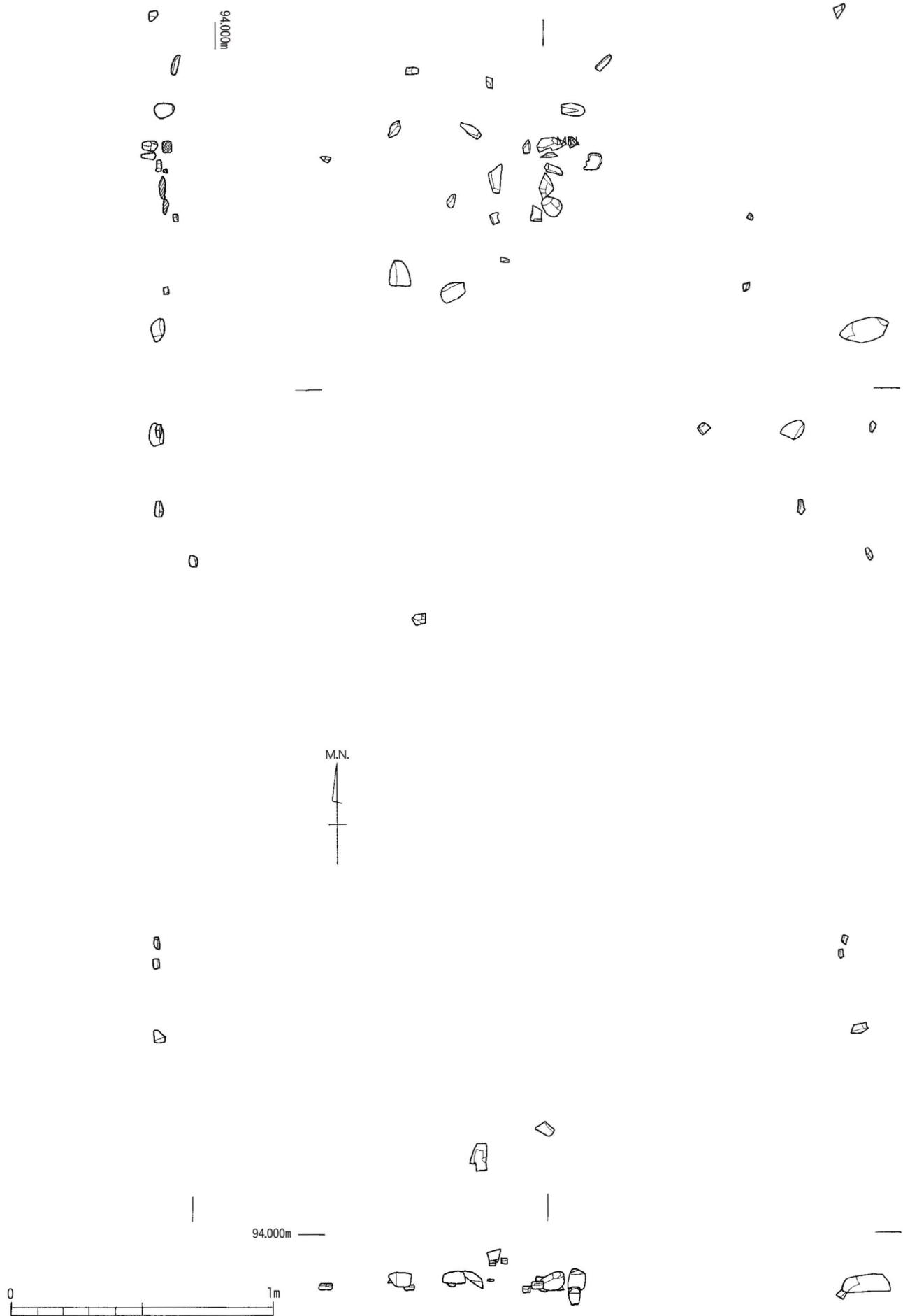




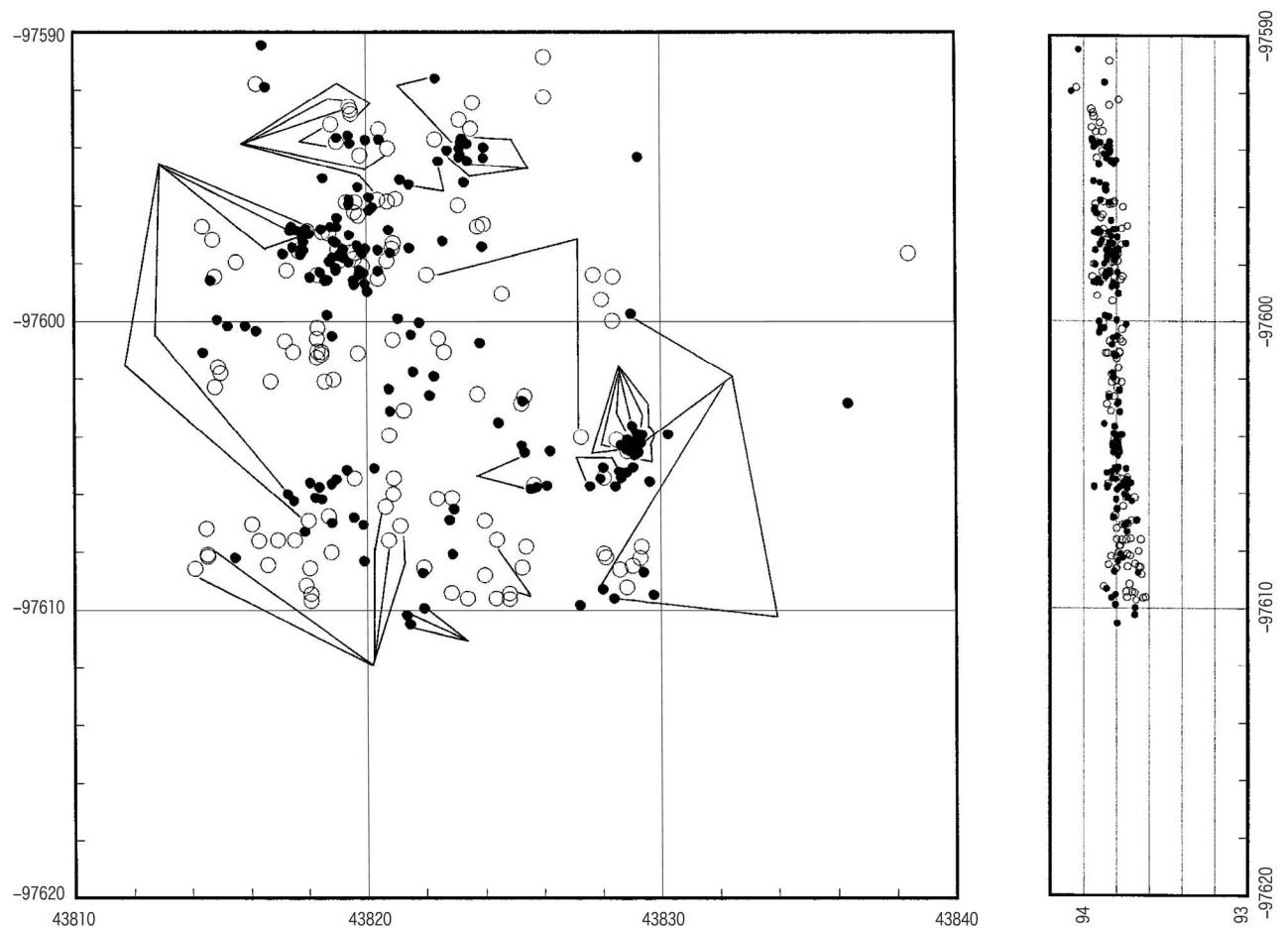
第29図 碓群4実測図 ( $S = 1/20$ )



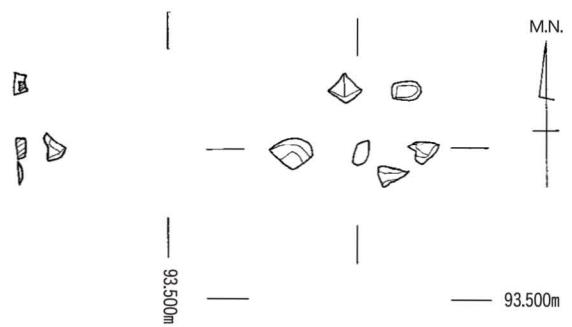
第30図 碓群5実測図 ( $S = 1/20$ )



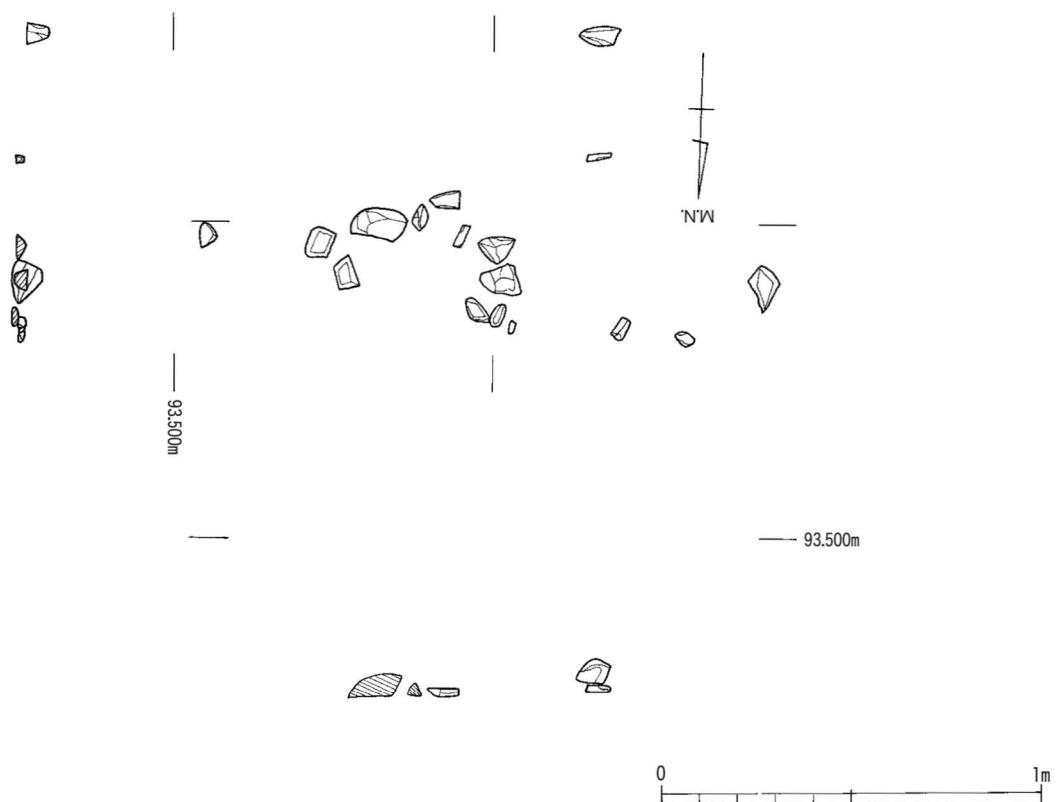
第31図 碓群6実測図



第32図 J～L－6～8 グリッド礁接合状況図



第33図 碓群 7 実測図



第34図 碓群 8 実測図

注記番号	区	グリッド	層	種類	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
7001	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.7	4.8	2	44	-97590.46	43816.46	94.025	
7002	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.1	4.4	1.6	35	-97591.8	43816.26	94.04	
7003	B	J8	VIIa	亜円	砂岩	10.2	6	2.7	205.7	-97591.9	43816.56	94.068	
7004	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	2.8	1.9	1.2	6	-97591.6	43822.36	93.866	
7005	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.7	2.6	1.7	11	-97592.57	43819.43	93.952	
7006	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.4	5.2	3.8	15	-97592.7	43819.48	93.941	
7007	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	9.1	5.8	2.5	17	-97592.84	43819.5	93.936	
7008	B	J7	VIIa	円	頁岩	3.1	2.1	1.1	7	-97592.44	43823.63	93.842	
7009	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	9.1	6.5	3.9	112.1	-97593.2	43818.8	93.948	
7010	B	J8	VIIa	亜円	砂岩	4.3	4.3	1	24.8	-97593.66	43819	93.94	
7011	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.5	8.3	4.3	180.8	-97593.8	43819	93.925	
7012	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.1	4.3	1.9	44	-97593.58	43819.4	93.944	
7013	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	8.8	5.7	2	105.7	-97593.86	43819.46	93.932	
7014	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	11.4	6.4	4.7	230	-97593.74	43820	93.911	
7015	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.5	3.7	1.2	6	-97593.36	43820.44	93.921	
7016	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	6.2	3.1	3.7	61.9	-97593.72	43820.44	93.894	
7017	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3.2	2.6	2	14.6	-97593.72	43822.34	93.918	礫群5
7018	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	8.4	5	1	9.2	-97593.34	43823.56	93.882	礫群5
7019	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.6	5.5	3.1	77.3	-97593.68	43823.26	93.836	礫群5
7020	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3.3	2.3	1.7	10	-97593.82	43823.22	93.835	礫群5
7021	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4	3.3	2.3	30	-97593.87	43823.43	93.855	礫群5
7022	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.7	4.2	3.4	107	-97594	43824	93.83	礫群5
7023	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.5	3.1	2.2	26.6	-97593.04	43823.16	93.9	礫群5
7024	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.5	5.2	1.3	9	-97594.26	43819.8	93.917	
7025	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.6	3.3	1.1	5.6	-97594.03	43820.76	93.883	
7026	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	6.8	3	3	42.2	-97594.47	43822.46	93.901	礫群5
7027	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	4.7	6.2	2.4	71.8	-97594.1	43822.76	93.873	礫群5
7028	B	J7	VIIa	角	石英斑岩	4.2	3.3	1.6	19.1	-97594.06	43823.16	93.836	礫群5
7029	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8	5.3	3.5	169	-97594.26	43823.2	93.855	礫群5
7030	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5	5.4	3.4	70	-97594.33	43823.16	93.825	礫群5
7031	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.5	4.1	2.6	69.5	-97594.46	43823.44	93.811	礫群5
7032	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.4	4.9	3	115	-97594.36	43823.98	93.83	礫群5
7033	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	9.3	9.6	1.9	143	-97595.06	43818.52	93.933	
7034	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	6.2	3.7	2.2	11	-97595.88	43819.32	93.838	礫群4
7035	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	4	2.8	0.9	13.2	-97595.98	43819.4	93.927	礫群4
7036	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6	2.8	1.9	36	-97595.8	43819.42	93.837	礫群4
7037	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.4	3.3	1.9	24	-97595.88	43819.63	93.925	礫群4
7038	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5	4.1	2.3	52	-97595.37	43819.72	93.86	
7039	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3.4	3.2	1.2	13.6	-97595.72	43820.1	93.891	礫群4
7040	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.3	1.2	2.3	3.5	-97595.8	43820.4	93.876	礫群4
7041	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3.8	3.2	1.3	3.6	-97595.86	43820.72	93.817	礫群4
7042	B	J7	VIIa	角	砂岩	2.8	2.3	2.2	17	-97595.78	43821.02	93.812	礫群4
7043	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3.7	1.8	3	9.2	-97595.28	43821.46	93.864	
7044	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.2	3.7	2.5	38	-97595.12	43821.16	93.895	
7045	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.7	2.4	1.9	22	-97595.2	43823.32	93.858	
7046	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	7.6	4.4	4.1	116.8	-97596.86	43817.38	93.893	礫群3
7047	B	J8	VIIa	亜円	尾鈴山系酸性岩	6.4	5	2.8	89	-97596.74	43817.44	93.908	礫群3
7048	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	3.1	3.4	2.2	33.3	-97596.84	43817.46	93.928	礫群3
7049	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	7.2	4.9	2.5	87.3	-97596.88	43817.66	93.907	礫群3
7050	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	6.8	5.5	3	100.6	-97596.8	43817.93	93.893	礫群3
7051	B	J8	VIIa	角	砂岩	6.8	5.7	1.8	62	-97596.87	43817.98	93.91	礫群3
7052	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.9	4	3	84.4	-97596.92	43817.94	93.881	礫群3
7053	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.3	4.6	3.2	61.1	-97596.99	43818.06	93.824	礫群3
7054	B	J8	VIIa	亜角	石英斑岩	3.8	4.2	1.7	29.6	-97596.93	43818.5	93.867	礫群3
7055	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.1	2.8	2.4	25.1	-97596.82	43818.46	93.838	礫群3
7056	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	8.2	8	1.8	130	-97596.97	43818.72	93.846	礫群3
7057	B	J8	VIIa	円	ホルンフェルス	5	3.2	2.2	41	-97596.74	43818.8	93.809	礫群3
7058	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.3	3.3	2.3	34.2	-97596.73	43818.98	93.795	礫群3
7059	B	J8	VIIa	亜角	砂岩	4.3	3.8	2	28	-97596.43	43819	93.826	
7061	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	3.7	1.7	1.2	2.8	-97596.35	43819.74	93.892	礫群4
7062	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5	4.1	3.7	53.5	-97596.24	43819.6	93.88	礫群4
7063	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	3.4	2.1	0.7	4.3	-97596.18	43820.1	93.916	礫群4
7064	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3.6	2.2	1.6	7.3	-97596.06	43820.22	93.928	礫群4
7065	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3	5.4	2.8	51.3	-97596.84	43820.77	93.842	礫群4
7066	B	J7	VIIa	亜円	尾鈴山系酸性岩	6.1	2.9	2.2	38	-97596.73	43823.77	93.765	
7067	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	19.5	14.1	9.8	3500	-97596.64	43823.98	93.73	
7068	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.3	5.2	2.9	53	-97595.98	43823.14	93.757	
7069	B	J8	VIIa	円	ホルンフェルス	11	8.7	3.6	342.8	-97596.74	43814.4	93.876	
7070	B	J8	VIIa	円	ホルンフェルス	5.6	3.8	2.9	75.4	-97597.2	43814.74	93.877	
7071	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.8	4.7	2	72	-97597.68	43817.14	93.851	礫群3
7072	B	J8	VIIa	円	尾鈴山系酸性岩	6.8	3.8	2.2	51	-97597.46	43817.48	93.854	礫群3
7073	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	7.3	5	3.1	130.6	-97597.56	43817.68	93.841	礫群3
7074	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	9.2	4.4	3.9	137.9	-97597.7	43817.74	93.794	礫群3
7075	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	11.5	4.5	5.4	230	-97597.56	43817.86	93.825	礫群3
7076	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.3	4.6	3.1	103.3	-97597.48	43817.8	93.841	礫群3
7077	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	3.7	1.7	1.6	10.8	-97597.27	43817.86	93.895	礫群3
7078	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	12.3	5	3.2	181	-97597.14	43817.8	93.885	礫群3
7079	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	3.3	4.1	2.4	31	-97597.94	43818.74	93.868	礫群3

表25 VII層出土礫計測表 (1)

注記番号	区	グリッド	層	種類	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
7080	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	10	4.4	3.3	113.7	-97597.8	43818.84	93.853	礫群3
7081	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	7.8	5.2	4.3	274.6	-97597.24	43818.9	93.814	礫群3
7082	B	J8	VIIa	円	ホルンフェルス	9.6	6.2	2.9	172	-97597.23	43818.86	93.837	礫群3
7083	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	7.6	5.7	2.9	122	-97597.28	43818.96	93.832	礫群3
7084	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	25.4	14	10	5000	-97597.9	43819.1	93.81	礫群3
7085	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	5.9	5.1	1.6	30.1	-97597.96	43819.4	93.921	礫群3
7086	B	J8	VIIa	角	石英斑岩	6	4	2	40.7	-97597.82	43819.24	93.807	礫群3
7087	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.8	2.6	2.5	12	-97597.74	43819.06	93.8	礫群3
7088	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.9	4.8	2.1	45	-97597.66	43819.16	93.838	礫群3
7089	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	5.4	3.4	2	39	-97597.52	43819.02	93.808	礫群3
7090	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	5.1	4.8	2.2	61	-97597.52	43819.22	93.847	礫群3
7091	B	J8	VIIa	亜円	流紋岩	8.6	7.8	5.7	580.4	-97597.86	43819.58	93.79	礫群3
7092	B	J8	VIIa	円	石英斑岩	4.8	6.4	3.7	136	-97597.5	43819.97	93.812	礫群3
7093	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.7	2.8	3.1	32	-97597.66	43819.86	93.821	礫群3
7094	B	J8	VIIa	円	ホルンフェルス	4.6	3.7	2.3	38.4	-97597.64	43819.44	93.845	礫群3
7095	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.4	1.7	1	6.4	-97597.63	43819.6	93.787	礫群3
7096	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.1	6.1	3.9	135	-97597.02	43819.42	93.789	礫群3
7097	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.1	2.2	1.1	8.2	-97597.47	43819.72	93.923	礫群3
7098	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.8	2.2	0.8	6.1	-97597.38	43819.68	93.842	礫群3
7099	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.3	2.3	3	22	-97597.92	43820.7	93.823	礫群3
7100	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.3	5.4	4.1	167	-97597.64	43820.83	93.799	礫群3
7101	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.5	4.6	3.2	56	-97597.5	43820.88	93.797	礫群3
7102	B	J7	VIIa	亜円	砂岩	20.4	10.5	9.3	2247	-97597.3	43820.92	93.77	礫群3
7103	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.1	4.8	1.3	16	-97597.55	43820.4	93.823	礫群3
7104	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	7.8	6.3	3.3	206	-97597.48	43821.46	93.781	
7105	B	J7	VIIa	円	ホルンフェルス	8.4	4.7	2.6	77	-97597.24	43822.6	93.736	
7106	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.6	3.4	2.1	31	-97597.43	43823.92	93.783	
7107	B	J8	VIIa	VII	ホルンフェルス	5.5	4.6	3.8	98	-97597.96	43815.54	93.933	
7108	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.8	5.1	3.5	169.8	-97598.46	43814.8	93.875	
7109	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	9.2	5.5	3.2	172.7	-97598.6	43814.66	93.915	
7111	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	5.7	2.8	1.7	12	-97598.24	43817.28	93.885	礫群3
7112	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.7	2.4	2.2	11.9	-97598.48	43818.08	93.905	礫群3
7113	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	3	2.2	1.1	9	-97598.4	43818.34	93.943	礫群3
7114	B	J8	VIIa	亜角	石英斑岩	3.6	2.7	1.3	13	-97598.31	43818.41	93.863	礫群3
7116	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.8	4.7	1.7	40	-97598.6	43818.58	93.815	礫群3
7117	B	J8	VIIa	亜角	石英斑岩	5.2	2.9	2.7	44	-97598.57	43818.68	93.933	礫群3
7119	B	J8	VIIa	亜円	砂岩	6.1	2.7	3	47	-97598.24	43818.96	93.788	礫群3
7120	B	J8	VIIa	円	ホルンフェルス	4.2	3.8	1.3	27	-97598.16	43818.96	93.837	礫群3
7121	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.8	3.4	3.5	73.3	-97598.74	43819.58	93.823	礫群3
7122	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	4.4	3.3	1.7	20.5	-97598.6	43819.56	93.891	礫群3
7123	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	9	6	2.7	136.8	-97598.24	43819.78	93.856	礫群3
7124	B	J8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	6.7	3.7	2.1	54.7	-97598.4	43819.75	93.858	礫群3
7125	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.8	2.4	1.1	11.1	-97598.34	43819.9	93.86	礫群3
7127	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4	6.7	5.3	124	-97598.1	43819.86	93.808	
7128	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.2	3.9	1.3	35.1	-97598.7	43819.95	93.792	
7129	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	7.2	5.8	2.6	91	-97598.97	43820.04	93.782	
7130	B	J7	VIIa	亜角	砂岩	5.2	4.5	2.7	65	-97598.26	43820.4	93.836	
7131	B	J7	VIIa	亜角	砂岩	3.6	2.8	2.1	17	-97598.52	43820.4	93.768	
7132	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.7	8.1	6.3	421	-97598.4	43822.04	93.759	
7133	B	J8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.8	4.6	1.6	34.5	-97599.06	43824.6	93.915	
7134	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	3.6	1.7	1.8	12	-97599.96	43814.88	93.9	
7138	B	J8	VIIa	角	ホルンフェルス	5.5	4.7	2.4	62	-97599.8	43818.66	93.839	
7140	B	J7	VIIa	亜円	砂岩	10.1	5.3	1.9	114.2	-97599.92	43821.08	93.791	
7141	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	6.3	2.9	3.3	56	-97600.18	43815.24	93.87	
7142	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	3.9	1.5	1.9	10	-97600.18	43815.84	93.89	
7143	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	4.3	4.1	1.9	24	-97600.34	43816.22	93.9	
7145	B	K8	VIIa	角	石英斑岩	13.6	11.2	5.8	562	-97600.7	43817.2	93.759	
7146	B	K8	VIIa	円	ホルンフェルス	11.1	7.7	4.2	397	-97600.24	43818.32	93.764	
7147	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	10.1	6.5	2.3	166	-97600.6	43818.3	93.808	
7148	B	K8	VIIa	角	砂岩	4.1	3.8	2.8	35	-97600.52	43818.82	93.814	
7149	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	10.1	5.9	3.4	212.6	-97600.66	43820.9	93.835	
7150	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.5	3	1.2	25	-97600.47	43821.52	93.788	
7151	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.6	2.1	1.2	18	-97600.06	43821.8	93.735	
7152	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.5	6	2.8	86	-97600.6	43822.44	93.773	
7154	B	K7	VIIa	角	砂岩	4.5	2.2	2.7	23	-97600.76	43823.84	93.821	
7155	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	12.4	6.8	5.6	416.8	-97601.1	43814.4	93.801	
7156	B	K8	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	27.1	17.8	7.2	4374	-97601.6	43814.92	93.785	
7157	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.6	3.1	1.8	20	-97601.82	43815	93.824	
7158	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.2	1.2	1.9	16	-97601.08	43817.48	93.85	
7159	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	10.8	9.7	2.6	368	-97601.04	43818.32	93.779	
7160	B	K8	VIIa	角	砂岩	4.4	3.8	2.1	47	-97601.26	43818.3	93.796	
7161	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.8	5.8	3.4	128	-97601.16	43818.46	93.8	
7162	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.1	7	1.8	40	-97601.06	43818.46	93.778	
7163	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	4	3.4	1.5	20	-97601.12	43819.72	93.81	
7164	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.2	3.9	1.8	24.7	-97601.76	43821.58	93.816	
7165	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.8	3.8	3.2	89	-97601.92	43822.28	93.813	
7166	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.3	3.3	2.3	26	-97601.08	43822.64	93.861	
7167	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5	2.5	1.5	20	-97602.3	43814.8	93.79	

表26 VII層出土礫計測表 (2)

注記番号	区	グリッド	層	種類	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
7168	B	K8	VIIa	亜円	尾鈴山系酸性岩	7.4	5.5	4.2	209	-97602.1	43816.7	93.765	
7169	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.6	4.3	1.6	45	-97602.1	43818.56	93.827	
7170	B	K8	VIIa	円	ホルンフェルス	10	7.1	5.1	348	-97602.04	43818.88	93.797	
7172	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	3.9	3	2.6	28	-97602.36	43820.76	93.775	
7173	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5	3.6	2.3	29	-97602.58	43822.14	93.841	
7174	B	K7	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	4.7	3.1	2.7	34	-97602.54	43823.76	93.842	
7175	B	K7	VIIa	円	ホルンフェルス	3.5	2.8	1.6	14	-97603.12	43820.8	93.774	
7176	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	7.4	6.5	3.8	188.6	-97603.96	43820.78	93.781	
7177	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	7.5	6.1	3.1	141	-97603.1	43821.28	93.83	
7179	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8	2.5	2	46.7	-97606	43817.3	93.744	
7180	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.9	2.6	2	35.1	-97605.6	43818.06	93.705	
7182	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	9.5	6.2	3.2	153.6	-97605.76	43818.37	93.728	
7183	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.5	3.9	1.7	21.1	-97605.64	43818.8	93.74	
7184	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.7	3.4	2.1	32.9	-97605.48	43818.96	93.729	
7185	B	K8	VIIa	円	石英斑岩	2.1	5.6	2.2	30.6	-97605.16	43819.32	93.793	
7186	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.7	3.8	2.9	60	-97605.44	43819.58	93.73	
7187	B	K7	VIIa	円	石英斑岩	4.2	6.2	1.6	56.2	-97605.1	43820.26	93.735	
7188	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	2.7	3.1	2	15	-97605.46	43820.92	93.77	
7189	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.4	4.7	2.9	61	-97606	43820.9	93.744	
7190	B	K8	VIIa	亜角	石英斑岩	11.3	3.6	2	106.2	-97606.24	43817.5	93.7	
7192	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	11.6	9.7	4.5	420	-97606.92	43818	93.673	
7193	B	K8	VIIa	亜円	砂岩	4.3	3	3.1	36.3	-97606.12	43818.24	93.725	
7194	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.5	2.4	1.6	20.8	-97606.18	43818.47	93.795	
7195	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	3.2	2.5	0.5	6	-97606.76	43818.69	93.805	
7196	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	2.5	3	1.7	13.6	-97606.99	43818.81	93.728	
7197	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.5	1.5	2.4	13	-97606.8	43819.56	93.813	
7198	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	4.8	4.6	4.4	100	-97606.44	43820.64	93.755	
7199	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	16.3	12.8	7.1	1863	-97606.14	43822.4	93.687	
7200	B	K7	VIIa	亜角	砂岩	10.6	7.1	3.9	236	-97606.12	43822.9	93.738	
7201	B	K7	VIIa	円	ホルンフェルス	2.7	2.7	2.4	20	-97606.52	43822.96	93.79	
7203	B	K7	VIIa	円	ホルンフェルス	8.3	13.1	5	891	-97606.9	43822.8	93.673	
7204	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	10.4	2.4	3.2	96.4	-97606.92	43824	93.704	
7205	B	K7	VIIa	亜角	石英斑岩	8.2	8.1	3.9	289	-97607.2	43814.5	93.795	
7206	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.4	4.9	3.3	90	-97607.04	43816.06	93.726	
7207	B	K8	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	3.3	2.9	2.1	21	-97607.62	43816.3	93.763	
7208	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	11.8	9.2	5.7	755	-97607.6	43816.94	93.648	
7209	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	18.2	11.2	6.2	1500	-97607.6	43817.54	93.736	
7210	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	6	3.9	3.3	70	-97607.3	43817.88	93.728	
7211	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	10.2	6.7	5.1	396	-97608	43818.78	93.661	
7212	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.6	3.9	2.6	42.1	-97607.06	43819.88	93.743	
7213	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.6	3.8	2.7	117.5	-97607.58	43820.76	93.795	
7214	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	4.9	4.8	4.1	66	-97607.08	43821.14	93.759	
7215	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	4	1.9	1.4	9	-97608.58	43814.12	93.795	
7216	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.3	3.8	1.3	15	-97608.1	43814.54	93.73	
7217	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	9.1	5.8	4.8	331	-97608.16	43814.56	93.713	
7218	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.4	2.4	0.8	5.9	-97608.2	43815.48	93.755	
7219	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.6	3.4	1.2	15.6	-97608.44	43816.6	93.682	
7220	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	9.8	8.4	4.6	370	-97608.56	43818.06	93.652	
7222	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	4.2	3.1	2.5	23	-97608.32	43819.9	93.785	
7223	B	K8	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	3.2	1.3	1.5	7	-97608.54	43821.94	93.662	
7224	B	K8	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	4.8	4.8	3.9	90	-97608.72	43821.9	93.662	
7225	B	K8	VIIa	円	ホルンフェルス	3.4	5.4	1.4	21	-97608.08	43822.9	93.77	
7226	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.2	2.7	2.3	27.2	-97609.14	43817.91	93.718	
7227	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	7	5	3.2	88	-97609.44	43818.1	93.685	
7228	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	6.6	3.6	1.6	29	-97609.7	43818.1	93.676	
7229	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	11.1	10.5	6.8	912	-97609.96	43821.94	93.68	
7230	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	10.9	6.1	6.8	351.3	-97610.2	43821.36	93.683	
7231	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3	4.6	5.9	67.2	-97610.5	43821.46	93.79	
7232	B	K7	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	4	3.1	2.1	27	-97609.4	43822.86	93.738	
7233	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6	2.1	1.5	32	-97609.6	43823.4	93.733	
7234	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	4.1	2.4	1.9	14	-97597.66	43838.4	93.835	
7235	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.3	2.3	1.8	22	-97598.46	43828.38	93.812	
7236	B	K7	VIIa	亜角	砂岩	4.1	1.2	2.7	14	-97599.76	43828.98	93.864	
7237	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	12.2	8.9	3.3	361.4	-97600	43828.35	93.878	
7238	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	4.1	4.6	1.7	25	-97598.4	43827.72	93.811	
7239	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.5	2.9	1.5	14.6	-97599.26	43828	93.821	
7240	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.6	1.9	1.4	11.4	-97594.32	43829.24	93.795	
7241	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.4	7.2	3.1	163	-97590.88	43826.04	93.84	
7242	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.2	3.5	1.9	36	-97592.24	43826.06	93.784	
7243	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4	1.5	2.4	13	-97609.6	43828.41	93.824	
7244	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.1	1.8	3.9	49	-97609.28	43828.016	93.854	
7245	B	J7	VIIa	角	砂岩	6.9	3	1.9	31.8	-97609.22	43828.84	93.875	
7246	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	2.7	2.4	1	9	-97608.18	43828.12	93.828	
7247	B	J7	VIIa	角	砂岩	3.6	1.8	1.3	5.9	-97609.48	43829.75	93.799	
7248	B	J7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	6.9	4.2	1.8	31.9	-97609.84	43827.24	93.801	
7249	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	2.3	2.6	0.9	5	-97608.46	43829.04	93.846	
7250	B	J7	VIIa	角	ホルンフェルス	3	2.9	0.9	7	-97608.2	43829.3	93.795	
7251	B	J7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.6	2	1.1	8	-97607.8	43829.34	93.774	

表27 VII層出土礫計測表 (3)

注記番号	区	グリッド	層	種類	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
7252	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.9	6	2.4	41.3	-97603.88	43829.16	93.81	礫群6
7253	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.6	2.4	3.7	41.5	-97603.94	43829.36	93.788	礫群6
7254	B	K7	VIIa	角	砂岩	2.2	1.6	1.6	6.8	-97603.62	43829.02	93.805	礫群6
7255	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	10	8.2	5.4	594	-97608.6	43828.6	93.799	礫群6
7256	B	K6	VIIa	亜角	ホルンフェルス	10	4.4	4.4	164	-97603.92	43830.24	93.76	
7257	B	K7	VIIa	円	ホルンフェルス	7.3	4.4	1.9	47.8	-97604.32	43825.26	93.818	礫群6
7258	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.1	3.8	2.4	49	-97604.54	43825.36	93.813	礫群6
7259	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.7	5.3	4.4	160	-97604.02	43827.28	93.785	礫群6
7260	B	K7	VIIa	亜円	尾鈴山系酸性岩	11.4	7.3	3.9	409	-97604.12	43828.5	93.812	礫群6
7261	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.5	5	1.2	19.9	-97604.31	43828.64	93.781	礫群6
7262	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	2.2	1.9	0.8	3.6	-97604.26	43828.8	93.8	礫群6
7263	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	2.7	5.8	1.9	24.5	-97604.1	43828.86	93.794	礫群6
7264	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	6.7	4.1	3.2	84	-97604.26	43828.96	93.804	礫群6
7265	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.4	5.3	4.5	138	-97604.48	43828.92	93.789	礫群6
7266	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	5.3	5.4	2.4	49.7	-97604.44	43828.82	93.789	礫群6
7267	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	9.9	8	5.2	400	-97604.5	43828.86	93.784	礫群6
7268	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.5	6.5	2.2	87.5	-97604.64	43829.1	93.784	礫群6
7269	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	9.5	7	4.8	418	-97604.54	43829.24	93.773	礫群6
7270	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.9	4.3	3.3	154	-97604.46	43829	93.783	礫群6
7271	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	5.7	5.2	2.1	39.5	-97604.54	43829.1	93.791	礫群6
7272	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	8.4	2.4	5.6	104.3	-97605.06	43829.06	93.783	礫群6
7273	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	20.1	12	5	1100	-97604.46	43829.1	93.784	礫群6
7274	B	K7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.5	3.1	3.4	43.9	-97604.38	43829.06	93.783	礫群6
7275	B	K7	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	11.4	8.6	4.3	453	-97604.16	43829.12	93.786	礫群6
7276	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	3.6	4.7	2	34.3	-97604.23	43829.32	93.819	礫群6
7277	B	K7	VIIa	円	ホルンフェルス	8.3	4.1	1.4	52	-97608.68	43829.4	93.808	礫群6
7278	B	K8	VIIa	円	ホルンフェルス	6.9	4.1	2.4	68.5	-97605.74	43825.78	93.85	礫群6
7279	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	4.2	3.2	2	21	-97605.66	43825.68	93.849	礫群6
7280	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	1.8	1.8	1.5	8	-97605.7	43826.12	93.85	
7281	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	2.9	4.9	1.8	22	-97605.46	43827.94	93.8	礫群6
7282	B	K8	VIIa	角	ホルンフェルス	6.5	3.3	2.6	36	-97605.72	43827.58	93.93	礫群6
7283	B	K8	VIIa	角	砂岩	5	5.3	2.2	46	-97605.08	43828.04	93.801	礫群6
7284	B	K8	VIIa	亜円	ホルンフェルス	7.6	7.3	4.9	295	-97605.42	43828.06	93.791	礫群6
7285	B	K8	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	4.8	3.5	2.4	44	-97608.06	43828.06	93.785	礫群6
7286	B	K8	VIIa	円	ホルンフェルス	17.3	13.4	9.3	2100	-97605.72	43828.44	93.771	礫群6
7287	B	K8	VIIa	円	ホルンフェルス	2.7	4.4	1.6	16	-97605.22	43828.58	93.822	礫群6
7288	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	2.6	2.1	2.9	14	-97605.44	43828.64	93.819	
7289	B	K8	VIIa	角	砂岩	2.7	2.2	1.5	11.4	-97605.24	43828.84	93.852	礫群6
7290	B	K8	VIIa	亜角	ホルンフェルス	6.3	4.4	3.1	80	-97605.56	43829.62	93.75	礫群6
7291	B	K6	VIIa	角	砂岩	3.4	3	1.5	16	-97602.84	43836.36	93.789	
7292	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	2.2	3.1	1.5	10	-97602.86	43825.24	93.855	
7293	B	K7	VIIa	角	ホルンフェルス	2.9	2.7	1.1	9	-97602.6	43825.36	93.809	
7294	B	K7	VIIa	角	砂岩	3.2	2.8	1.1	12	-97602.78	43825.3	93.78	
7295	B	K7	VIIa	角	砂岩	3.7	3.1	1.1	10	-97603.52	43824.46	93.868	
7296	B	K6	VIIa	亜円	砂岩	3.7	2.5	0.8	9.1	-97604.5	43826.22	93.797	
7297	B	K7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.2	4.6	2.3	70	-97605.82	43825.56	93.79	
7298	B	L7	VIIa	亜角	尾鈴山系酸性岩	19.6	10.9	6.8	2000	-97607.8	43825.4	93.778	
7299	B	L7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	7.7	4.7	3.1	97	-97607.56	43824.4	93.71	
7300	B	L7	VIIa	亜円	ホルンフェルス	4.9	3.2	1.6	22	-97608.53	43825.27	93.728	
7301	B	L7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	11.1	10.6	4.1	652.9	-97608.8	43824	93.645	
7302	B	L7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	8.3	4.2	2.9	86	-97609.42	43824.84	93.7	
7303	B	L7	VIIa	亜円	砂岩	11.3	4	2.6	168.9	-97609.62	43824.84	93.635	
7304	B	L7	VIIa	亜角	ホルンフェルス	18.2	11	8	1550	-97609.6	43824.38	93.62	

表28 VII層出土礫計測表 (4)

## (2) 遺 物 石 器

251点中製品と認められるものは53点（約21%）である。特にJ 7・J 8・K 7・K 8グリッドの20m四方に18点が集中している。石材ではホルンフェルス、頁岩、流紋岩、砂岩等を使用している。これらは河原石・段丘礫として入手可能な礫（在地系の礫）である。また、出土した製品は先端部が破損している物が多い。これは、製品を道具として使用したためと思われる。ここでは、製品を器種別に解説していく。なお石器の分類については、第IV章第3節2遺構・遺物の分類を参照されたい。

### ナイフ形石器（第40図13・14・15・16・17・18）

7点出土した。いずれも縦長剥片を素材としている。13は一側縁加工を施している。14・15は一側縁加工に基部調整を施している。15は素材の末端を切り落として調整を行い、右側縁に基部加工を加えている。16は二側縁調整を行い刃部を形成している。基部が丸みを帯びている。この丸みは剥片の打面部の厚みをとるための加工と思われる。17は二側縁調整を行い刃部を形成している。16に比べて加工の範囲が大きいのが特徴である。13・14はホルンフェルス製、15は頁岩製である。16は流紋岩製である。17はホルンフェルス製である。18・19はナイフ形石器の欠損品である。18は左側縁に、19は右側縁にプランティング加工が施されている。いずれも流紋岩製である。14は風化している。13～17では使用痕は確認できないが、15・16・17では器種の破損がみられる。実際に道具としての使用頻度が高いと思われる。また加工の方法も様々である。

### 角錐状石器

#### I類-①（第40図20・21）

紡錘形を呈する。20は正面右側縁部分に、21は正面左側縁部分に加工を施し先端部を尖らせている。20は未成品と思われる。左側縁のみ加工を施している。20・21とも裏面に加工を施している。いずれも流紋岩製である。

#### I類-②（第40図22・23・24）

紡錘形を呈する。22・23・24はいずれも正面及び裏面に加工を施し刃部を尖らせてている。23は先端部・

基部が破損している。22は風化が著しい。22・23はホルンフェルス製、24は流紋岩製である。

#### I類-③（第41図25）

紡錘形を呈する。縦長剥片を連続して加工を加えた後、左右側縁部のみ加工を加えている。流紋岩製である。

#### II類（第41図 26～30）

縦長剥片の両側縁に加工を施し、先端部・基部を尖らす=菱形を呈する。26は頁岩製、27は流紋岩製、28は頁岩製、29は頁岩（風化）製、29はホルンフェルス製である。すべての器種において欠損が見られる。

#### III類（第41図31～34）

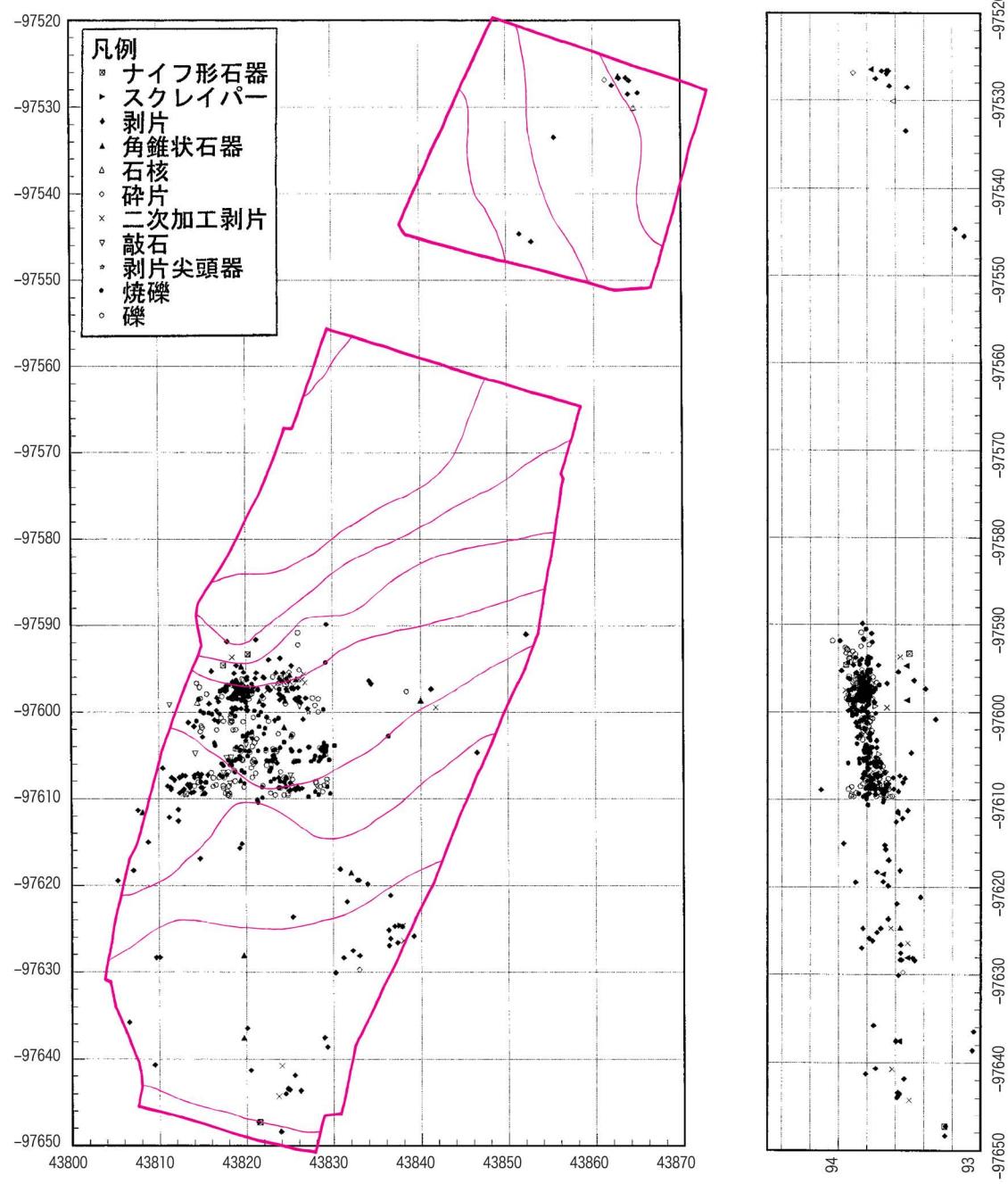
矮小な黒曜石製の角錐状石器が4点出土している。最大長1.7～3.3cmのものである。矮小な黒曜石製の角錐状石器の特徴の1つとして裏面に加工が見られる。また非常に軽量である。これも破損したものが多い。

### 剥片尖頭器（第41図35）

B区J 7グリッドより1点出土した。連続的に剥離した縦長剥片を素材とし、基部及び左側縁に加工を施している。基部については、両面加工を施している。最大厚1.15cm、重量15gと刺突具としては軽量である。軽量であり左側縁を刃潰しのような加工を施していることから、ナイフ形石器と同じような使い方をしていたことも考えられる。

### スクレイパー（第41図36）

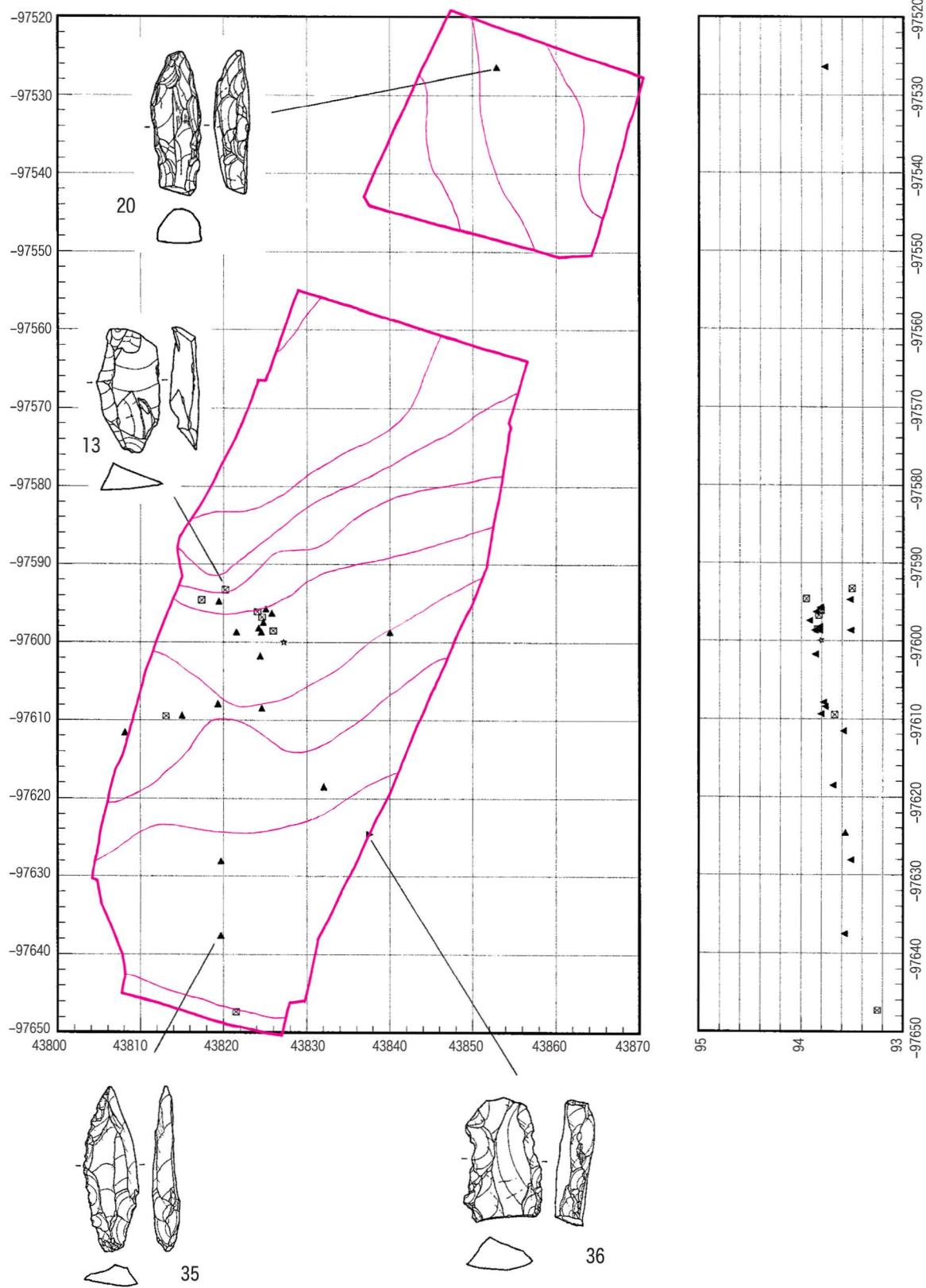
連続的に剥離した縦長剥片を素材としており左右側縁部及び下部に加工を施している。下部に欠損の跡がある。出土地点がM 6グリッドということで遺物の分布状況から見ると比較的疎な箇所から出土している。流紋岩製のラウンドスクレイパーである。



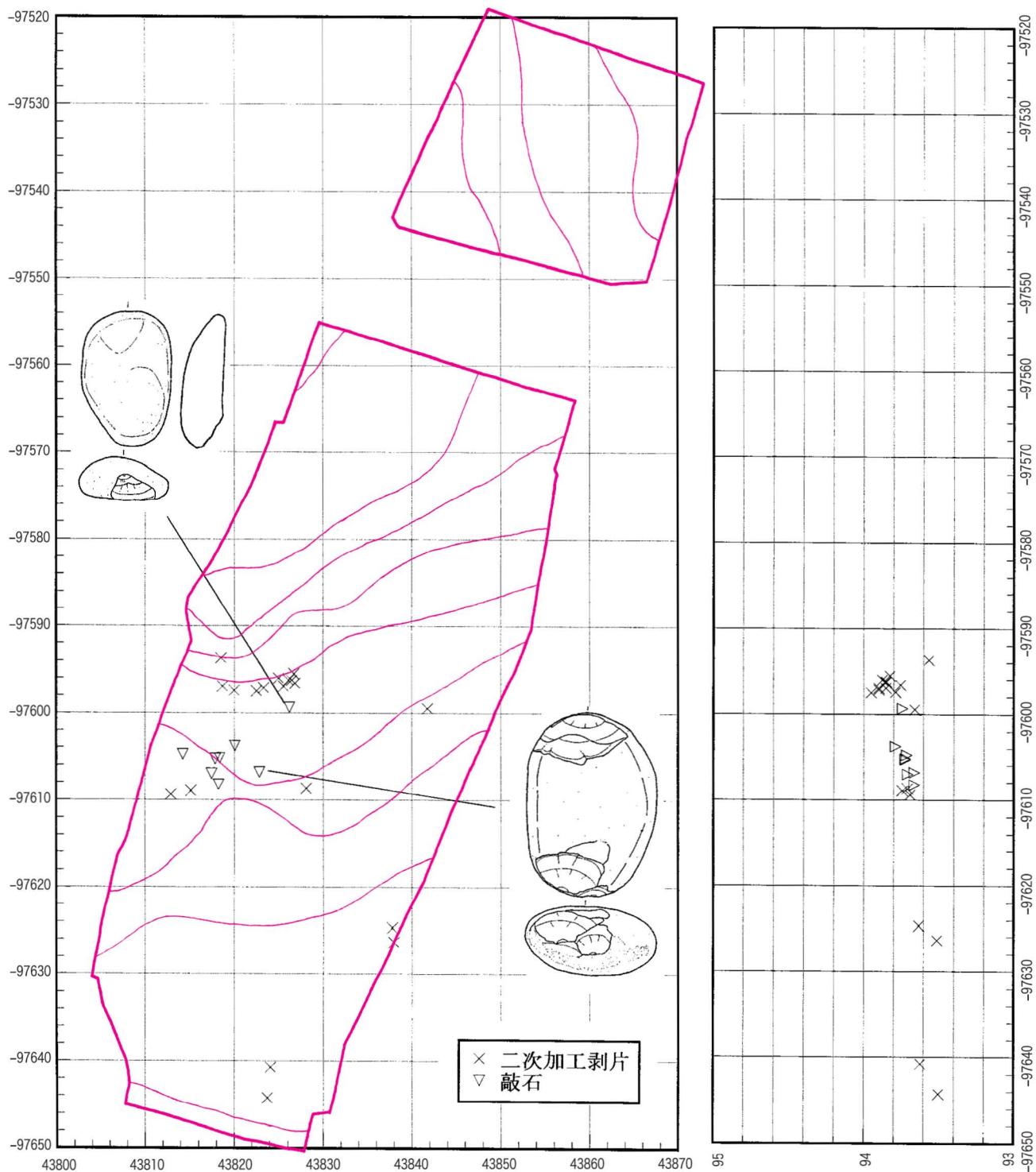
第35図 第2文化層遺物分布図

区	石材 器種	ホルン フェルス	黒曜石	頁岩	流紋岩	チャート	砂岩	その他	総計
A	角錐状石器	1							1
	石核	1							1
	剥片	6			2				8
	碎片		1						1
B	ナイフ形石器	3		2	2				7
	角錐状石器	4	3	5					18
	二次加工剥片	4	5	7	1	1			18
	剥片尖頭器			1					1
	スクレイパー				1				1
	敲石	6					4		10
	石核	7		2					9
	剥片	100	19	47		1		3	170
	碎片	1	2				6		9
総計		133	30	64	12	2	10	3	254

表29 第2文化層石器組成表



第36図 第2文化層製品1（ナイフ形石器・角錐状石器・スクレイパー）分布図



第37図 第2文化層製品2(二次加工剥片・敲石)分布図

#### 二次加工剥片

(第42図37・38・39・40・41・42・43)

43はチャート製である。左側縁上部に加工が施されている。42は頁岩製である。左側縁部に加工を施している。37～41は黒曜石製である。41は左側縁下部に加工を施している。40は右側縁下部に加工を施している。39は左側縁部に2箇所右側縁部に細かい加工が施されている。37は連続した剥離の後、左右側縁部に細かい加工が施されている。出土箇所はJ7グリッドに集中している。

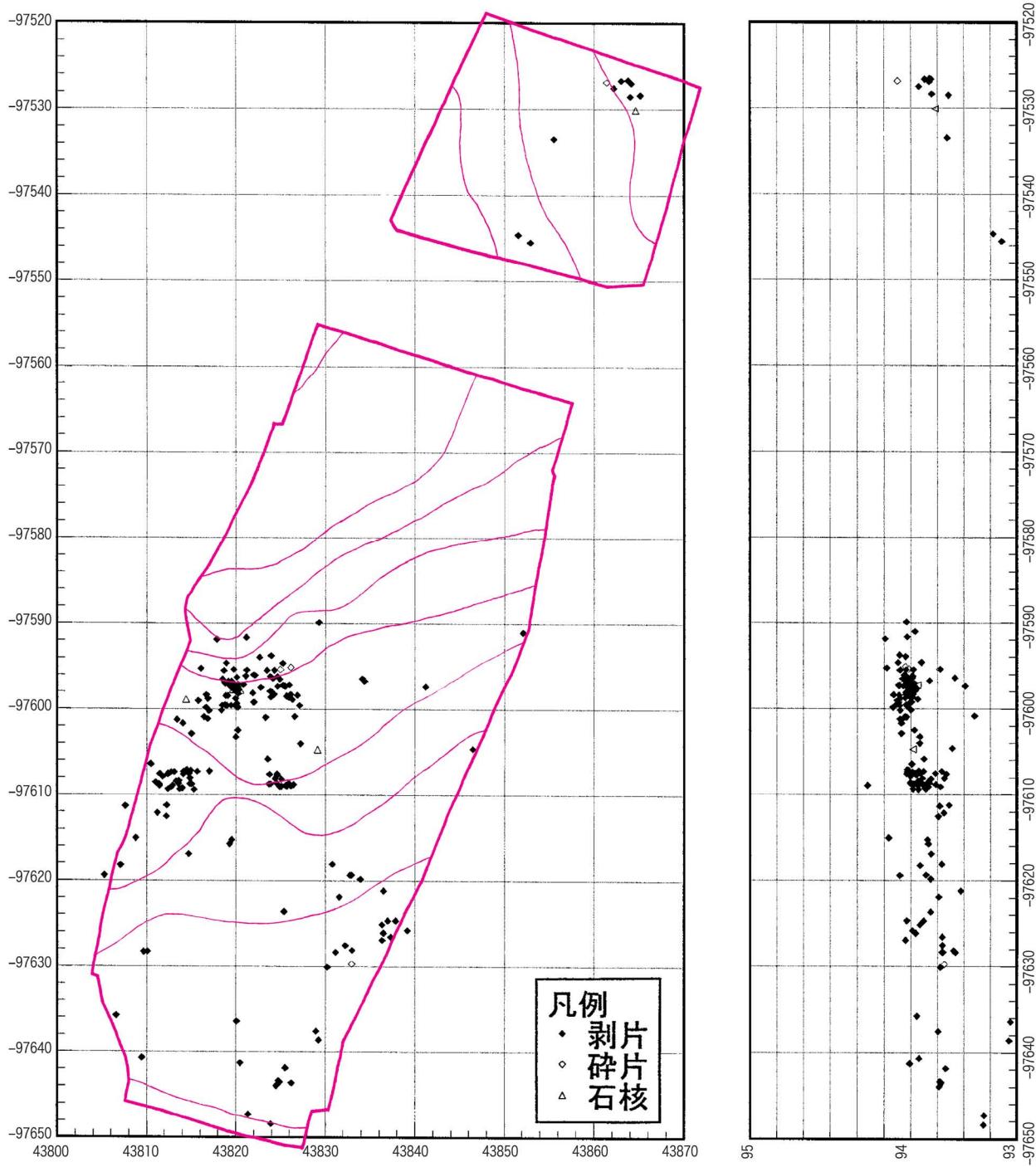
#### 敲 石

I類(第42図45)

破損した円礫を使用している。下面そして左右側縁にあばた状の敲打痕が見られる。ホルンフェルス製である。

III類(第42・43図44・46・47)

44・46は円礫、47は棒状の礫を使用している。46・47は上下面、44は下面に敲打痕が見られる。いずれも砂岩製である。出土地点は、J7、L7・8グリッドに集中している。



第38図 第2文化層製品3（剥片・碎片・石核）分布図

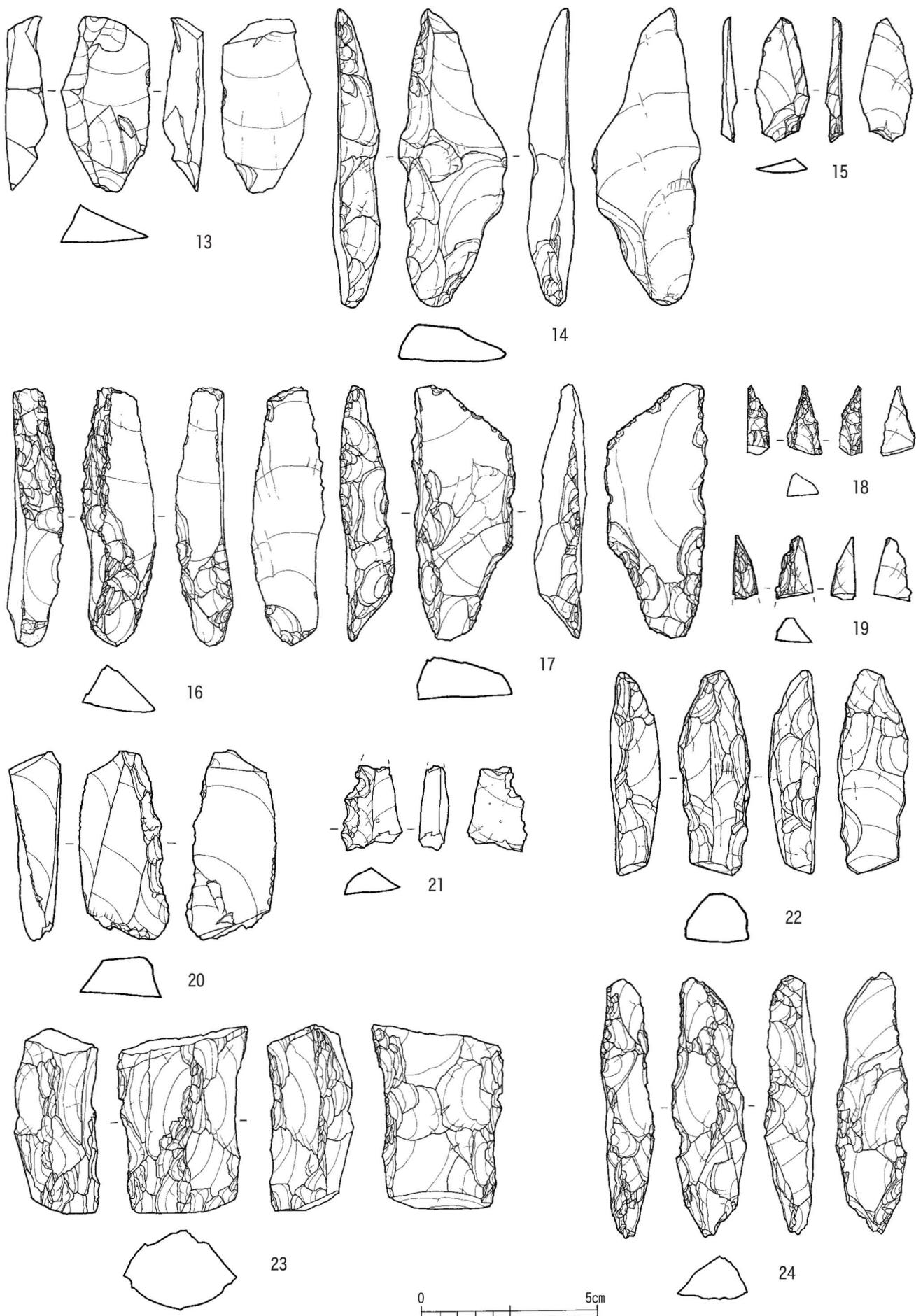
**剥片**（第43図49・50・51・52・53・54・55・56）  
56は水晶製である。54は頁岩製、55は流紋岩製である。54・55は縦長剥片であり、ナイフ形石器・角錐状石器等が出土している本遺跡では、素材剥片として使用された代表的な剥片ということで掲載した。49・50・51は黒曜石製である。

製品製作の石材としては、流紋岩・頁岩が多く使用されている（表29参照）。しかし剥片・碎片等はホルンフェルスが1番多い（表29参照）。特に砂岩系ホルンフェルスの占める割合が多い。したがって

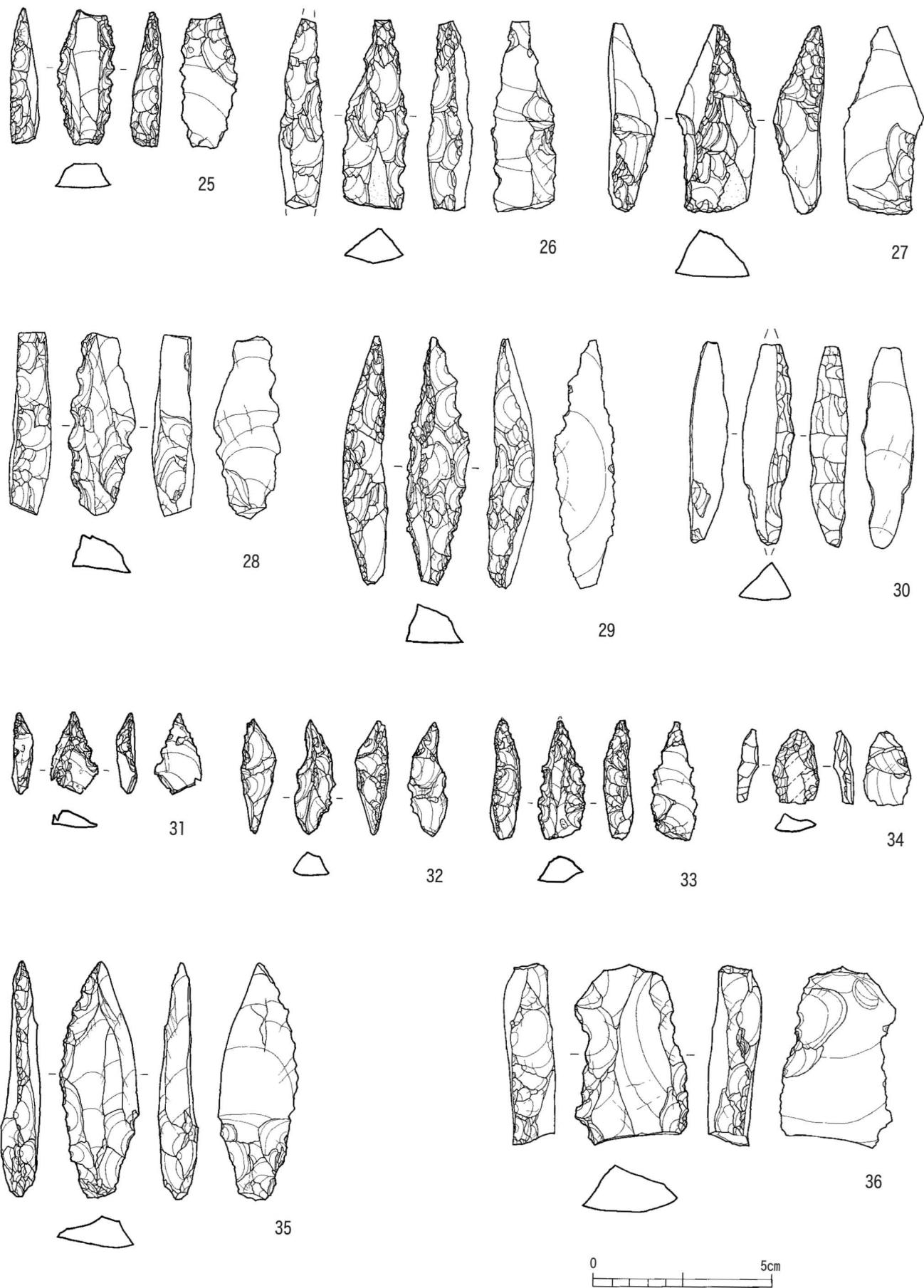
ここで製作された製品は、別の場所へ持ち出され、他の場所で製作された製品が持ち込まれたと思われる。

#### 石核（第43図48）

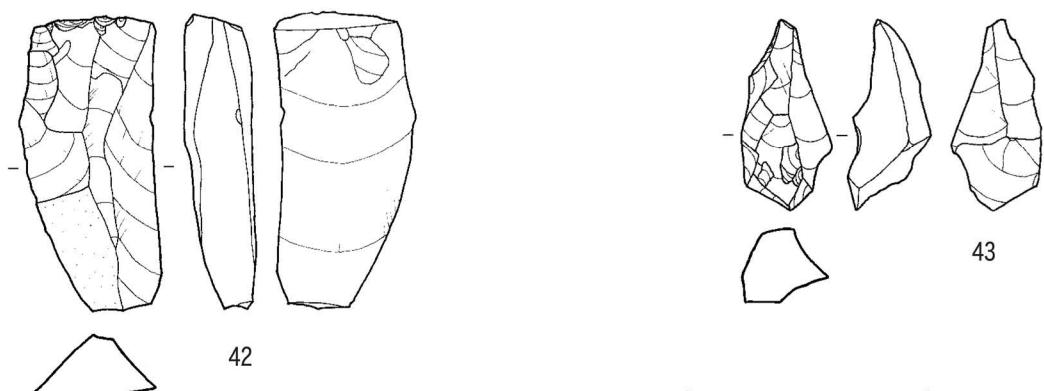
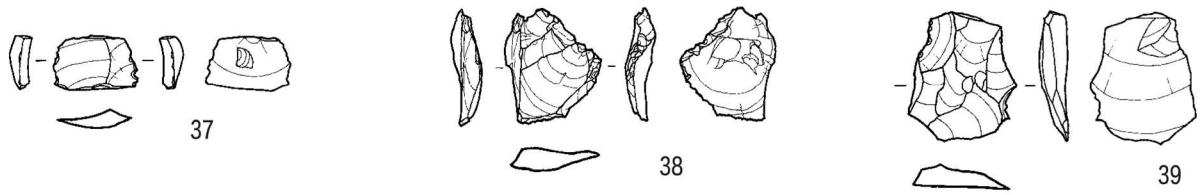
頁岩製である。母岩に加工を施し、剥離した剥片に加工を加え、剥片を抽出している。素材剥片を剥離した残核である。用したと推察する素材剥片を剥離した残核である。矮小な剥片を剥離した形跡が見られる。接合関係が見られる石器は出土していない。



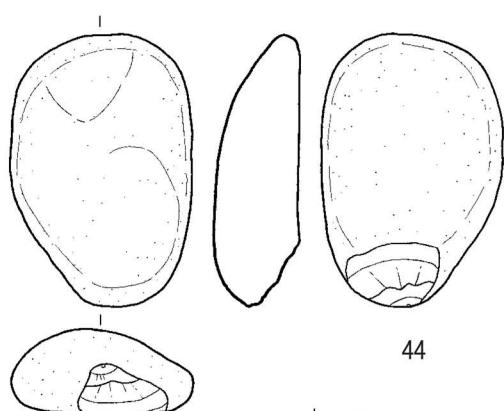
第39図 ナイフ形石器・角錐状石器実測図



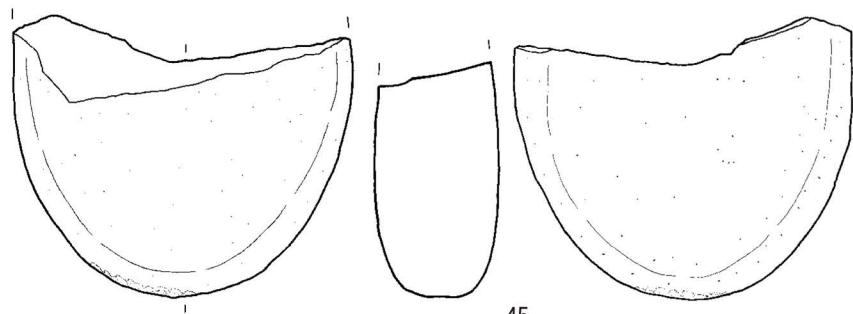
第40図 角錐状石器・剥片尖頭器・スクレイパー実測図



0 5cm



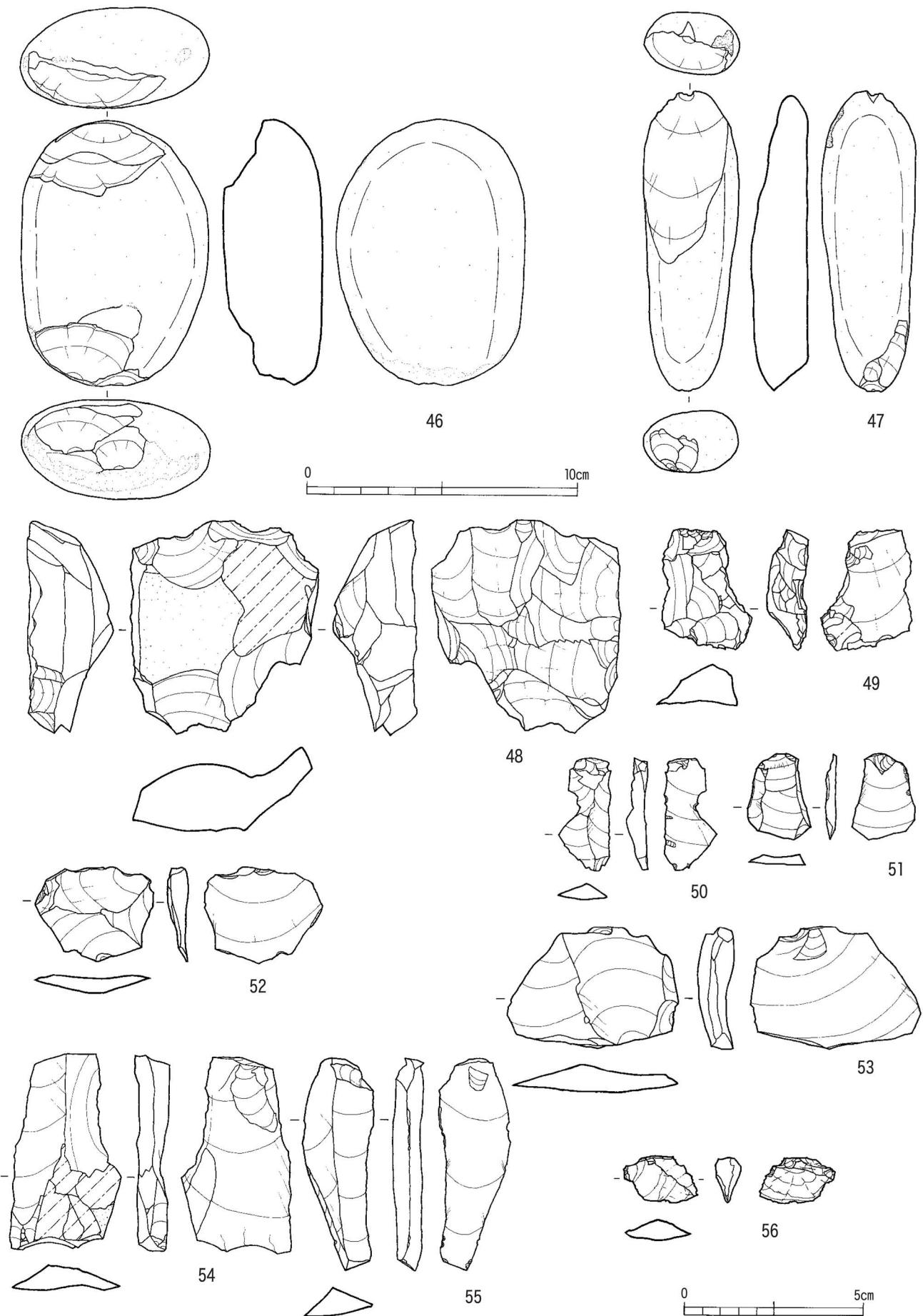
44



45

0 10cm

第41図 二次加工剥片・敲石実測図



第42図 剥片・碎片・石核実測図

### (3) 石材別分布状況

石材として、ホルンフェルス、頁岩、流紋岩、黒曜石のほかチャート製2点、砂岩製4点、水晶製1点、凝灰岩1点が出土している。各石材を数量・重量・接合資料を比較した（表36）。数量ではホルンフェルスが点数で131点（全体の49.8%）、次いで頁岩が65点（全体の24.7%）、黒曜石（全体の11.4%）、流紋岩（全体の11.0%）の順であった。接合数ではホルンフェルスが10組、頁岩・流紋岩・黒曜石が1組ずつという結果であった。ここでは同一母岩とは近隣・遠方の距離関係を問わず接合するものとする。これに対し近隣・遠方の距離関係を問わず接合しないものについては同一石材とした。石材としてはホルンフェルス・頁岩・流紋岩を対象とし、石材を細分化しては掲載していない。砂岩・チャート・凝灰岩については、接合関係が確認できず、黒曜石については、攪乱土出土の遺物との接合関係しか見られなかった。以下石材別に分布状況を見ながらその特徴を見ていく。

#### ホルンフェルス（第44図）

131点出土した。A・B区ともまんべんなく出土し、当該期の主たる石材であることが窺える。A区にも石器ブロックが検出されている。石材は平均最大長5.49cm、最大幅4cm、最大厚1.86cm、平均重量75.01gと大型のものが多い。接合組数・同一母岩が10組ある。

#### 黒曜石

30点出土した。平均最大長1.8cm、平均最大幅1.24cm、平均最大厚0.48cm、平均重量1.03gと矮小なものが多い。接合組数・母岩数が1組である。攪乱土出土のため、位置は表示していない。頁岩に次いで製品製作に使用されている。

#### 流紋岩（第47図）

29点と出土量は少ない。平均最大長4.21cm、平均最大幅2.66cm、最大厚1.21cm、平均重量16.26gである。数はあまりでていないが製品の石材としてよく使用されている。接合組数・同一母岩は1組である。

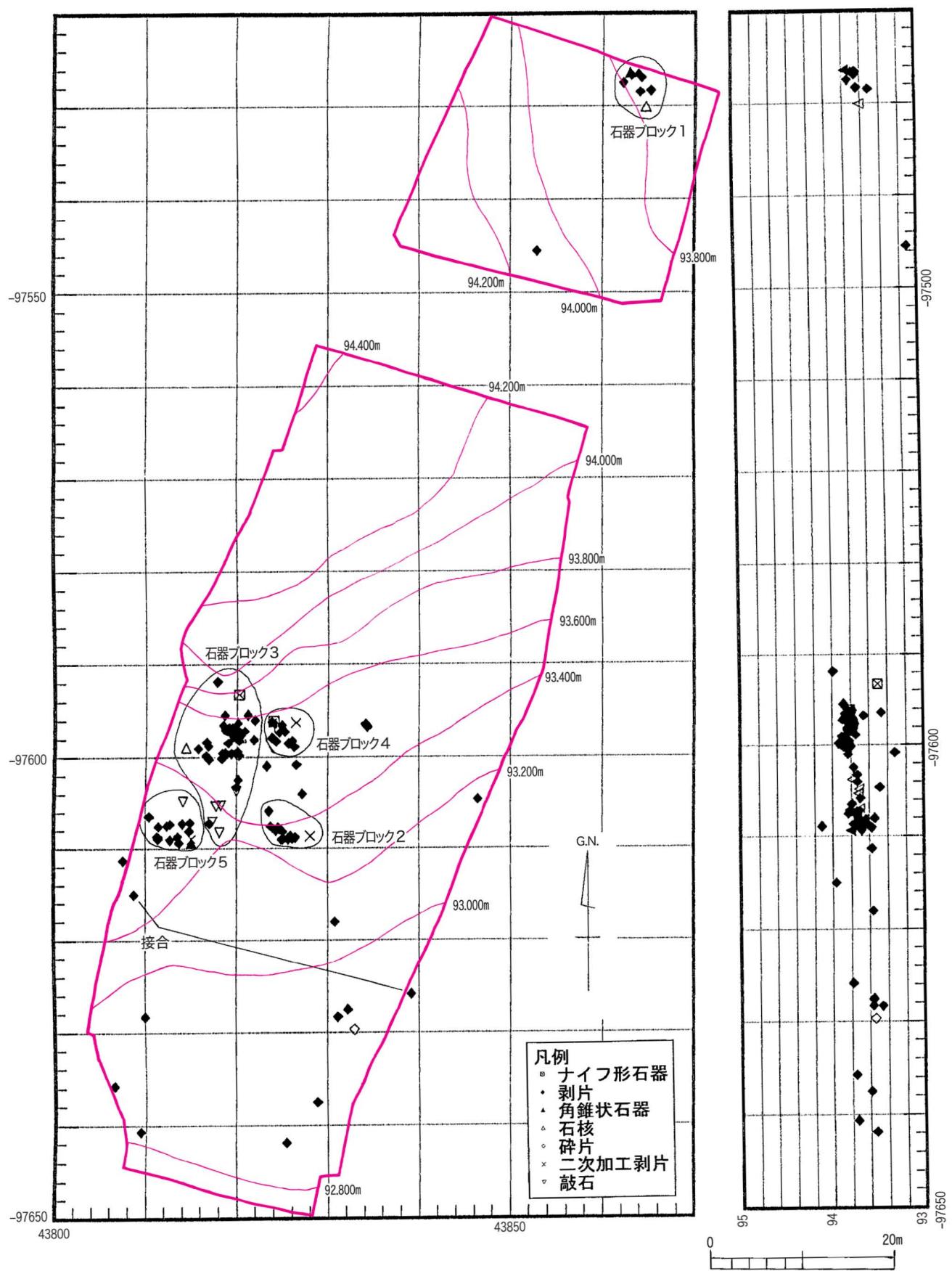
#### 頁岩（第48図）

65点出土したが、A区では確認されていない。平均最大長4.20cm、平均最大幅2.97cm、平均最大厚1.18cm、平均重量19.63gである。接合組数・母岩数は1組である。ホルンフェルスに次いで製品製作に使用されている石材である。ホルンフェルス石器ブロック3と頁岩石器ブロック6はほぼ平面的・レベル的にも重複していることから同時期ものと想定される。

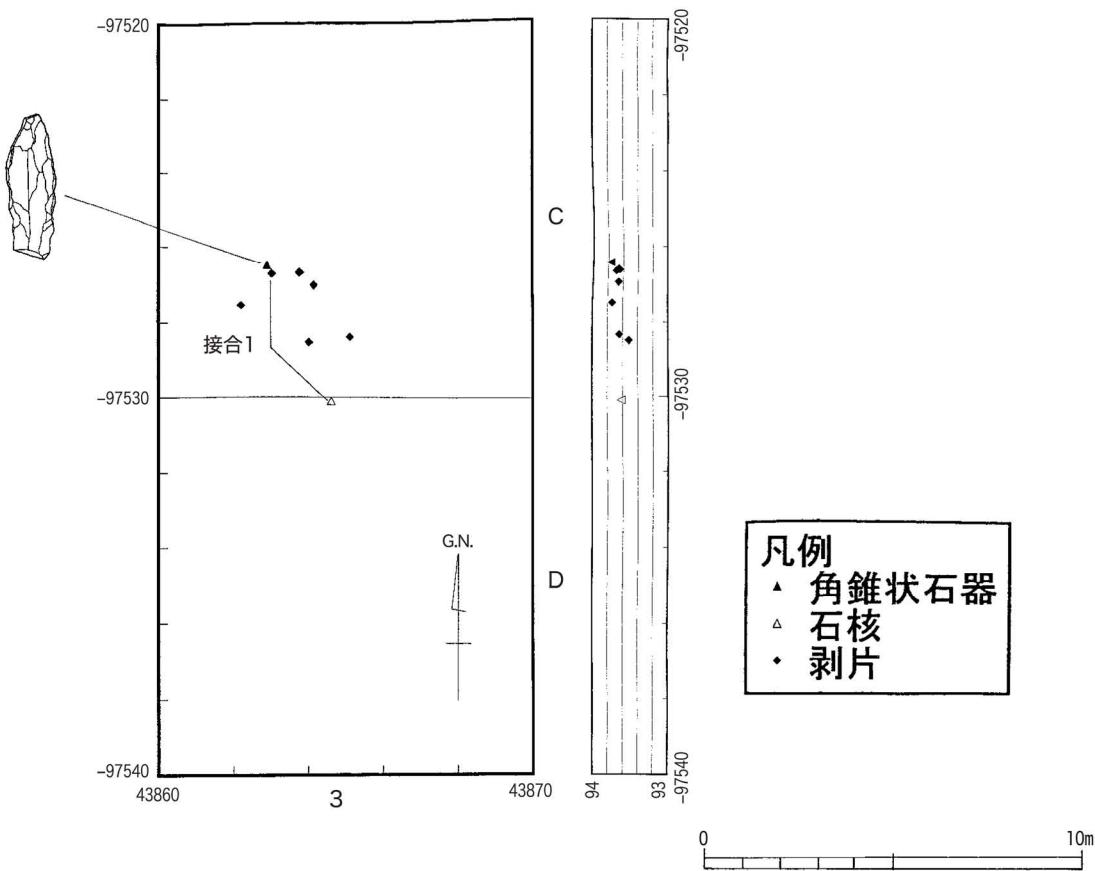
このように、ホルンフェルス、流紋岩、頁岩は若干の分布の相違が認められるものの、平面的・レベル的にも重複しており、同時期に使用されていた遺物として考えられる。

石材 出土量		ホルンフェルス	黒曜石	頁岩	流紋岩	チャート	砂岩	その他	総計
数	点数(点)	131	30	65	29	2	4	2	263
量	割合(%)	49.8	11.4	24.7	11.0	0.76	1.5	0.76	
重	重量(g)	9878.4	30.91	1275.8	471.6	8.2	823.6	153.6	12642.1
量	割合(%)	78.1	2.4	10.0	3.73	0.06	6.5	1.2	1
接	組数(組)	10	1	1	1	0	0	0	13
合	総点数(点)	32	2	2	3				39
	割合(%)	82.1		5.1	0.77				
確	認母岩数	10	1	1	1	0	0	0	13

表30 第2文化層 石器別数量表



第43図 第2文化層石材別（ホルンフェルス）分布図



第44図 第1石器ブロック分布状況図

#### 母岩 1 (第45図)

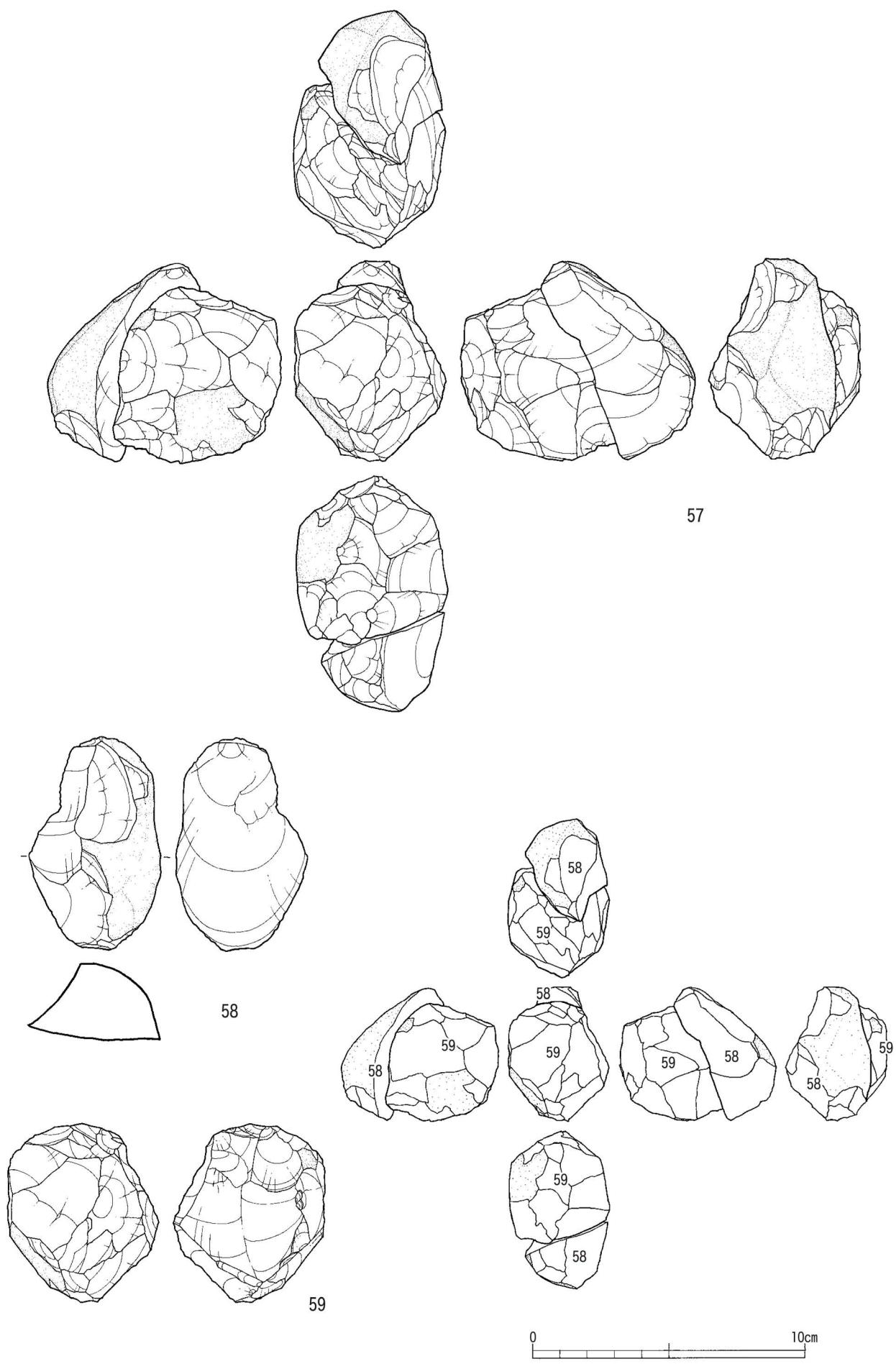
礫面は黒 (HueN2/) 色を基調とした頁岩系のホルンフェルスに類似した石材である。割れ面は、礫面よりわずかに薄い暗灰色をしている。この石器ブロックでは6点の同一石材の石器が出土している。角錐状石器が1点出土している。しかし接合関係を示す資料が1組だけであった。したがってこの1組以外は同一石材である。

#### 接合資料 1 (第45・46図表37)

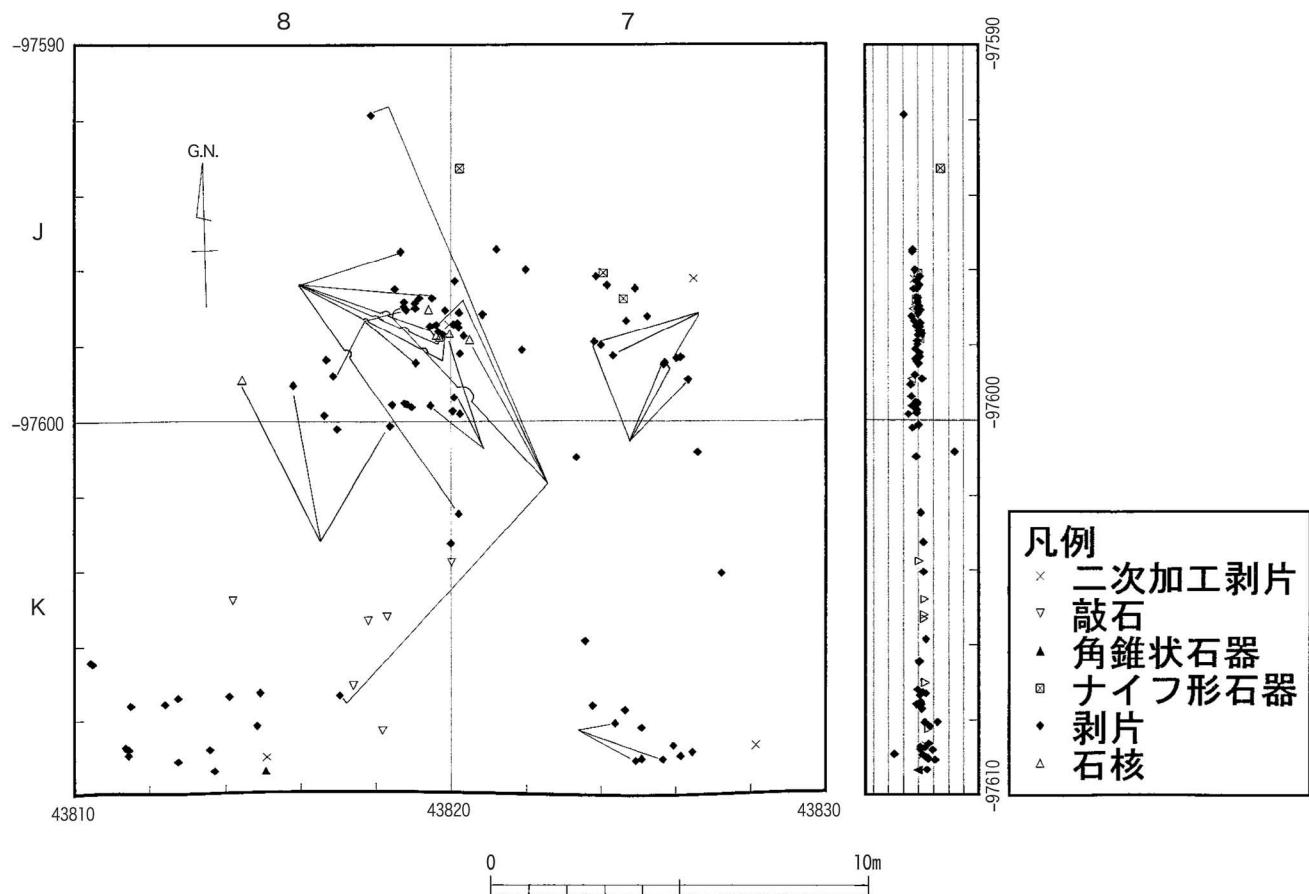
A区C 3からC 4グリッドでは、礫・石器が比較的集中して出土して箇所である。接合資料1は、1点からなる。距離にして4m離れており、レベルにおいて8cm未満の差である。したがって同じ文化層の遺物と思われる。石器の製作過程を再現すると剥片剥離行程は、打点を頻繁に変え、剥離を繰り返している。頭部調整を施した後、石核58を分離している。その後石核59において剥離を繰り返している。

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
	210	A	D3	VII	石器	接合資料	ホルンフェルス	8	6.1	14.7	384.4				
	216	A	D4	VII	石器	石核	ホルンフェルス	7.7	6.1	5.9	268.3	43864.625	-97530.1	93.616	
					剥片石核	ホルンフェルス	8	5	3.8	116.1	43863.025	-97526.65	93.696		

表31 第2文化層接合資料1 計測表



第45図 第2文化層接合資料1実測図



第46図 第2～5石器分布状況図

### 母岩2（第47図）

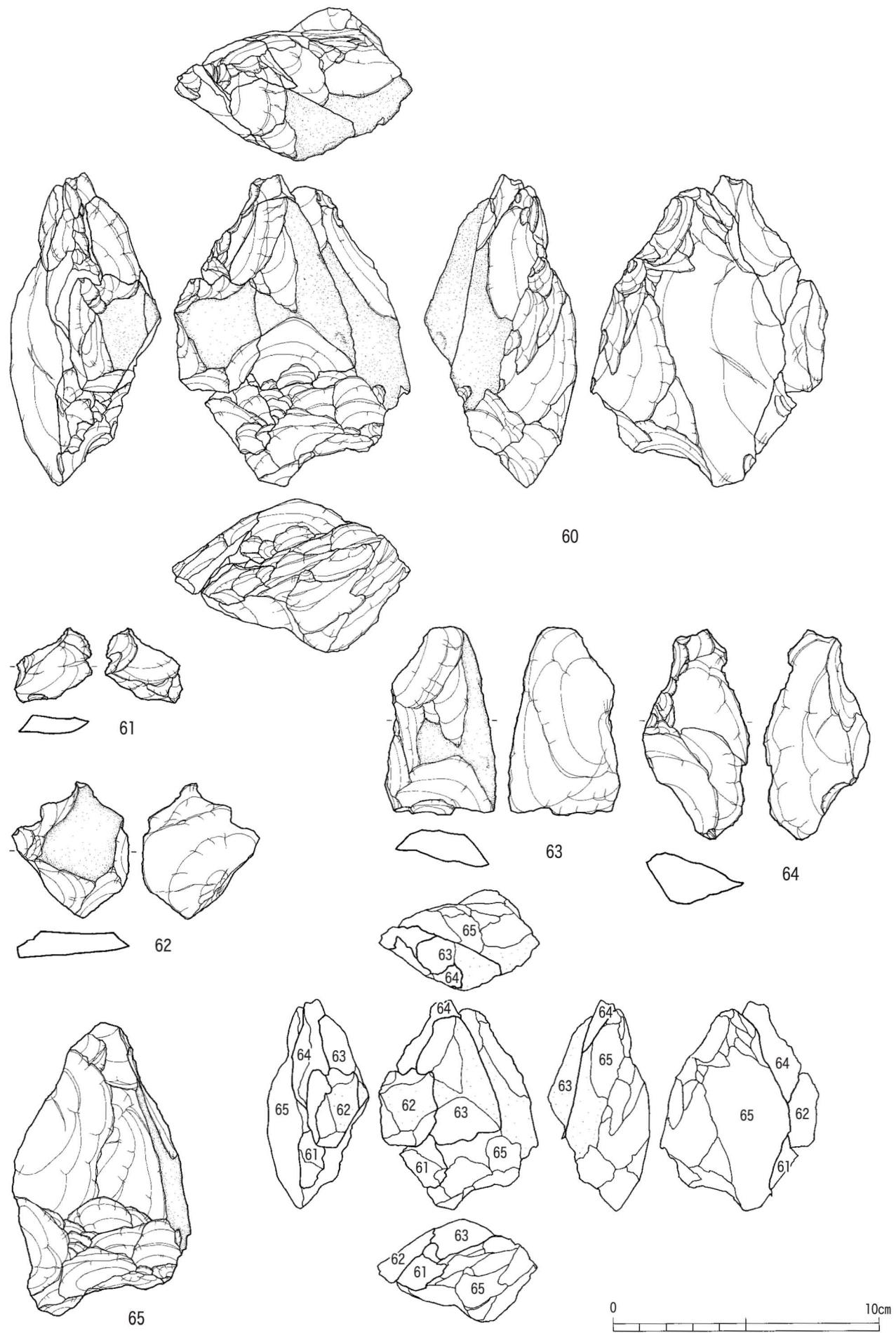
礫面は青灰色を基調とし、礫面に褐色系の鉱物状の帶が幾重もの線となって伸びる疎粒堆積岩系のホルンフェルスと思われる。J7・8、K7・8グリッドに集中している。この集中区では、8組の接合関係が確認されている。接合関係にある礫が入り交じっている。隣接する石器の接合や15m離れた石器の接合も見られる。

### 接合資料2（第47・48図表37）

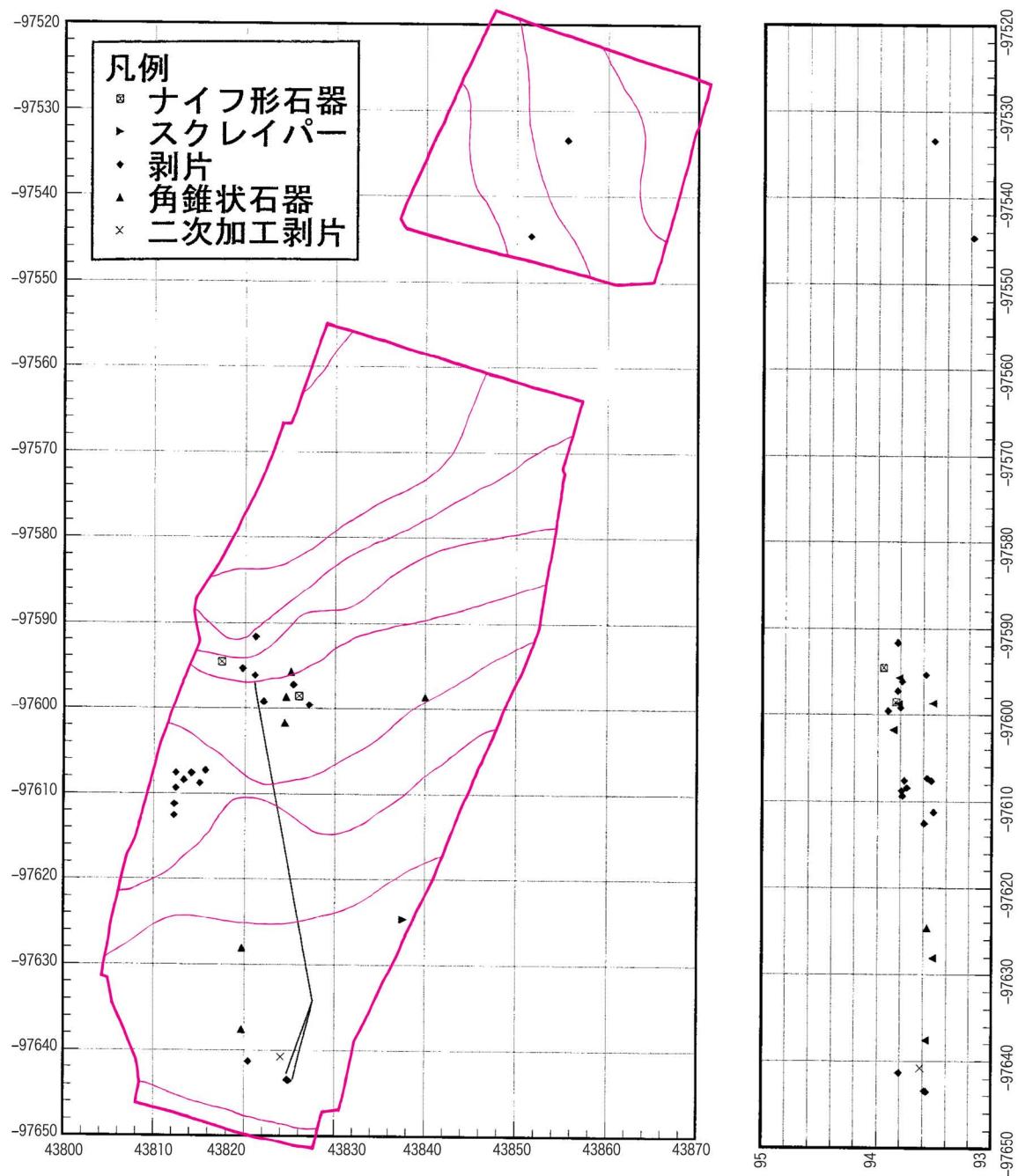
出土位置が確認できた石器3点、一括処理の石器2点からなる。石器の製作過程を再現すると61～63は打面再生剥片と思われる。打面の位置を変えていく中で打面を確保し、素材剥片を抽出している。同一石材の製品は出土していない。4点の剥片については、特に大きな加工を施した形跡はない。

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
					石器	接合資料									
540	B	J8	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	11.3	6.2	8.3	400.6					
551	B	J8	VII	石器	石核	ホルンフェルス	11.3	4.2	1.7	54.6	43818.762	-97599.522	93.835		
557	B	J7	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	8.2	5.9	4.2	274.7	43819.97	-97597.675	93.771		
	B	J7	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	2.6	4.1	1.8	42.4	43820.206	-97597.51	93.784		
	B			石器	剥片	ホルンフェルス	5.2	3	1	6.7					

表32 第2文化層接合資料2計測表



第47図 第2文化層接合資料2実測図



第48図 第2文化層石材別（流紋岩）分布図

#### 母岩3（第49図）

流紋岩はJ7・J8・K8グリッドに集中して出土している。礫面の色は、青灰色である。そして白色の粒子が点在している。隣接している剥片が接合する、いわゆる折れの接合関係は何組か確認できたが、剥離過程を確認する接合資料は1点のみである。角錐状石器、ナイフ形石器が出土している。

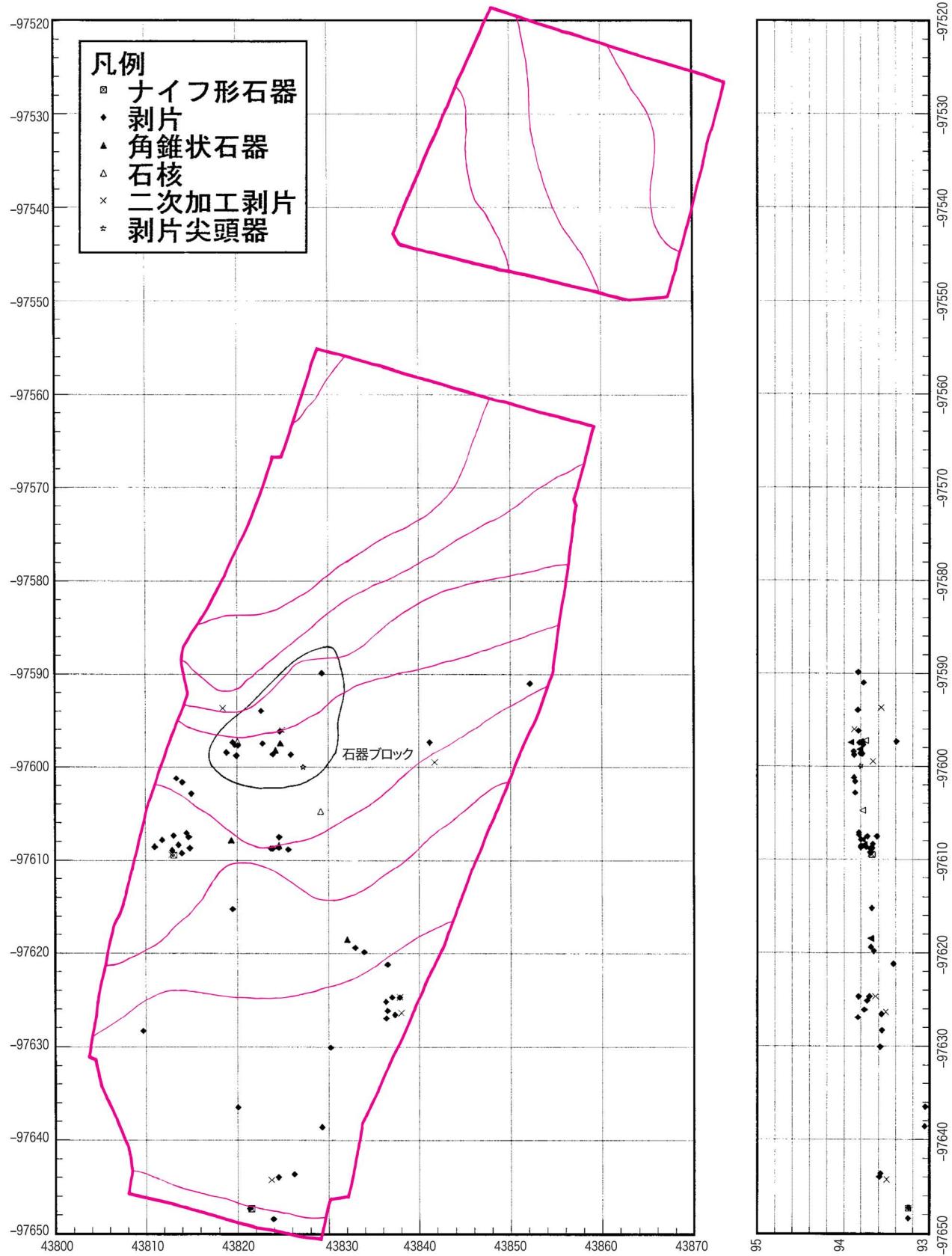
#### 接合資料3（第49・50）

接合資料3の68と69の距離は1m未満である。67

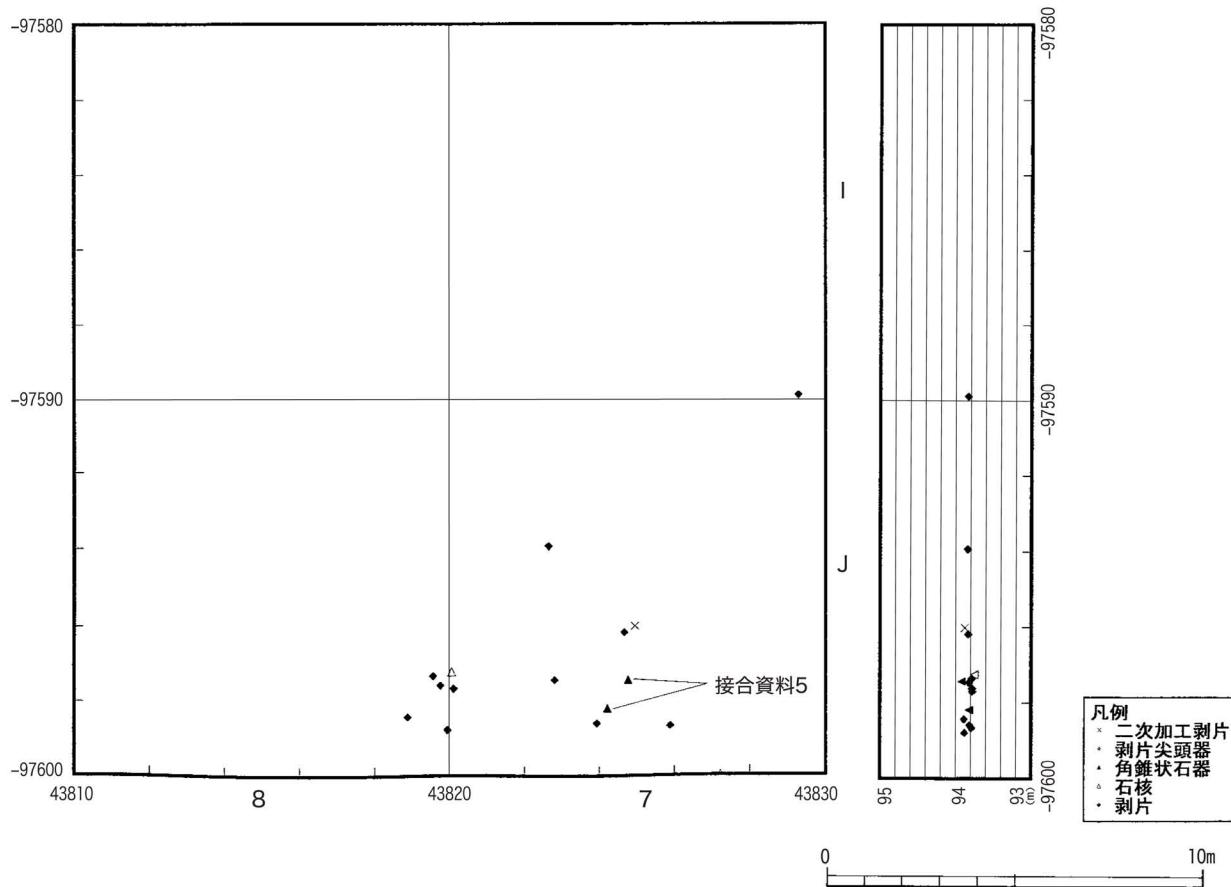
は48m離れた位置から出土している。レベル差は1cm前後の差しかない。以下製作過程について述べる。頭部調整後、67を上から加工により剥離し、その後68を側面からの加工により剥離している。67と68は打面調整剥片と思われる。その後剥離を繰り返し、縦長剥片を抽出している。流紋岩製の縦長剥片を素材としたナイフ形石器・角錐状石器等の製品は本遺跡で数多く出土している。

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
369	B	L8	VIIa	石器	接合資料		流紋岩	10.2	4.9	4.2	88				
440	B	O7	VII	石器	剥片	剥片	流紋岩	6.5	3.7	1.7	24.6	43819.738	-97595.378	93.581	
455	B	O7	VII	石器	剥片	剥片	流紋岩	5	3.1	3	38.3	43824.906	-97643.505	93.572	

表33 第2文化層接合資料3計測表



第49図 第3文化層石材別（頁岩）分布図



第50図 第6石器ブロック状況図

#### 母岩 4

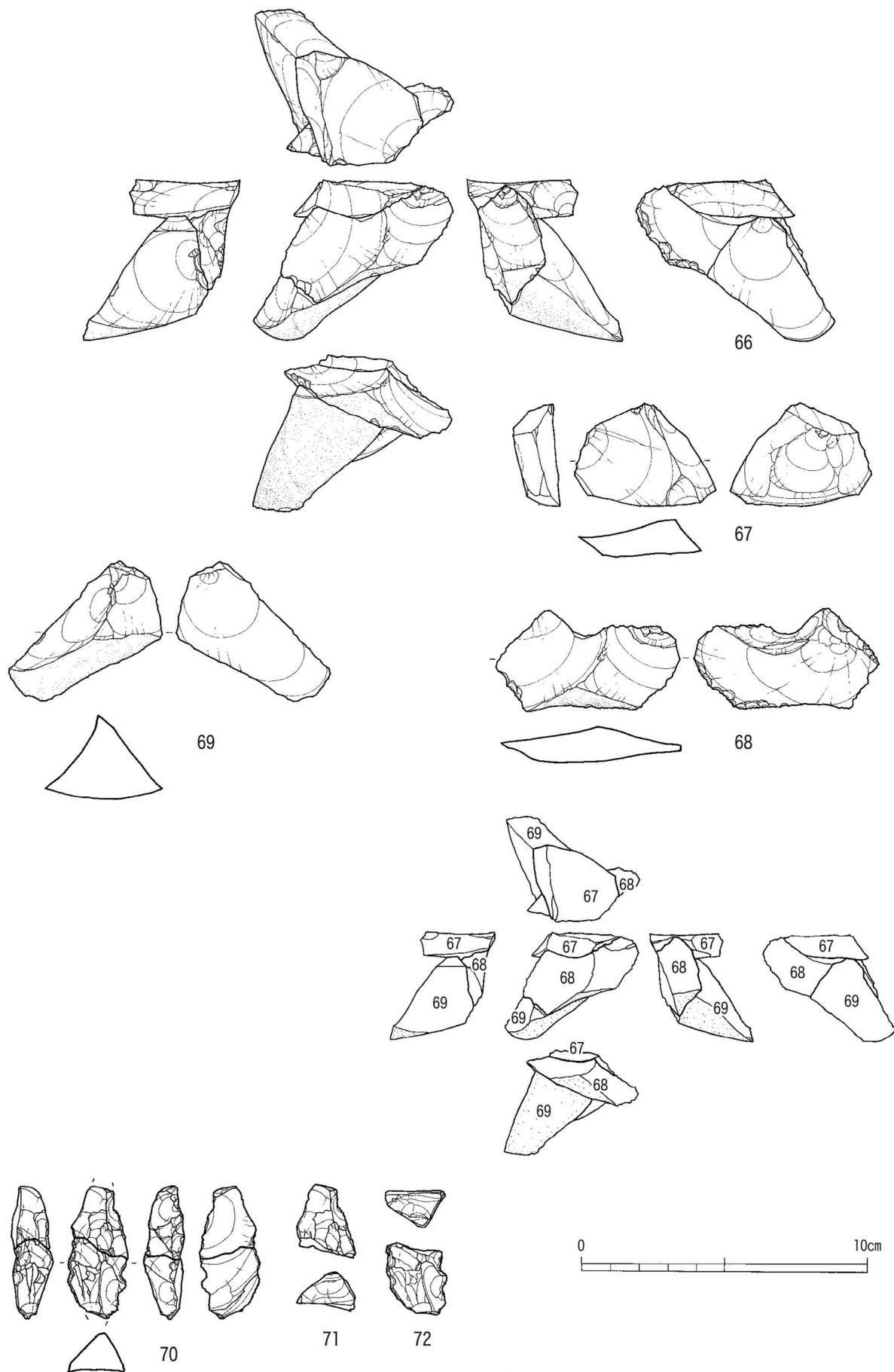
頁岩における接合資料の中に接合資料4がある。接合資料5の71と72は距離が約1m離れている。レベル差は約20cm程である。折れによる剥離と思われる。同一石材が周辺に11点あり、石器製作の可能性も否定できないので、掲載した。製作技法は縦長剥片の両側縁に加工を施している。先端部・基部は破損しており、分類は不能である。裏面先端下部に加工を施した跡がある。

#### (4) 小 結

以下266点の石器が出土した。石器ブロックが6箇所出土したそのうち5箇所がJ7・J8・K7たる石器は6点である。これは全体の2.25%である。石器への付着物等は確認できなかったが、炭化物は疎に点在していた。石器製作の可能性が指摘されるが、碎片等小片の石器がほとんど出土しなかった。製品1が30点出土している(第37図・表30)。これは全体の約11.3%を占める。以下この他の分布状況を図に示しているので参照されたい。目に付くところでは水晶製の剥片が1点出土している。

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
411	B	J7	VII	石器	接合資料	石器	頁岩	5.15	2.15	1.4	11.9	-97598.186	43824.217	93.818	
480	B	J7	VII	石器	角錐状石器	角錐状石器	頁岩	2.55	2	1.4	5.8	-97597.43	43824.77	93.919	

表34 第2文化層接合資料4計測表



第51図 第2文化層接合資料3実測図

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
13	460	B	J7	VIIa	石器	ナイフ形石器	ホルンフェルス	4.93	2.55	1.2	13.1	-97593.3	43820.236	93.502	
14	475	B	K7	VIIa	石器	ナイフ形石器	ホルンフェルス	8.4	3.1	1.4	26.8	-97596.774	43824.606	93.827	
15	417	B	K8	VIIa	石器	ナイフ形石器	真岩	3.5	1.53	0.4	1.6	-97609.456	43813.111	93.672	
16	391	B	J8	VIIa	石器	ナイフ形石器	流紋岩	7.35	2.15	1.6	22.1	-97594.581	43817.426	93.948	
17	577	B	J7	VIIa	石器	ナイフ形石器	ホルンフェルス	7.2	2.9	1.5	23.9	-97596.096	43824.06	93.806	
18	381	B	N8	VIIa	石器	ナイフ形石器	流紋岩	1.95	1	0.67	1	-97637.568	43819.681	93.575	先端部のみ
19	482	B	L7	VIIa	石器	ナイフ形石器	流紋岩	1.83	1.1	0.7	0.9	-97598.548	43825.967	93.842	先端部のみ
20	422	B	L6	VIIa	石器	角錐状石器	流紋岩	5.35	2.55	1.45	19.8	-97598.652	43839.998	93.519	
21	481	B	L7	VIIa	石器	角錐状石器	流紋岩	2.4	1.7	0.85	1.9	-97598.678	43824.529	93.82	
22	217	A	D4	VIIb	石器	角錐状石器	ホルンフェルス	5.8	2	1.45	17.5	-97526.425	43852.9	93.772	
23	395	B	L7	VIIa	石器	角錐状石器	ホルンフェルス	5.25	3.75	2.5	53.4	-97609.357	43815.072	93.807	
24	474	B	L7	VIIa	石器	角錐状石器	流紋岩	7.35	2.1	1.4	21.8	-97595.702	43825.065	93.812	
25	349	B	M8	VIIa	石器	角錐状石器	流紋岩	1.95	1	0.67	1	-97628.058	43819.715	93.516	
26	609	B	K7	VIIa	石器	角錐状石器	真岩	5.3	1.8	1.3	10.6	-97608.416	43824.591	93.763	
27	595	B	K7	VIIa	石器	角錐状石器	流紋岩	5.2	2.27	1.4	13.8	-97601.727	43824.399	93.862	
28	374	B	L6	VIIa	石器	角錐状石器	真岩	5.05	1.75	0.9	9.7	-97618.51	43832.041	93.69	
29	372	B	J8	VIIa	石器	角錐状石器	ホルンフェルス	3.4	1.6	1.15	3.9	-97594.7	43819.467	93.523	
30	618	B	K8	VIIa	石器	角錐状石器	真岩	5.6	1.5	1.08	7.6	-97607.868	43819.361	93.782	
31	468	B	L7	VIIa	石器	角錐状石器	黒曜石	2.2	1.3	0.6	0.9	-97596.25	43825.784	93.855	
32	373	B	L9	VIIa	石器	角錐状石器	黒曜石	3.2	1.15	1	2.2	-97611.547	43808.12	93.585	
33	B	K8	VIIa	石器	角錐状石器	黒曜石	3.3	1.3	0.8	2.7					
34	B	VIIb	石器	剥片	頭尖器	黒曜石	2.1	1.32	0.58	1.2					
35	594	B	J7	VIIa	石器	剥片	真岩	6.55	2.25	1.15	15	-97599.979	43827.224	93.806	
36	423	B	M6	VIIa	石器	スクレイパー	流紋岩	5.35	2.55	1.45	19.8	-97624.625	43837.593	93.567	

表35 第2文化層石器計測表 (1)

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
37	467	B	L7	VII	石器	二次加工剥片	黒曜石	1.1	1.65	0.5	0.8	-97596.973	43825.513	93.853	
38	439	B	J7	VII	石器	二次加工剥片	黒曜石	2.2	1.9	0.6	1.5	-97597.156	43823.241	93.899	
39	490	B	L7	VII	石器	二次加工剥片	黒曜石	2.6	2.1	0.6	2.7	-97596.611	43826.825	93.754	
40	471	B	L7	VII	石器	二次加工剥片	黒曜石	2.2	1.8	0.85	2.8	-97595.537	43826.714	93.825	
41	469	B	L7	VII	石器	二次加工剥片	黒曜石	2.4	1.3	0.55	1.1	-97596.249	43826.118	93.857	
42	456	B	J5	VII	石器	二次加工剥片	真岩	5.9	2.4	1.4	24.6	-97599.46	43841.747	93.661	
43	434	B	J7	VII	石器	二次加工剥片	チャート	3.8	1.95	1.7	7.4	-97597.51	43822.469	93.951	
44	592	B	J7	VII	石器	敲石	砂岩	7.2	4.9	2.3	113	-97599.324	43826.217	93.741	III類
45	665	B	J7	VII	石器	磨敲石	ホルンフェルス	7.4	8.05	3.4	285.6	-97605.2	43818.3	93.723	I類
46	607	B	K7	VII	石器	敲石	砂岩	9.83	7.03	3.73	366	-97607.306	43825.12	93.76	III類
47	640	B	J8	VII	石器	敲石	砂岩	11.18	3.05	2.35	118.2	-97599.196	43811.245	93.893	III類
368	B	J8	VII	石器	二次加工剥片	真岩	5.9	3.9	1.1	20.7	-97593.678	43818.443	93.567		
398	B	K8	VII	石器	二次加工剥片	ホルンフェルス	4.4	3.7	1	13	-97608.946	43815.102	93.743		
408	B	K8	VII	石器	二次加工剥片	真岩	4.1	5.3	1.2	16.3	-97609.404	43812.877	93.691		
425	B	M6	VII	石器	二次加工剥片	真岩	2.98	3.25	1.32	8	-97626.363	43837.994	93.513		
428	B	M6	VII	石器	二次加工剥片	真岩	5.7	3.2	1	14.3	-97624.681	43837.844	93.632		
449	B	J7	VII	石器	二次加工剥片	真岩	8	4.48	1.3	35	-97596.014	43824.952	93.876		
452	B	J7	VII	石器	二次加工剥片	ホルンフェルス	4.7	3.4	0.9	10	-97596.256	43826.483	93.85		
457	B	O7	VII	石器	二次加工剥片	流紋岩	4.1	4.4	0.9	17.7	-97640.769	43824.048	93.623		
458	B	O7	VII	石器	二次加工剥片	真岩	4.9	5.1	1.3	26.3	-97644.263	43823.705	93.503		
483	B	L8	VII	石器	二次加工剥片	凝灰岩	4	4.5	1.1	11.5	-97596.968	43818.639	93.898		
560	B	J8	VII	石器	二次加工剥片	ホルンフェルス	9.9	9	2.8	301.2	-97597.437	43819.957	93.787		
592	B	J7	VII	石器	敲石	砂岩	7.2	4.9	2.3	113	-97599.324	43826.217	93.741		
598	B	K7	VII	石器	二次加工剥片	ホルンフェルス	4.8	1.7	0.9	6.1	-97608.679	43828.132	93.709		
619	B	K8	VII	石器	敲石	ホルンフェルス	8.9	5.2	3.3	148.2	-97608.242	43818.18	93.663		
636	B	K8	VII	石器	敲石	ホルンフェルス	6.4	5.5	3.3	162.9	-97604.78	43814.193	93.715		
663	B	K8	VII	石器	敲石	ホルンフェルス	9	4.1	2.6	96.1	-97603.76	43820.02	93.789		
664	B	K8	VII	石器	敲石	ホルンフェルス	7.6	4.4	3.7	126.4	-97605.3	43817.8	93.724		
666	B	K8	VII	石器	敲石	ホルンフェルス	9.3	5.6	3.3	174.4	-97607	43817.4	93.708		
667	B	K7	VII	石器	敲石	砂岩	9.2	6.4	2.8	228.6	-97606.8	43822.8	93.664	III類	

表36 第2文化層石器計測表 (2)

番号	注記番号	区	グリッド	層	種類	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	X座標	Y座標	レベル	備考
46	432	B	M6	VII	石器	剥片	真岩	5.73	5.45	2.08	62.8	-97626.931	43836.345	93.839	
47	B	K7	VII	石器	剥片	黒曜石	3.35	2.55	1.18	7.9					
48	479	B	L8	VII	石器	剥片	黒曜石	3.13	1.4	0.6	1.7	-97595.46	43824.325	93.835	
49	402	B	K8	VII	石器	剥片	黒曜石	2.4	1.8	0.3	1.2	-97609.407	43815.312	93.743	
50	622	B	K8	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	2.65	3.3	0.6	4.5	-97607.2	43814.919	93.815	
51	633	B	K8	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	3.36	4.76	1.05	4.6	-97607.588	43811.488	93.76	
52	429	B	M6	VII	石器	剥片	流紋岩	4.1	4	1	17.1	-97533.45	43855.55	93.526	
53	593	B	J7	VII	石器	剥片	水晶	1.25	2.15	0.7	1.2	-97621.892	43831.548	93.59	
54	371	B	M6	VII	石器	剥片	流紋岩	5.9	1.98	0.85	8.9	-97599.579	43827.099	93.91	
208	A	D4	V	石器	剥片	水晶	1.25	2.15	0.7	1.2	-97621.892	43831.548	93.59		
209	A	C3	V	石器	剥片	流紋岩	4.1	4	1	17.1	-97533.45	43855.55	93.526		
211	A	D3	VII	石器	剥片	黒曜石	0.9	0.4	0.2	0.1未	-97528.85	43861.4	93.897		
212	A	D4	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	7.1	4.1	1.8	52.6	-97528.35	43865.125	93.642		
213	A	D4	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	2.4	1.1	1.1	1.8	-97528.5	43864.025	93.516		
214	A	D4	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	3.6	4.5	2.1	22.7	-97526.9	43864.15	93.662		
215	A	D4	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	6.1	4.7	2.4	59.5	-97526.625	43863.775	93.649		
218	A	D4	VII	石器	剥片	ホルンフェルス	7.1	4.2	2.3	58.9	-97527.5	43862.2	93.739		
226	A	E4	VIIa	石器	剥片	流紋岩	4.7	3.4	1.7	16.2	-97544.64	43851.54	93.181		
227	A	E4	VIIa	石器	剥片	ホルンフェルス	3.7	2.7	0.5	2.9	-97545.5	43852.91	93.116		
336	B	L8	V	石器	剥片</td										